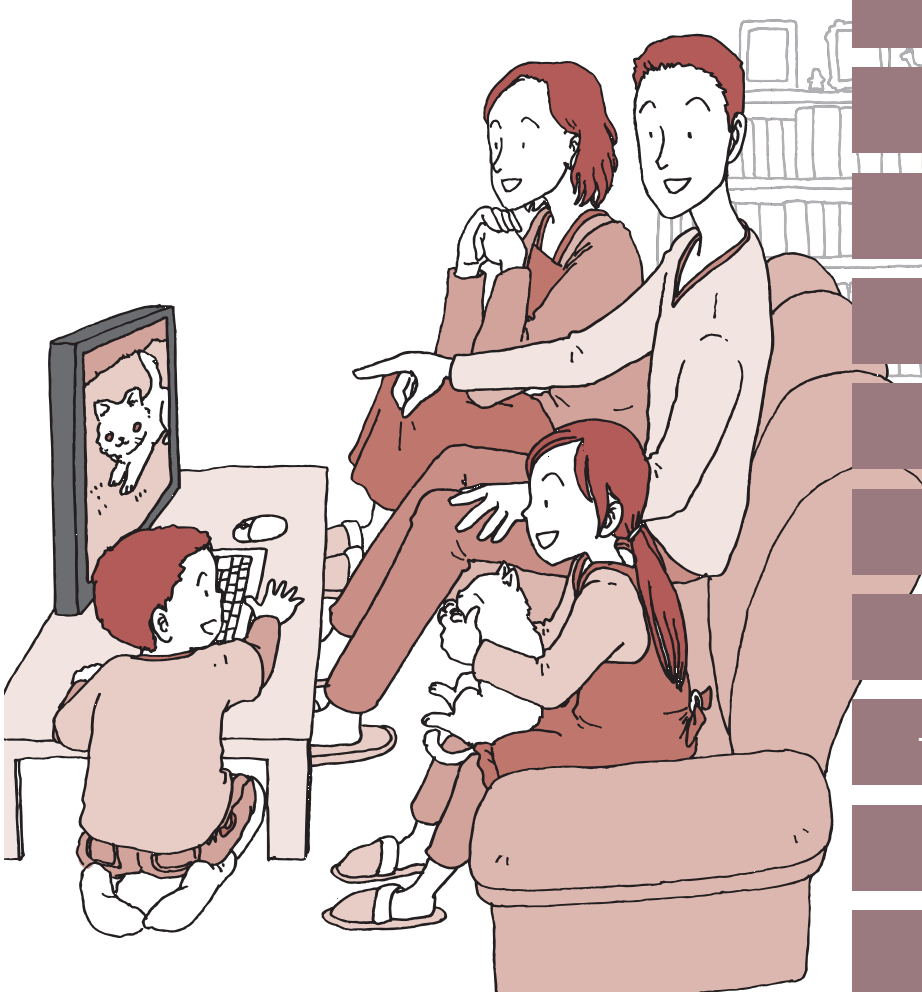
NEC

テレビを楽しむ本

パソコンだから一歩進んだテレビの楽しみ方を

VALUESTAR

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

このパソコンの使い方

『ユーザーズマニュアル』

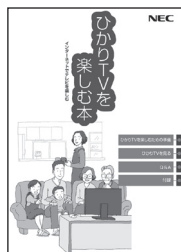
パソコンの接続やセットアップ／基本機能／おすすめ機能／バックアップ／トラブル解決／再セットアップ／NECのサービス＆サポート　など

※トラブル予防・解決編の5章に、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)や各種サービス＆サポート情報を記載しています。

この本

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作　など

インターネットで映像を楽しむ

『ひかりTVを楽しむ本』

ひかりTVとは／ひかりTVの設定／ひかりTVの楽しみ方　など

デスクトップにある
をダブルクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

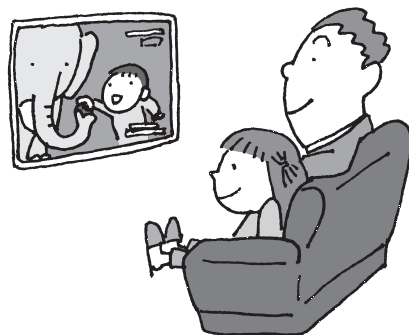
「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集　など

853-811064-091-A

SmartVision

ラクラク操作ガイド

巻頭の「ラクラク操作ガイド」では、このパソコンでテレビを楽しむための基本的な操作について説明しています。
テレビの便利な機能や高度な使い方については、「こんなときには」でちょっとだけご紹介しています。
「ラクラク操作ガイド」で基本的な操作に慣れたら、ぜひこのマニュアルをひととおりお読みになってください。きっとテレビをより便利に使いこなしていただくことができるでしょう。

設定はお済みですか?

パソコンでテレビを見るには次の準備が必要です。「ラクラク操作ガイド」を読む前に、テレビ機能を使えるようにしましょう。

☺ パソコンを使う準備をする

→『ユーザーズマニュアル』をご覧ください

☺ テレビの初期設定をする

→このマニュアルのPART1「テレビを見るための準備」(p.1)をご覧ください

Contents

853-811064-091-A　2011年5月 初版

テレビを見る

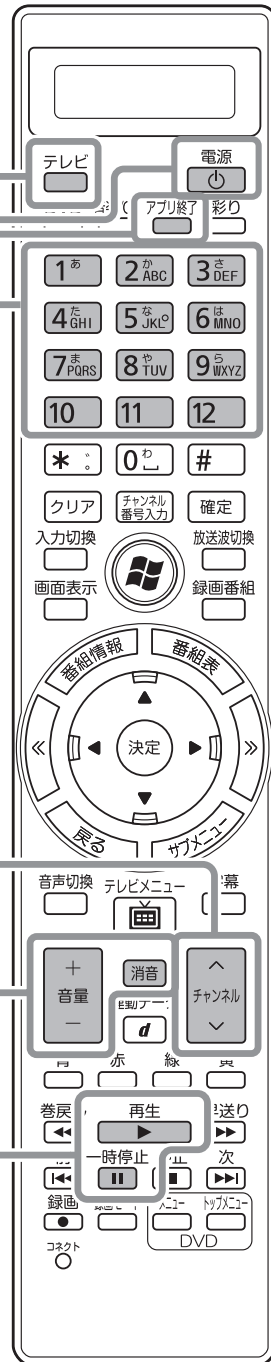
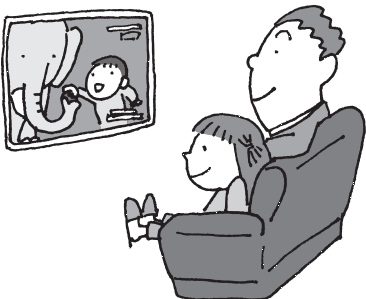
❶ テレビをつける

❷ テレビを消して、パソコンも終了する

❸ テレビを消して、パソコンを使う

❹ 番組を選ぶ

❺ 音量調節

❻ 一時停止、再生（タイムシフト機能）

テレビを見る

テレビをつける ➡ ❶

【テレビ】を押します※　　※テレビが起動するまでに、時間がかかることがあります

番組を選ぶ ➡ ❹

【チャンネル】または数字ボタンを押します

詳しくは テレビを見る ➡ p.15

テレビを消す

テレビを消す ➡ ❷、❸

・テレビを消して、パソコンを使う　　：【アプリ終了】を押します
・テレビを消して、パソコンも終了する：【電源】を押します

詳しくは テレビを消す ➡ p.20

音量調節 ➡ ❺

【＋】【－】で、音量を調節します。【消音】を押すと消音（ミュート）します

詳しくは 音量を調節する ➡ p.19

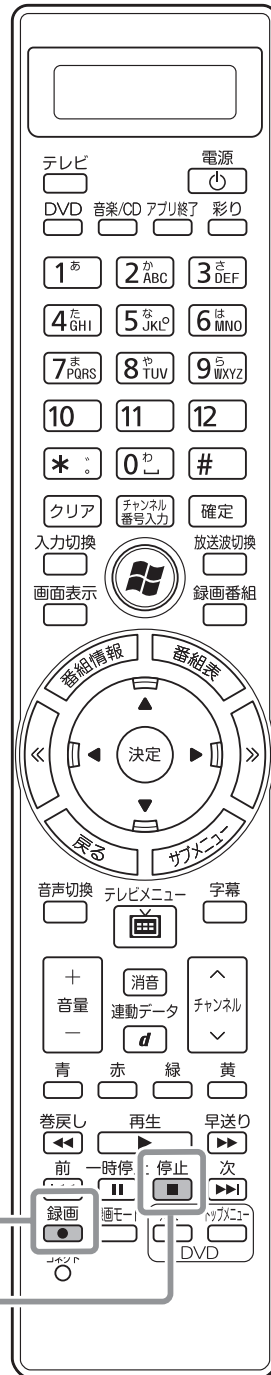
タイムシフト機能 ➡ ❻

視聴中にちょっと席を外したいときは【一時停止】。見ている番組を一時停止できます
【再生】を押せば、続きから見られます

詳しくは タイムシフトモードで見る ➡ p.24

SmartVision ラクラク操作ガイド2

録画する

❶ 今見ている番組を録画する

❷ 録画を停止する

今見ている番組を録画する

録画を開始する ➡ ❶

【録画】を押します

▼

録画を停止する ➡ ❷

録画をやめたいところで【停止】を押します

詳しくは 視聴中の番組を録画する ➡ p.48

もっと便利な録画方法

このパソコンでは、画面でテレビの番組表を見ることができます。また、この番組表を使って予約録画をすることができます

詳しくは おてがる予約をする（番組表で予約する） ➡ p.53

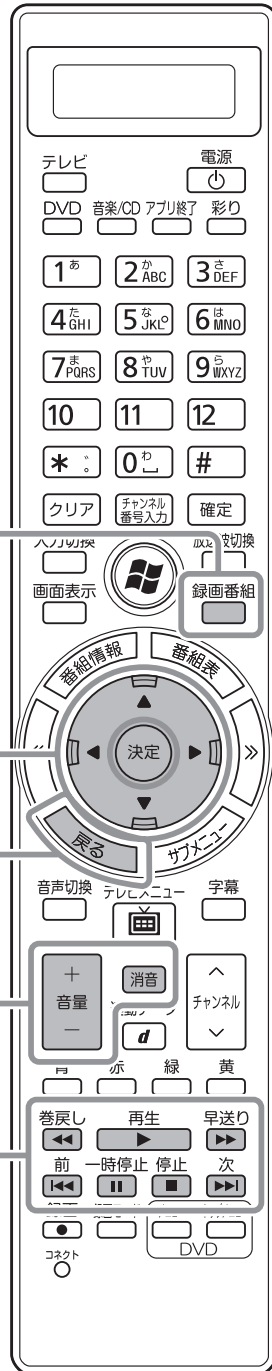
再生する

❶ 録画番組一覧を表示する

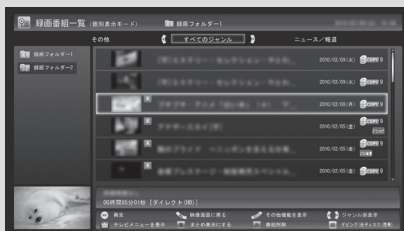
❷ 番組を選んで、再生する

❸ テレビ画面に戻る

❹ 音量調節

❺ 番組を操作する

再生する ※テレビをつけた状態で操作してください

録画した番組を選ぶ ➡ ❶、❷

【録画番組】を押して、録画番組一覧を表示します
録画番組一覧画面から見たい番組を矢印ボタンで選びます

番組を再生する ➡ ❷、❺

【決定】を押すと、再生が始まります
再生中は以下のボタンで操作ができます

【巻戻し】 【早送り】 【再生】 【一時停止】 【停止】

詳しくは 録画した番組を再生する ➡ p.78

テレビ画面に戻る ➡ ❸

テレビを見る画面に戻るには、【戻る】を押します
見たい放送波とチャンネルを選ぶこともできます

詳しくは テレビを見る画面に戻る ➡ p.79

音量調節 ➡ ❹

【+】【−】で、音量を調節します
【消音】を押すと、消音(ミュート)します

詳しくは 音量を調節する ➡ p.19

こんなときには

ここでは、このパソコンのテレビに搭載された「こんなときに使いたい機能」をご紹介しています。これらの機能を使って、テレビをより便利に楽しんでください。

新番組や興味のある番組を自動で録画したい

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それに合った番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。また、「新番組おまかせ録画」では新番組を自動で録画できます。

詳しくはこちら

PART3の「おまかせ録画をする」(p.63)
PART3の「新番組おまかせ録画をする」(p.69)

録画番組のお気に入りのシーンだけ残したい

録画番組の不要な部分をカットして、お気に入りのシーンだけ保存することができます。

詳しくはこちら

PART7の「簡易編集機能を使う」(p.133)

録画した番組を携帯電話で楽しみたい

録画した番組を携帯電話に転送して視聴することができます。

詳しくはこちら

PART7の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.137)

ハードディスクを増設する

ハードディスクの残り容量が少なくなってきた。こんなときには、USB接続の外付けハードディスクを増設することができます。増設したハードディスクに録画したり、録画した番組を移動することもできます。

詳しくはこちら

PART7の「外付けハードディスクを利用する」(p.119)

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、およびDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
3D対応モデル	3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows
ウイルスバスター	ウイルスバスター 2011 クラウド™

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
（10） この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
（11） 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目次 CONTENTS

付　録　177

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

PART 1
テレビを見るための準備

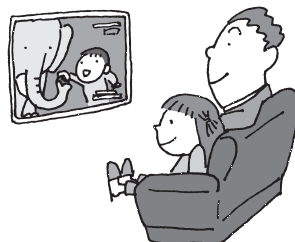
このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まったテレビ放送です。デジタル放送になっているため、アナログ放送に比べて高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

●BS・110度CSデジタル放送
デジタルで放送されている衛星放送です。BSデジタル放送と「スカパー！ e2」の番組が見られます。地上デジタル放送と同じく、高画質、高音質、データ放送などの特長があります。

■ 2番組同時録画について

このパソコンは、2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画することができます。

チェック

2番組同時録画には一部制限があります。
詳しくは、PART3の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)をご覧ください。

■ 3D放送について

3D対応モデルでは、3D放送(サイドバイサイド方式)をお楽しみいただけます。
3D放送の表示方法などについては『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

マニュアルの画面、説明について

■ モデルによって異なる画面について

モデルによって、画面の表示が一部異なります。また、操作も一部異なることがあります。このマニュアルでは、各モデルで大きな差異のない画面や操作については、まとめて説明しています。

3D対応モデルでは、サブメニューに表示される項目や、画面に表示されるアイコンなどが、マニュアルに記載されているものと一部異なります。

PART 1
テレビを
見るための
準備

こんな準備が必要です

アンテナケーブルの接続とテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにテレビを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

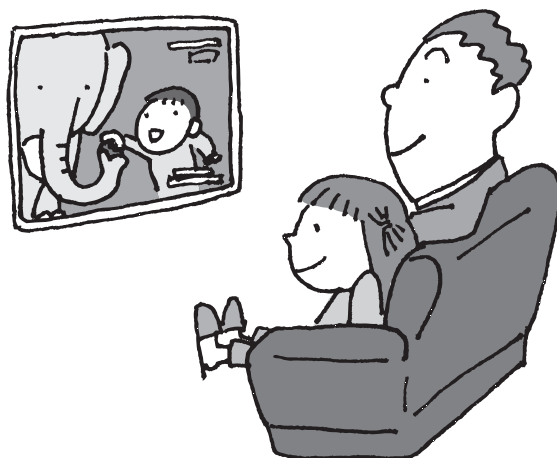
接続と設定は済んでいますか？

テレビを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。まだ終わっていないかたは、『ユーザーズマニュアル』をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

チェック

●CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。

●CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。

●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

テレビを見るまでの流れ

このパソコンでテレビを見るには、パソコンを使う準備と、テレビの初期設定の2つの準備が必要です。テレビを見るまでの流れは次のとおりです。

1 パソコンを使う準備をする

パソコンの接続をする

アンテナケーブル、B-CAS(ビーキャス)カードの準備をする

Windowsのセットアップをする

リモコンの準備をする

テレビを見る前に、まずはパソコンを使えるようにします。『ユーザーズマニュアル』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。接続の途中で、テレビの視聴に必要なアンテナケーブルとB-CASカードの準備も同時におこないます。続けてリモコンを準備します。

●見るマニュアル
『ユーザーズマニュアル』

●必要な準備
・パソコンの設置
・パソコンの接続
・アンテナケーブルの接続
・B-CASカードのセット
・Windowsのセットアップ
・リモコンの準備

2 テレビの初期設定をする

Windows Media Center(ウィンドウズ メディア センター)のセットアップをする

テレビ初期設定(チャンネルや番組表の設定)をする

いよいよ、テレビを見るためのソフト、「Windows Media Center」と「SmartVision」の準備をします。
このマニュアルで設定方法を説明しています。次のページからの内容をよく読んで、テレビの初期設定をしてください。

●見るマニュアル
『テレビを楽しむ本』(この本)

●必要な準備
・Windows Media Center のセットアップ(p.5)
・テレビ初期設定(p.5)

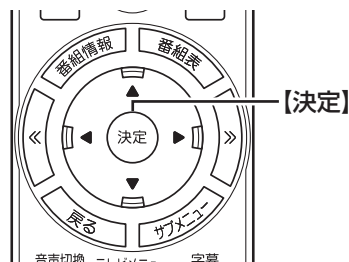
準備完了
さぁ、テレビを楽しみましょう！

Windows Media Centerをセットアップする

このパソコンでテレビを見るには「SmartVision(スマートビジョン)」というソフトを使います。
SmartVisionは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

1 リモコンの【Media Center】を押す

セットアップの画面が表示されます。

2 「Windows Media Centerへようこそ」と表示されていることを確認し、【決定】を押す

3 「推奨設定」が表示されていることを確認して、【決定】を押す

次の画面(Windows Media Centerのメインメニュー)が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、テレビの初期設定をします。

テレビ初期設定をする

テレビ初期設定の操作は、マウスとキーボードを使っておこないます。

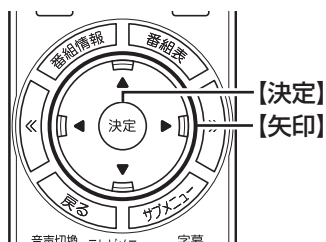
チェック

- 操作画面上に「?」が表示されているときは、「?」をクリックすると、その項目についての簡単な説明が表示されます。
- 「Media Centerテレビ」-「テレビの初期設定」は実行しないでください。
- テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- パソコンの内蔵ドライブアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

参照

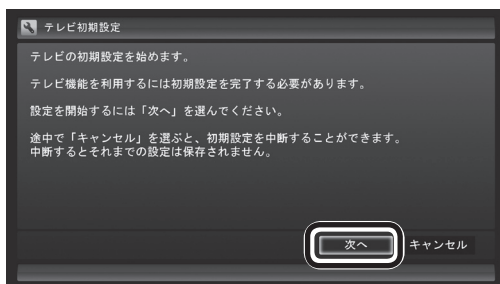
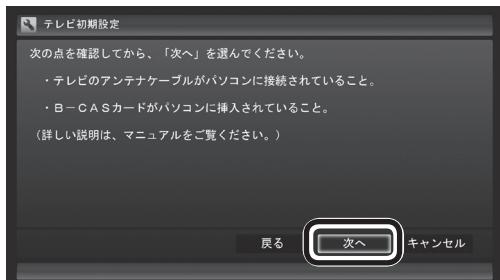
内蔵ドライブアクセスランプについて→『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」

ポイント

テレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。

■ チャンネルの設定などをおこなう

1 Windows Media Centerの「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」をクリック

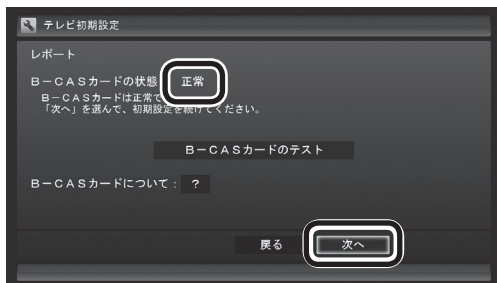
「テレビ初期設定」が表示されます。

2 「次へ」をクリック

3 画面の内容を確認して、「次へ」をクリック

参照

アンテナケーブルの接続について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」

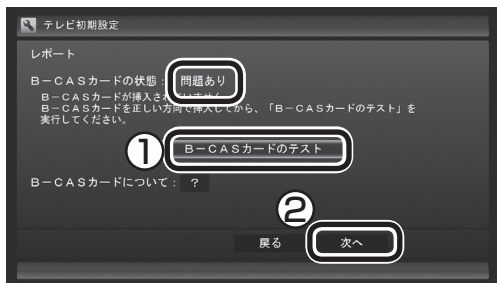
4 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「問題あり」と表示されたときは

B-CASカードに問題があります。『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

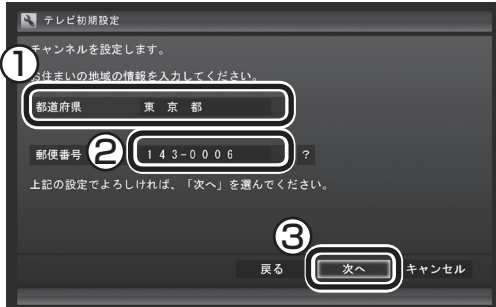
① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリックしてください。

② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「B-CASカードの情報を読み取れません。」と表示されたときは、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

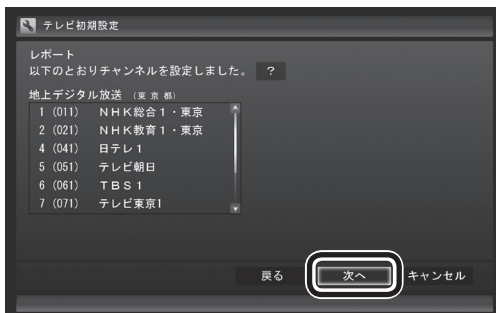
5 チャンネル設定をする

① クリックし、お住まいの都道府県をクリック

② クリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す

③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリック

自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、レポート画面が表示されます。

> ポイント
>
> 「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.10)をご覧ください。

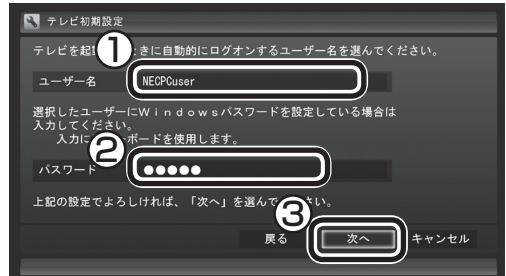
6 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリック

Windowsのログオンパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、「設定ができたか確認する」(p.8)に進んで、設定結果について確認してください。

> ポイント
>
> 受信できていないチャンネルがあった場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.10)をご覧ください。

7 パスワードを入力する(設定している場合)

① ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認する
(ユーザー名は一例です)

② クリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す

③ 「次へ」をクリック

続けて、設定結果について確認してください。

- この画面は、Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は表示されません。
- この画面の設定をおこなうと、Windowsが省電力状態(スリープ、休止状態)から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。
- 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、自動ログオンの設定をおこなう必要があります。設定について詳しくは、付録の「自動ログオンの設定をする」(p.188)をご覧ください。

■ 設定ができたか確認する

続けて、設定ができたか確認します。

1 BSデジタル放送の受信状態を確認

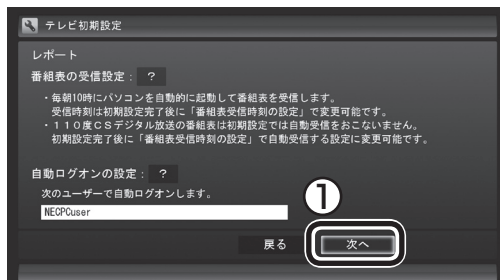
BSデジタル放送の受信状態が表示されます。

① 「次へ」をクリック

- 受信レベルで「問題あり」と表示された場合、テレビ初期設定が終わってから、「テレビ初期設定で困ったら」(p.10)をご覧ください。
- 「受信レベルの確認」をクリックすると、受信レベルの確認の画面が表示されます。また、VALUESTAR Wでは、この画面でアンテナの電源の設定もおこなえます。

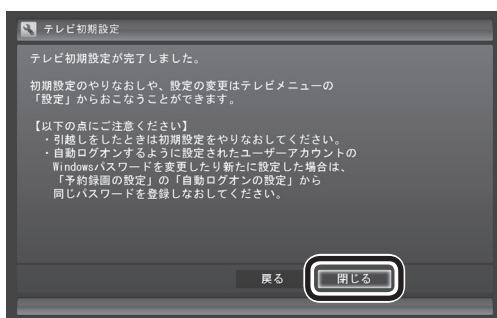
2 番組表と自動ログオンの確認

番組表の受信についてと自動ログオンするユーザー名が表示されます。

① 自動ログオンのユーザー名を確認して「次へ」をクリック

テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときに、ここで表示したユーザー名で自動ログオンします。
自動ログオンのユーザー名の変更手順は付録の「自動ログオンの設定をする」(p.188)をご覧ください。

チェック

初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、「パソコンの自動起動について」(p.9)をご覧ください。

3 「閉じる」をクリック

テレビ画面が表示されます。
これで、テレビの初期設定は完了です。
設定が終わったら、「リモコンのボタンについて」(p.12)に進んでください。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.10)をご覧ください。

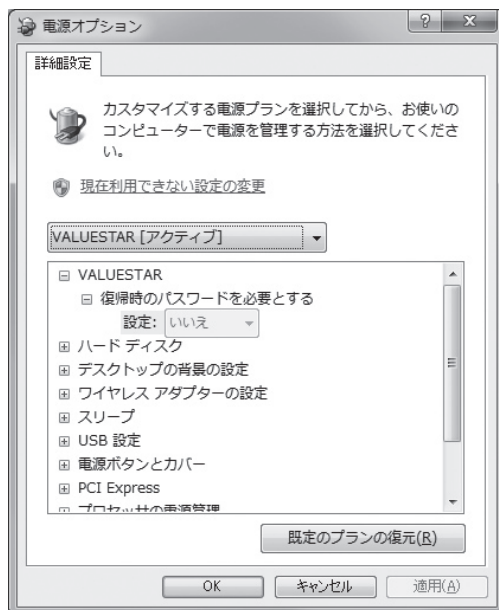
■ パソコンの自動起動について

SmartVisionの初期設定が終了すると、1日に1回、朝10時に番組表を受信するためにパソコンが自動的に起動します。また、番組表の受信が完了した後は、ご購入時の設定ではスリープ状態になります。
番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信はおこなわれません。受信に失敗した場合は、次の時刻に再度自動起動して番組表を受信します。

10・12・14・16時

なお、これらの設定は、初期設定後にいつでも変更することができます。
番組表の受信時刻を変更する場合は、PART2の「番組表の受信時刻を変更する」(p.34)を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、付録の「予約実行前後の動作を設定する」(p.182)をご覧ください。

■ Windows復帰時のパスワード入力画面について

ご購入時には、パソコンが省電力状態などから復帰するとき、ログオン画面(復帰時のパスワードを入力する画面)が表示される設定になっていますが、テレビ初期設定をすると、この画面が表示されないよう設定が変更されます。
テレビの予約視聴や予約録画をおこなうために、省電力状態などからパソコンを自動復帰させる際、この画面でWindowsの動作が停止(パスワードの入力待ち状態)してしまうことを防ぐためです。
この設定は、「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」で電源プランを選んで変更できますが、ログオン画面が表示される設定(「復帰時のパスワードを必要とする」を「はい」に設定)にすると、省電力状態などからの録画予約ができなくなります。ご注意ください。

※：モデルによって、一部画面が異なる場合があります。

参照
電源プランについて
→「省電力機能の設定を変更する」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160030 で検索

■ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる

テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるよう設定をしておくと、テレビを視聴していないときでも、録画や光ディスク書き込みの状態などがわかります。

1 画面右下の をクリック

2 「カスタマイズ」をクリック

「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

3 SmartVision Schedulerの右の をクリックして、表示されたメニューから「アイコンと通知を表示」を選んでクリック

4 「OK」をクリック

これで、テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるようになりました。

テレビ初期設定で困ったら

テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

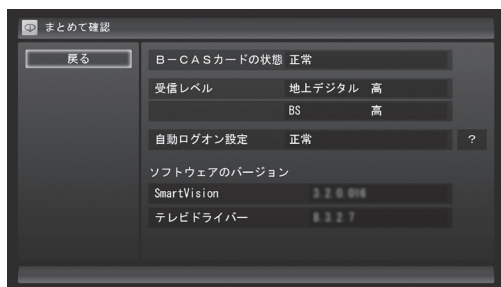
■ 問題点を確認する

次の手順で、設定の問題点を確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

現在の状態の確認結果が表示されます。

この画面で、問題点を確認します。

■ 地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か

・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

ポイント

受信レベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「受信レベルの確認」でも確認できます。

チェック

●チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、PART8の「テレビが映らない」(p.158)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.160)をご覧ください。

■ BSデジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「BS」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合
アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。

・VALUESTAR W
「衛星アンテナの電源供給」の設定を変更してアンテナに給電することができます。

・VALUESTAR N
パソコンからはアンテナに給電することができません。別の機器から給電していただく必要があります。詳しくは『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

チェック

●受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●受信レベルが0でなくても、BSデジタル放送の視聴に問題が出る場合があります。PART8の「テレビが映らない」(p.158)をご覧ください。

■ 次の作業をおこなってみてください

今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

●「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、テレビ初期設定をやりなおします。
リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

●設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、PART2の「テレビをつける」(p.16)の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境では受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

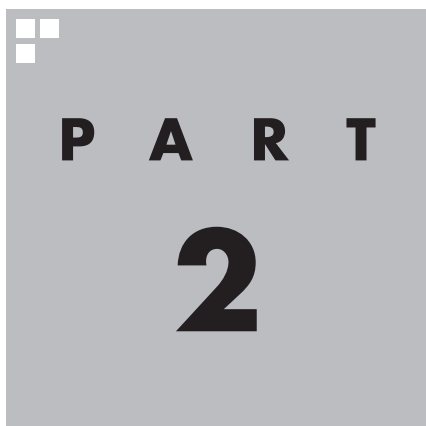
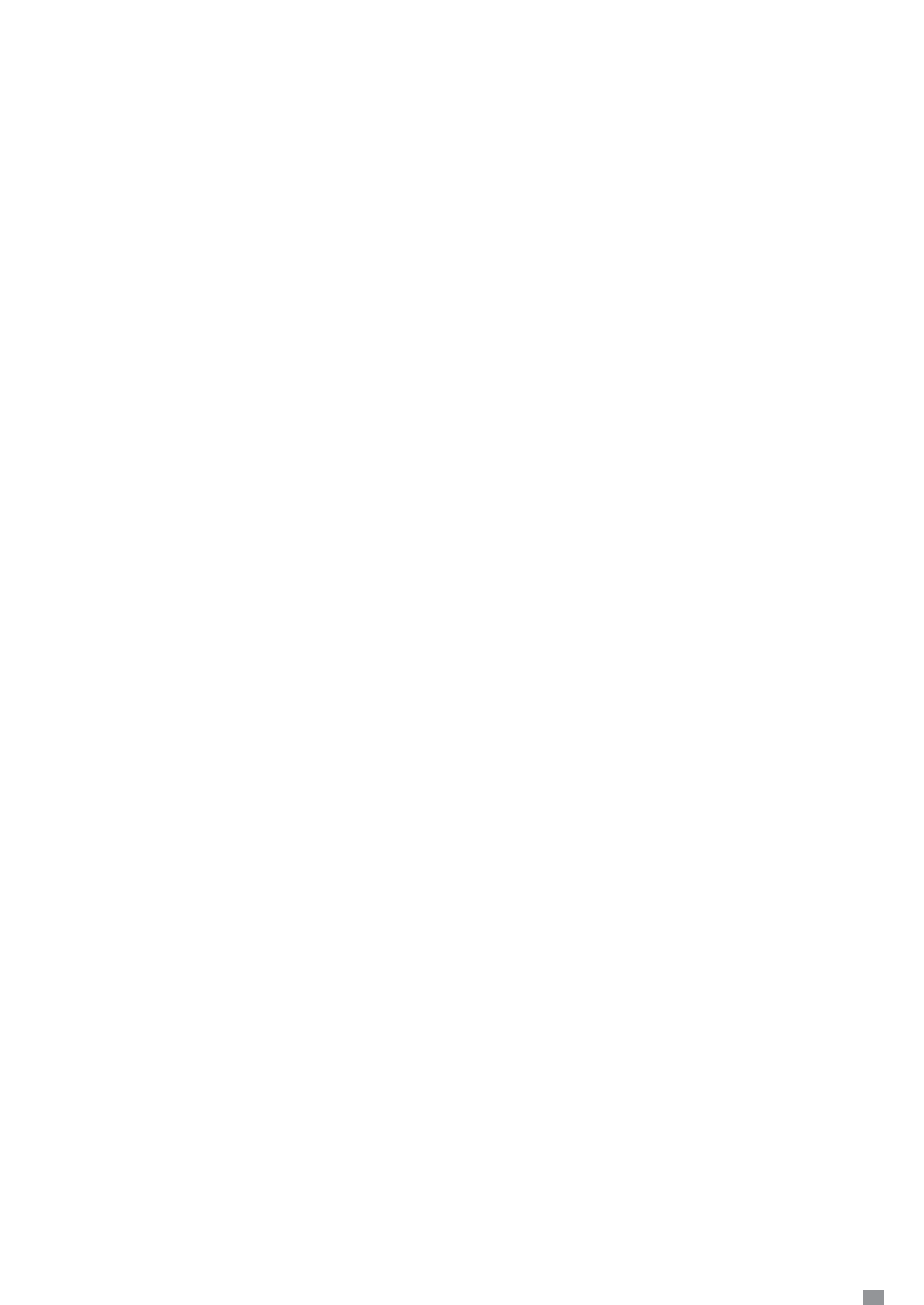
リモコンのボタンについて

■ 基本的な操作

【テレビメニュー】、および【矢印】と【決定】で、テレビ(SmartVision)の基本的な機能を使うことができます。

■ 基本的な操作

ここでは、テレビ(SmartVision)を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	テレビをつける。(p.16)
【電源】	パソコンを起動/終了する。
【アプリ終了】	テレビを消す(ソフトを終了する)。(p.20)
【彩り】	彩りまたは彩りプラス機能を切り換える。(p.19)
【1】~【12】、【*】、【0】、【#】※4	チャンネル(p.17)を切り換える。また、数字を入力する。
【クリア】、【チャンネル番号入力】、【確定】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【録画番組】	録画済みの番組一覧を表示します。
【番組表】	番組表を表示します。
【番組情報】	番組の詳細情報を表示します。
【画面表示】	チャンネルや番組名などを表示します。
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.18)
【Media Center】	Windows Media Centerを起動する。(p.16)
【矢印】※3	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。また、「きこえる変速再生」をする。(p.82)
【決定】※3	選択した項目を決定する。
【≪】、【≫】	「番組表」の日付(p.32)や、「録画番組一覧」のジャンル(p.79)などを切り換える。また、チャプタースキップする。(p.81)
【戻る】	テレビや再生中の録画番組の映像に戻る(p.33)。ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.19)
【テレビメニュー】	テレビメニューを表示する。(p.21)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.20)
【音量】	音量を調節する。(p.19)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.19)
【連動データ】(【d】)	データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.26)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.17)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ガイダンス領域やデータ放送に表示される各色のボタンと対応した機能を使う。
【巻戻し】	巻き戻しする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.25、79)
【再生】	再生する。(p.25、79)
【早送り】	早送りする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.25、79)
【前】	チャプタースキップする。(p.81)
【一時停止】	一時停止する。(p.25、79)
【停止】	再生を停止する。(p.25、79)
【次】	チャプタースキップする。(p.81)
【録画】	見ている番組を録画する。(p.48)
【録画モード】	録画モード(画質)を変更する。(p.49)

※1: テレビ(SmartVision)以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2: 【チャンネル番号入力】を押し、数字ボタン(【1】~【9】、【0】)を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【確定】を押します(入力を中止するときは【クリア】を押します)。
※3: フルスクリーンモードでタイムシフト視聴または再生をおこなっているとき、リモコンが「再生操作モード」であれば、【矢印】の左右ボタンで巻き戻しと早送りを、【決定】で一時停止/再生の切り換え操作ができます。
※4: 【1】~【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【10】~【12】では、数字を入力することができません。

テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ(SmartVision)を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠注意

- **映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

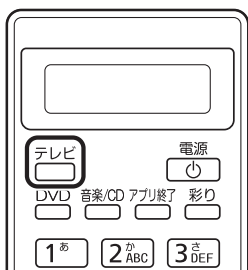
PART 2 テレビを見る

基本的な使い方

ここでは、テレビを見るための基本操作を説明します。一般のテレビと同じように、リモコンで操作できます。

テレビをつける

■ テレビ映像を表示する

1 リモコンの【テレビ】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビが表示されます。パソコンが省電力状態、または電源が切れている状態でも、【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

■ Windows Media Centerからテレビ(SmartVision)を起動する

Windows Media Centerを起動し「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」を選んでテレビを起動することもできます。

チェック

- マルチユーザー環境で使用しているときは、電源が切れている状態で【テレビ】を押すと、ユーザーを選ぶ画面が表示されます。
- テレビを視聴するとき、USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなどは使用できません。
- Luiリモートスクリーン接続とテレビの視聴を同時におこなうことはできません。

チェック

次の方法でも、テレビ(SmartVision)を起動することができます。

・タスクバーのSmartVisionアイコンをクリック

・「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリック

この手順で起動したときは、マウスで使う画面が表示されます。詳しくは、PART7の「マウスで使うための画面」(p.112)をご覧ください。

なお、最初に起動したときのみ、テレビの初期設定(p.5)が必要となるため、リモコンで使う画面が表示されます(この場合でもマウスを使って設定を進めることができます)。

■ 操作パネル

テレビ機能を使っているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。
テレビの基本操作は主にリモコンでおこないますが、操作パネルを使ってマウスでも操作できます。

テレビの映像や録画した番組の映像が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

「録画番組一覧」や「番組表」など、テレビや録画番組の映像以外の画面が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
マウスで使う画面に切り換えるためのボタン(「スリム」･「ノーマル」･「アドバンスト」)が表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。

ポイント

●番組表(p.29)やテレビメニュー(p.21)から、見たい番組を選ぶ方法もあります。
●チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。

■ チャンネル番号を入力して切り換える

リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。

1 リモコンの【チャンネル番号入力】を押す

チャンネル番号の入力欄が表示されます。

2 数字ボタン(【1】〜【9】、【0】)を使って、3桁のチャンネル番号を入力する

3 【確定】を押す

チャンネルが切り換わります。

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えるには、リモコンの【放送波切換】を押します。

押すごとに、次のように切り換わります。
地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル→…(以降繰り返し)

ポイント

テレビメニュー(p.21)から、放送波を切り換える方法もあります。

画質を切り換える

画質を変更するときは、リモコンの【彩り】を押します。

「彩りプラス」機能を搭載しているモデル
【彩り】を押すと、現在の画質モードを表示した後、彩りプラスの画質モードが次のように切り換わります。
ダイナミック→スタンダード→シネマ→無効→ダイナミック→…(以降繰り返し)

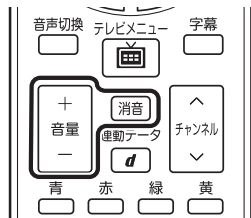
「彩り」機能を搭載しているモデル
【彩り】を押すと、現在の画質モードを表示した後、彩りの画質モードが次のように切り換わります。
有効→無効→有効→…(以降繰り返し)

参 照

●「彩りプラス」について
→「彩りプラスの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071119 で検索

●「彩り」について
→「彩りの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071920 で検索

音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。
【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

チェック

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

外国映画などの音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、【音声切換】を押します。

【音声切換】を押すごとに、音声が順番に切り換わります。
切り換わり方は放送により異なります。

チェック

●L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
●このパソコンでは、5.1chサラウンドの音声を、ステレオ2chに変換して出力しています。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
リモコンの【字幕】を押して字幕表示のオン/オフを切り換えます。

テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す

テレビ画面が終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

1 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、パソコンがスリープ状態になります)。

●【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒～ 1分程度かかる場合があります。

●ご購入時の状態では、録画(予約および終了時刻が設定された録画)、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、簡易編集した番組の保存をおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。
テレビ以外に動作しているソフトがなければ、上記の動作が完了してから、パソコンが終了します。

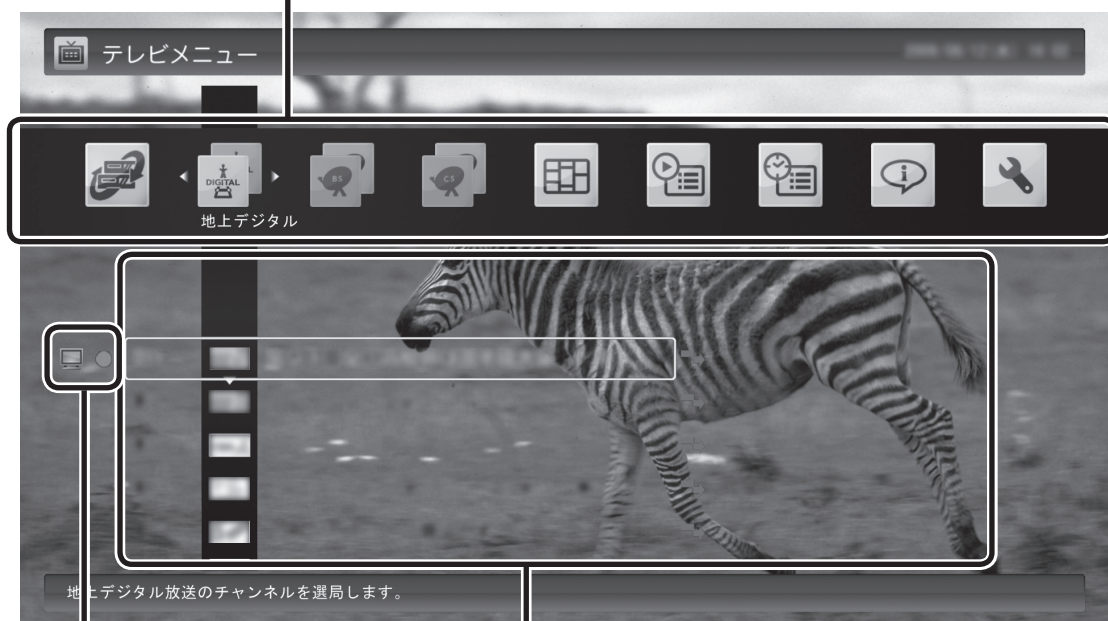
PART 2 テレビを見る

テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

テレビメニューって何？

テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。
見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。
リモコンの【テレビメニュー】を押すと表示されます。もう一度押すと、テレビメニューの背景に見えている映像の表示に戻ります。

テレビ機能がまとめられています。各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約、設定などがあります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで動かして選びます。

見ている番組にはテレビのマークが表示されます。また、録画している番組には赤い丸、タイムシフトモードで受信している番組には緑の三角が表示されます。

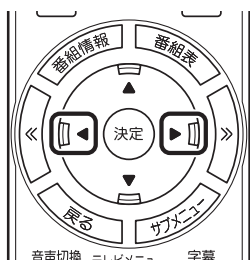
各機能の下のメニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで動かし、【決定】で決定します。

テレビメニューの使い方

ここでは、地上デジタル放送の番組を見る手順を例に、テレビメニューの操作を説明します。

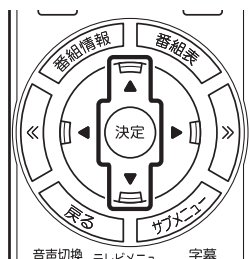
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「地上デジタル」のアイコンを選ぶ

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

チェック

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組が表示されます。

■ レコーダーを切り換える

テレビメニューで、「レコーダー切換」のアイコンを選び、操作するレコーダーを選んで【決定】を押し、レコーダーを切り換えることができます。
たとえば、ドラマを録画しながら見ているときに野球の中継を見たくなったら、レコーダーを切り換えて、チャンネルを選びなおしてください。ドラマの録画を中断せずに、野球中継を楽しむことができます。

ポイント

リモコンの【サブメニュー】を押し、「レコーダー切換」でレコーダーを選んで切り換えることもできます。

PART 2 テレビを見る

タイムシフトモードで見る

ツーアウト満塁のシーンで電話のベル！そんなときはタイムシフトモードの出番です。今見ている番組を一時停止して、用事を済ませてから続きを楽しみましょう。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」は、見ている番組を自動的に録画する機能です。リアルタイムで見ていた番組を、いったん録画してから再生するため、一時停止したり、巻き戻しや早送りができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。
ご購入時には、「ライブモード」になっています。
タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。

- タイムシフトモード:
  視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
- ライブモード:
  さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

ポイント

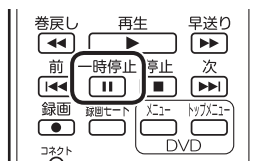
特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了すると、自動的にライブモードに戻ります。機能の組み合わせについては、「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)の表をご覧ください。

タイムシフトモードに切り換える

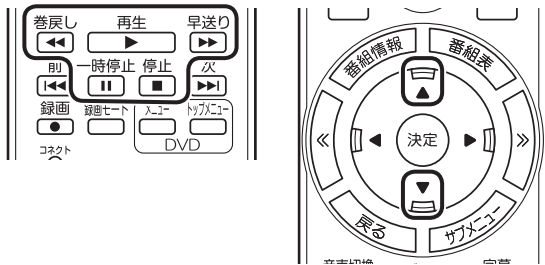
ライブモードでテレビを見ているときは、次の操作でタイムシフトモードに切り換えることができます。

ポイント

タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

1 リモコンの【一時停止】を押す

タイムシフトモードに切り換わり、番組が一時停止します。続きを見るときは【再生】を押してください。

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で速くなります※。

●早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で速くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スロー再生
一時停止した状態で【早送り】または【巻戻し】を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

●きこえる変速再生
音声付きで、早め、またはゆっくり再生できます。
「お急ぎモード」:【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階で速くなります。リアルタイムの放送に追いつくと、「お急ぎモード」は使えなくなります。
「じっくりモード」:【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階で遅くなります。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.114)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。
●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

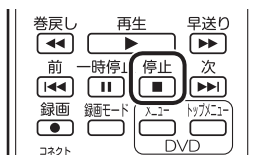
ポイント

「リモコンの設定」で、【≪】【≫】に30秒スキップ機能を割り当てることもできます(p.198)。

チェック

●きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。
●一時停止後に続きを再生する場合、一時停止する前のスピードで再生されます。
●タイムシフトモードでさかのぼれる時間は、ご購入時の状態で60分です。「じっくりモード」で番組を視聴していると、再生位置がリアルタイムの放送からだんだん遅れていきます。この遅れが、さかのぼれる時間の限界に達すると、「じっくりモード」は解除され、通常の再生スピード(1倍)に戻ります。

タイムシフトモードを終了する

1 リモコンの【停止】を押す

タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

ポイント

特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)の表をご覧ください。

PART 2 テレビを見る

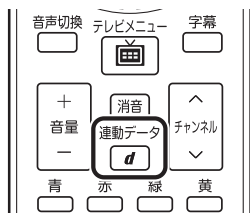
データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

データ放送を表示する

1 リモコンの【連動データ】を押す

データ放送の画面が表示されます。

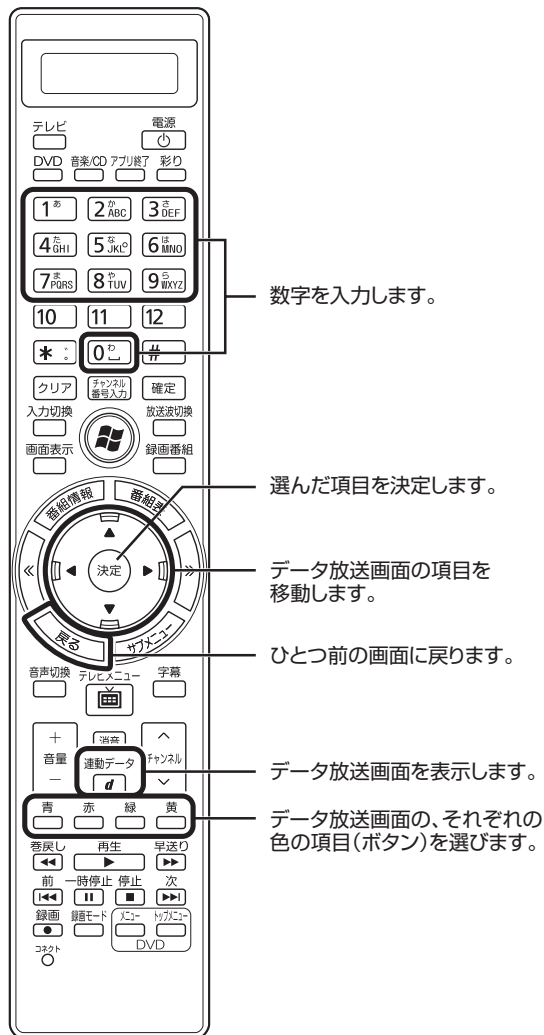
チェック

- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、ライブモード(p.25)に切り換えてください。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。『ユーザーズマニュアル』の「準備･基本編」の「第3章　インターネットを始める」をご覧になり、設定をしてください。

ポイント

番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。このデータ放送を「独立データ放送」といいます。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

チェック

- データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
- リモコンを「データ放送固定モード」にしないと操作できない場合があります。必要に応じて、リモコンの【サブメニュー】を押し、リモコン設定を「自動切換」から「データ放送固定モード」に変更してください。
- 数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

キーボード	操作の内容
【D】※	データ放送画面を表示します。
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。
【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
【B】※	データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)を選びます。 【B】：青 【R】：赤 【G】：緑 【Y】：黄
【R】※	
【G】※	
【Y】※	
【0】〜【9】※	数字を入力します。

※マウスで使うための画面(p.112)でのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。文字を入力するときは、マウスで使うための画面に切り換えてください(p.112)。

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

データ放送を見るときの注意

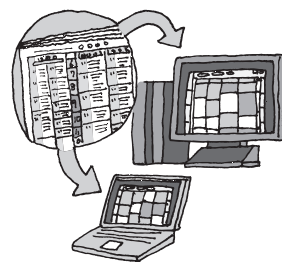
- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモード(p.24)でデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- お使いのセキュリティソフトによっては、データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができない場合があります。セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C:¥Program Files(x86)¥NEC¥SmartVision¥DtnCtl.exe」にアクセス権を設定してください。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
  映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- ダイレクト以外の録画モード(p.42)※で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。
  ※ファイン、ファインロング、セミファインロング、ロング、スーパーロング
- 録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻しなどをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

PART 2 テレビを見る

番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。自分の好みにあわせた「マイ番組表」を作ることもできます。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？
新聞やテレビ情報誌？
新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。
番組表は、テレビの電波で更新できます。
番組表は最大8日分が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

■ マイ番組表

地上デジタル、BS・110度CSデジタルの放送波に関係なく、お好みのチャンネルだけを表示できる便利な機能です。「お父さん用」、「お母さん用」など家族それぞれの番組表や、「アニメ」「週末のみ」などジャンル別、用途別の番組表を作ることができます。作成した番組表は、テレビメニューの番組表から表示させることができます。
マイ番組表を使うためには、最初にチャンネルの登録が必要です。登録については「マイ番組表を作る」(p.36)をご覧ください。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。
テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

■ 番組表の受信に関する注意

番組表を受信するには、パソコンのレコーダー(チューナー)を1つ使用します。そのため、番組表の受信中は次のことに注意してください。

●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。

●番組表受信に使用していないレコーダーは通常と同じように使用できます。

次の場合は、番組表の受信ができません。
・2つの番組を同時に録画しているとき

次の場合は、番組表の自動受信ができません。
・テレビを見ながら別の番組を録画しているとき
・2つの番組を同時に録画しているとき

ポイント

ご購入時の状態では、番組表は1日1回、次の時刻に受信する設定になっています。

10・12・14・16時

録画予約などと重ならないよう、自動的に受信の時刻が設定されます。
番組表の受信時刻を変更する場合は、このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」(p.34)を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、付録の「予約実行前後の動作を設定する」(p.182)をご覧ください。

番組表を受信中は、次の動作をします。

・ 番組表の受信をするレコーダーがタイムシフトモードだった場合は、ライブモードに切り換わります
・ 番組表の受信をするレコーダーのチャンネルが自動的に切り換わります
・ 番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。

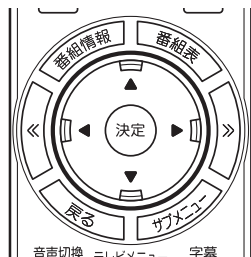
・ 番組表の受信をするレコーダーのチャンネルを切り換えたとき
・ 番組表の受信をするレコーダーで録画を開始したとき
・ 番組表の受信をするレコーダーをタイムシフトモードに変更したとき

ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更(p.34)してください。

番組表を見る

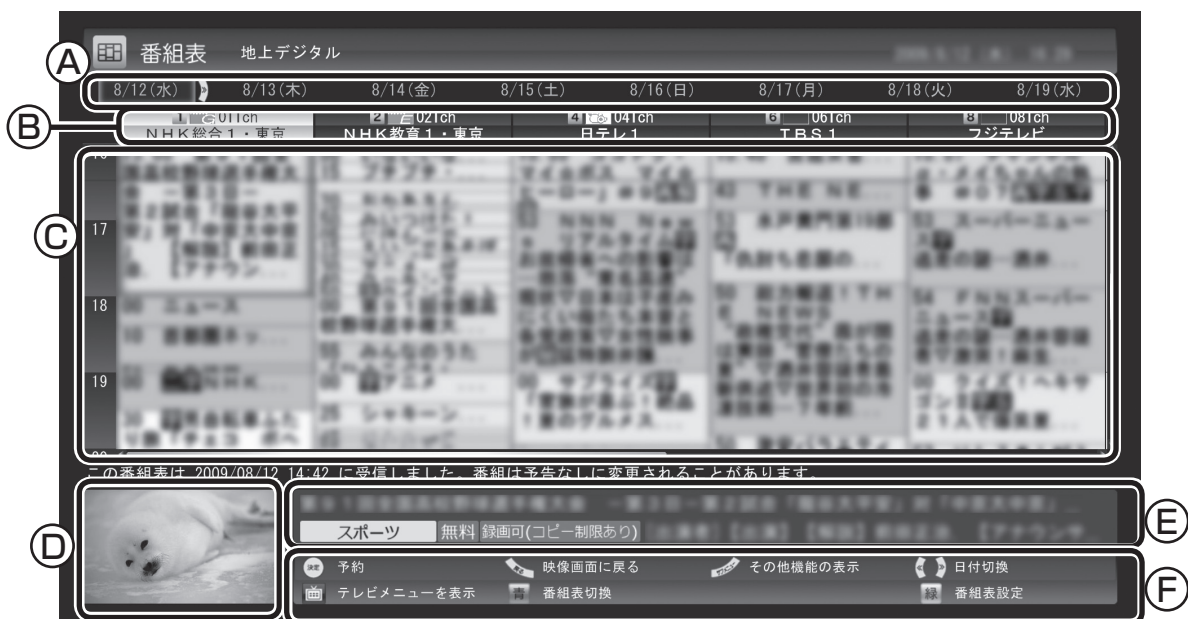
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す

番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手動で番組表を受信するには」(p.35)をご覧いただき、番組表を手動で受信してください。
マイ番組表については、「マイ番組表を作る」(p.36)をご覧ください。

リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。

■ 番組表の使い方

Ⓐ日付
リモコンの【≪】【≫】を押して日付を移動すると、その日の番組表が表示されます。

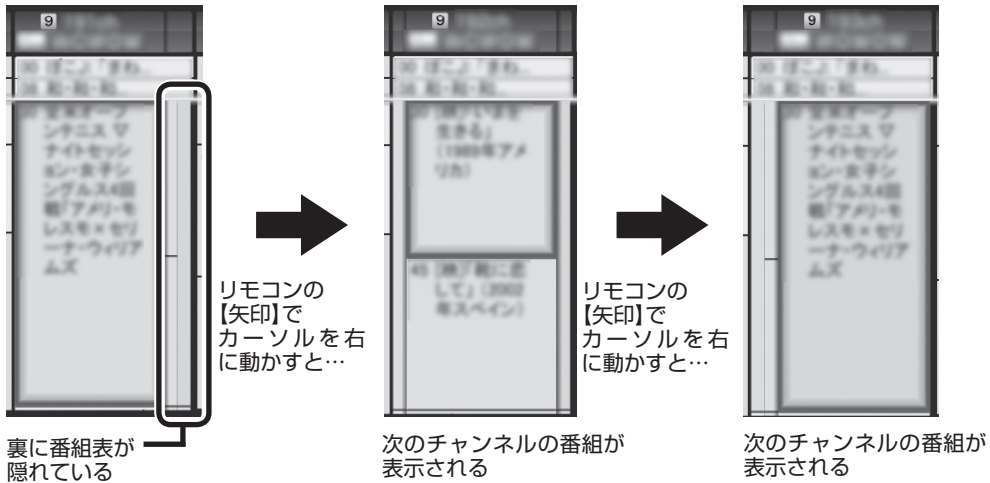
Ⓑ番組表チャンネル
チャンネルと放送局が表示されます。

Ⓒ番組表
現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組を選ぶと、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、選んだ番組を予約（または視聴）する画面に移ります。

Ⓓプレビュー領域
選局中の番組が表示されます。
リモコンの【戻る】を押すと、ここに表示されている番組が全画面表示されます。

Ⓔ番組情報
番組表で選んだ番組の情報が表示されます。
リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。

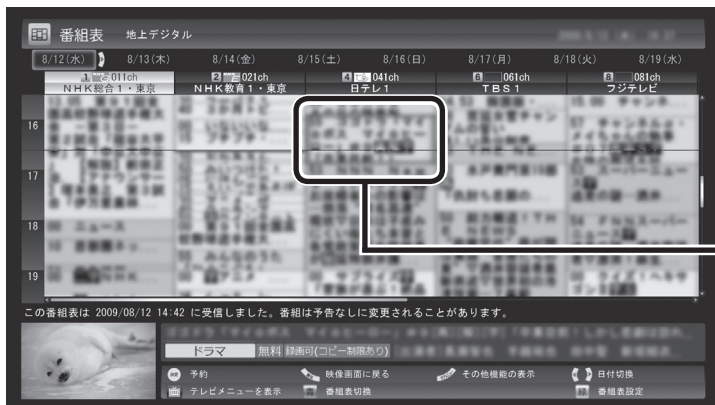
Ⓕガイダンス領域
「予約」や「番組表切換」など、番組表で使う機能が表示されます。それぞれの機能に対応するリモコンのボタンを押して、その機能を使用することができます。
ガイダンス領域は番組表以外の画面にも表示されます。表示されるボタンは画面によって異なります。

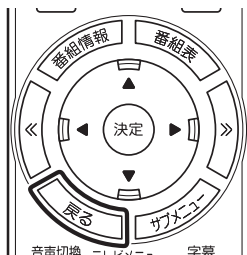
デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル（たとえば051ch、052ch、053ch）ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。

■ 番組表から見たい番組を選ぶ

番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。
見たい番組を選んで【決定】を押すと表示される番組を予約する画面で、「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。

録画予約について詳しくは、PART3の「おてがる予約をする（番組表で予約する）」(p.53)をご覧ください。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表からテレビを見る画面に戻るには、リモコンの【戻る】を押します。

テレビを見る画面が表示されます。

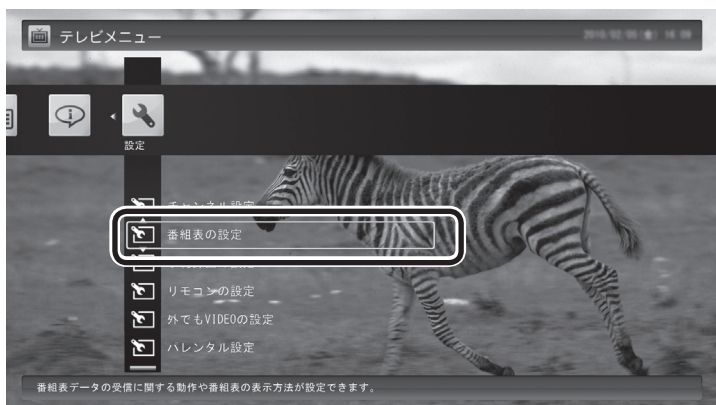
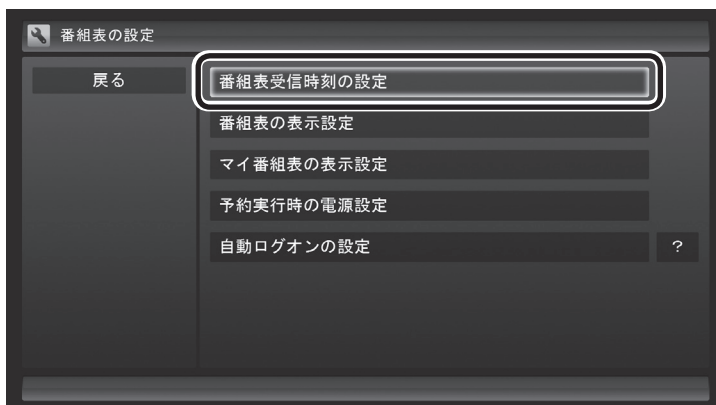
ポイント

別の番組表に切り換えるときは、【青】を押して、表示されたメニューから選んでください。【テレビメニュー】を押してテレビメニューから選ぶこともできます。

番組表の受信時刻を変更する

番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。
番組表受信時刻を変更する前に、「番組表の受信に関する注意」(p.29)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定🔧」の「番組表の設定」を選んで【決定】を押す

3 「番組表受信時刻の設定」を選んで【決定】を押す

「番組表受信時刻の設定」画面が表示され、設定できます。

チェック

このパソコンは、番組の視聴や録画に使用するレコーダー(チューナー)を2つ搭載しています。番組表の受信は、視聴や録画に使われていないレコーダー(チューナー)を使って自動的におこなわれます。

●受信時刻と動作
「ー」にするとその時刻は番組表を受信しません。
「受信」にするとその時刻は番組表を受信します。
「自動」にすると、その日に一度も番組表を受信していない場合に番組表を受信します。

●受信する番組表
どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

4 設定を変更したら「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

チェック

ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、「受信する番組表」の「CS」を「受信」に変更してください。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

1 「番組表を見る」(p.31)の手順1 ～ 2の操作をおこない、受信したい放送波の番組表を表示させる

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで【決定】を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合の例

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか？

＜注意＞（番組表取得をおこなうレコーダーについて）
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
タイムシフトモードはライブモードになります。
次の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした

はい　いいえ

チェック

●番組表をインターネットから取得することもできます。詳しくはPART7の「G-GUIDE for Windowsで予約する」(p.148)をご覧ください。

●手動で番組表を受信するときは、番組表の基本的な情報のみを取得します。これはBSデジタル放送の番組表のデータが多く、詳細な情報を含めて取得すると約1時間ほどかかるためです。
また、この際、すでに取得されていた詳細情報もクリアされます。このため、番組表の手動受信後に「ウェブ検索」(p.127)の「人名検索」をおこなっても、人名の情報が表示されないことがあります。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

番組表の受信が始まります。
受信が完了すると、「番組表を取得しました」というメッセージが表示されます。

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

受信された番組表が表示されます。

マイ番組表を作る

お好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。マイ番組表は4つまで作ることができます。

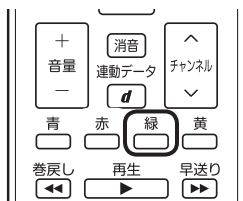
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」を選び、マイ番組表を選んで【決定】を押す

ここでは、ご購入時の状態であらかじめ登録されている「マイ番組1」を選びます。

マイ番組表(ここでは「マイ番組1」)が表示されます。

3 【緑】を押す

「マイ番組表の表示設定」が表示されます。

ポイント

ご購入後、はじめて「マイ番組1」を選んだときは、「放送局が未選択です」というメッセージが表示されます。

ポイント

作成済みのマイ番組表を選んで【緑】を押すと、次の操作ができます。

- マイ番組表の編集
  選択しているマイ番組表を編集できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- マイ番組表の追加
  新たにマイ番組表を追加できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- マイ番組表の削除
  選択しているマイ番組表を削除できます。

4 マイ番組表を設定する

① 設定するマイ番組表を選ぶ

「設定するマイ番組表」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで設定したいマイ番組表の番号(1 ～ 4)を選んでください。

② マイ番組表の名前を設定する

「マイ番組表の名称」を選んで【決定】を押し、キーボードで名前を入力して【Enter】を押してください。

③ 画面に表示するチャンネル数を選ぶ

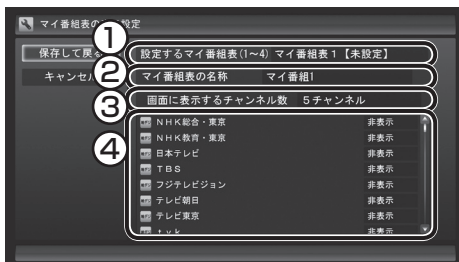
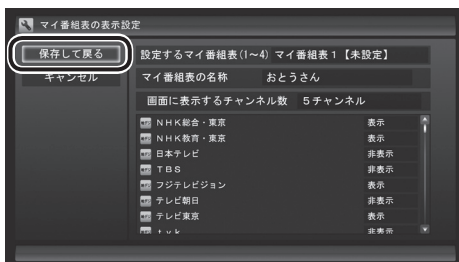
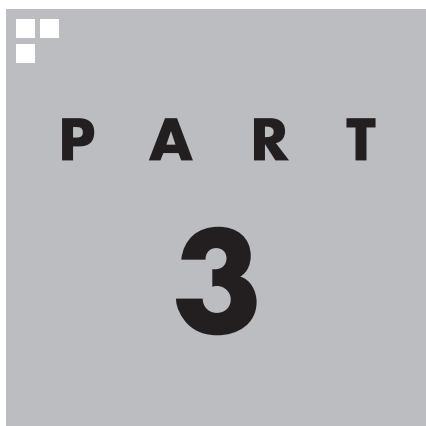
「画面に表示するチャンネル数」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで1画面に表示するチャンネルの数を選んでください。

「9チャンネル」・「7チャンネル」・「5チャンネル」のいずれかを選択できます。

④ マイ番組表に登録するチャンネルを選ぶ

チャンネルが表示されている部分を選んで【決定】を押します。

マイ番組表に登録するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「表示」を選んでください。

登録を解除するときは、解除するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「非表示」を選んでください。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

設定が保存され、マイ番組表が表示されます。

録画・予約する

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、キーワードから番組を探して自動的に録画する「おまかせ録画」、アニメやドラマの新番組を自動的に録画する「新番組おまかせ録画」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3

録画・予約する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

- 録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- 頻繁に録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週に1回程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグ ツール」で実行します。
- 録画中に、パソコンをシャットダウンしたときや、パソコンが休止状態になったときなどは、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- 録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
- 「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
- 録画した番組はこまめにDVDなどに保存(p.91)したり、不要な番組を削除(p.88)したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。
- テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- テレビ番組を録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。録画した番組の映像が一部乱れる場合があります。
- 一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
  番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- 短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

チェック

- システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。映像が乱れるときの対処について詳しくは、PART8の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.161)をご覧ください。
- ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

SSDを搭載したモデルでは、SSDにディスクデフラグを実行しないでください。

●録画モード変換と録画を同時におこなうときは、一部の機能に制限があります。詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)をご覧ください。

●このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかのパソコンおよび、ほかの動画再生ソフトでは再生できません。また、外付けハードディスク(p.119)に録画番組を移動した場合も、このパソコン以外のパソコンでは番組を再生することはできません。
ただし、次の場合は再生可能です。
・DVDなどに保存(p.91)して、対応したソフトやプレーヤーで再生する場合
・ホームネットワークで録画した番組を配信する場合(対応モデルのみ)(p.199)

●録画中にWindowsバックアップをおこなうと、番組の映像や音声が乱れた状態で録画されることがあります。バックアップスケジュールを設定しているときは、予約録画の時刻と重ならないようご注意ください。

録画モードについて

■ VALUESTAR Wの場合

録画モード		最大解像度	用途と特徴
ダイレクト		ハイビジョン(HD)	放送された画質で番組を録画するモードです。すべてのモードの中で録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を保存するのに適しています。このモードのみデータ放送が保存されます。
長時間モード※	ファイン	ハイビジョン(HD)	録画できる時間と画質とのバランスが取れたモードです。フルハイビジョンで録画できます。「ダイレクト」に近い画質で、地上デジタルは「ダイレクト」の約2倍、BS・110度CSデジタルは約3倍録画できます。
	ファイン ロング	ハイビジョン(HD)	フルハイビジョンで長時間録画できるモードです。「ファイン」より画質が低下しますが、地上デジタルは「ダイレクト」の約4倍、BS・110度CSデジタルは、「ダイレクト」の約6倍録画できます。
	セミファイン ロング	ハイビジョン(HD)	フルハイビジョンで保存できるモードの中で、もっとも長時間録画できます。 地上デジタルは「ダイレクト」の約8倍、BS・110度CSデジタルは「ダイレクト」の約12倍録画できます。
	ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。映像の動きが激しい番組では、「セミファインロング」に比べてブロックノイズが目立ちにくくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約8倍、BS・110度CSデジタルは約12倍録画できます。
	スーパー ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。すべてのモードの中で、録画に必要なハードディスク容量がもっとも少なくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約14倍、BS・110度CSデジタルは約20倍録画できます。ハードディスクの容量が少なくなってきたときなどに便利です。

※:長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

■ VALUESTAR Nの場合

録画モード		最大解像度	用途と特徴
ダイレクト		ハイビジョン(HD)	放送された画質で番組を録画するモードです。すべてのモードの中で録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を保存するのに適しています。このモードのみデータ放送が保存されます。
長時間モード※	ファイン	ハイビジョン(HD)	録画できる時間と画質とのバランスが取れたモードです。フルハイビジョンで録画できます。「ダイレクト」に近い画質で、地上デジタルは「ダイレクト」の約2倍、BS・110度CSデジタルは約3倍録画できます。
	ファイン ロング	ハイビジョン(HD)	フルハイビジョンで長時間録画できるモードです。「ファイン」より画質が低下しますが、地上デジタルは「ダイレクト」の約4倍、BS・110度CSデジタルは、「ダイレクト」の約6倍録画できます。「セミファインロング」とは異なり、ハイビジョン解像度のまま光ディスクに保存することができます。
	セミファイン ロング	ハイビジョン(HD)	ハイビジョンで、もっとも長時間録画できるモードです。「ファイン」、「ファインロング」とは異なり、光ディスクに保存するとき、「ロング」(標準解像度)に変換されます。スタジオで撮影されたドラマなど、映像の動きが激しくない番組であれば、解像度にこだわったまま長時間録画できます。 地上デジタルは「ダイレクト」の約7倍、BS・110度CSデジタルは「ダイレクト」の約10倍録画できます。
	ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。映像の動きが激しい番組では、「セミファインロング」に比べてブロックノイズが目立ちにくくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約8倍、BS・110度CSデジタルは約12倍録画できます。
	スーパー ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。すべてのモードの中で、録画に必要なハードディスク容量がもっとも少なくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約14倍、BS・110度CSデジタルは約20倍録画できます。ハードディスクの容量が少なくなってきたときなどに便利です。

※:長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

■ 録画モードに関するご注意

●「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。

●「ダイレクト」、「ファイン」以外の録画モード(p.189)に関するご注意
「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、「スーパーロング」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。

●「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、「スーパーロング」に関するご注意
スポーツ番組や音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をこれらのモードで録画すると、再生時にブロックノイズが目立つことがあります。このような番組は「ダイレクト」や「ファイン」で録画することをおすすめします。

ポイント

●VALUESTAR Nでは、「セミファインロング」の最大解像度が1280×1080となります。

●録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」(p.137)の機能を使うときは、放送されている音声のうち1つだけ録画できます。

録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル 標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル 標準テレビ(SD)	約4.7Gバイト
ファイン	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
セミファインロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	VALUESTAR W: 約900Mバイト VALUESTAR N: 約1.0Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約900Mバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
スーパーロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約520Mバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

チェック

「外でもVIDEO」を同時に録画するときは、各録画モードで必要なハードディスク容量に加えて、1時間あたり、「外でもVIDEO(ワンセグ画質)」では約258MB、「外でもVIDEO(SD画質)」では約562MBの容量が必要です。

■ ダブル録画をおこなうときのご注意

このパソコンは、2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。
ただし、同時に使用する機能によって、一部制限があります。ご注意ください。

●タイムシフトモードで視聴するとき
タイムシフトモードは、放送されている番組を録画しながら視聴することで、巻き戻しや早送りの機能を実現しています。このため、タイムシフトモードでの視聴には、録画と同様の制限があります。

●録画と同時に携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)の作成をおこなうとき
・どちらか一方の番組を録画モード「ダイレクト」で録画してください。
・2番組同時に携帯電話用のデータを作成したいときは、2番組とも「ダイレクト」で録画してください。

●録画モード変換をおこなっているとき※
・ダブル録画するときは、どちらか一方の番組を「ダイレクト」で録画してください。
・携帯電話用のデータを作成しながらダブル録画をするときは、2番組とも「ダイレクト」で録画してください。このとき携帯電話用のデータを作成できるのは1番組のみとなります。
※:次の3つが含まれます。
・「録画モード変換」の機能を使用しているとき
・録画番組を光ディスクに保存する際、「デジタル放送画質の変換」で「変換しない」以外を選択したとき
・携帯電話用のデータが作成されていない録画番組を、携帯電話に転送しているとき

同時に使える機能の組み合わせについては、次の表をご覧ください。

チェック

同時に実行できない機能が重なったとき、実行する機能を選ぶ画面が表示されることがあります。その際は、表示されたメッセージにしたがい、いずれかの機能をキャンセルするなどの操作をしてください。

レコーダー 1とレコーダー 2の機能の組み合わせ		同時動作	録画モード変換(光ディスク保存時含む)との同時動作
ダイレクト録画	−	○	○
ダイレクト以外の録画	−	○	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	−	○	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	−	○	×
ダイレクト録画	ダイレクト録画	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト録画	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト以外の録画	○	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	○※
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	○	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	×	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	○※	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	×	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	×	×

※この組み合わせのとき、ライブモードで視聴していたテレビは自動的にタイムシフトモードに切り換わります。表中のいずれかの動作が終了するとライブモードに戻ります。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

●録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
●ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
●放送休止状態になったとき
●番組の受信ができなくなったとき
●番組が、録画不可属性になったとき
●受信状態が不安定なとき

ハードディスクの残り容量について→オンラインヘルプ(p.114)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 3 録画・予約する

いろいろな録画予約機能

このパソコンには、いろいろな録画予約機能が搭載されています。
ここでは、それらの機能について簡単にご紹介します。

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダーと同じ。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることはありません。
気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

録画予約機能一覧

こんなときは、どの録画機能を使えばいいのかな？
次の一覧をご覧いただき、さまざまな録画機能を使いこなしてください。

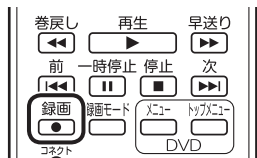
機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
録画の自動停止	視聴中の番組を録画する場合、番組の終了時や、指定した時間が経過した時点で、自動的に録画を停止させることができます。	録画を自動的に停止する(p.49)
おてがる予約(番組表からの予約)	画面に表示された番組表から番組を選ぶだけで録画予約できます。 また、ジャンルやキーワードを指定して、好みの番組を検索して録画予約できます。	おてがる予約をする(p.53) 番組を検索して予約する(p.58)
シリーズ録画	連続ドラマなどのシリーズ番組を、一度の操作で次回以降の放送も自動的に録画予約できます。	シリーズ録画機能を使う(p.57)
時間指定予約	まだ番組表には表示されていないずっと先の番組でも、チャンネルや日時を指定して録画予約できます。	番組表を使わないで予約する(p.60)
おまかせ録画	好きなジャンルやお気に入りタレントなど、あらかじめジャンルやキーワードを登録しておくと、それをもとに番組を検索して、自動的に録画予約します。	おまかせ録画をする(p.63)
新番組おまかせ録画	アニメやドラマの新番組を自動的に検索して録画予約します。	新番組おまかせ録画をする(p.69)

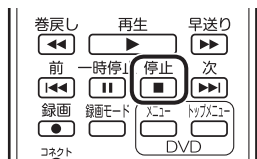
- 「おてがる予約」や「時間指定予約」では、録画だけでなく視聴を予約することもできます。
- 予約には優先度があります。詳しくは、このPARTの「予約の優先度について」(p.74)をご覧ください。

PART 3
録画・予約する

視聴中の番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す

録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、PART4の「録画した番組を再生する」(p.78)をご覧ください。

■ 録画ランプについて(VALUESTAR Wのみ)

VALUESTAR Wでは、録画が始まると録画ランプ(録画中であることを示すランプ)が点灯します。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

- 【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.50)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
さかのぼり録画をするには、あらかじめタイムシフトモードにしておく必要があります。
- 録画中の番組を再生することもできます(p.83)。

チェック

録画ランプについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

【録画モード】を押すと、録画の録画モード(p.42)を変更することができます。録画モードを変更したいときは、録画する前に変更してください。
また、【録画モード】を連続して押すと、録画モードを次のように設定できます。

ダイレクト→ファイン→ファインロング→セミファインロング→ロング→スーパーロング→ダイレクト・・・(以降繰り返し)

■ 録画を自動的に停止する

【録画】を連続して押すと、録画終了時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし・・・(以降繰り返し)。
また、録画終了時間を設定した状態で、【電源】を押すなど、パソコンをスリープ状態にする操作をおこなうと、画面が消えて録画を継続します。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。

チェック

●この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

●タイムシフトモードで視聴している番組を録画するときは、録画モードが変更できません。

●この方法で録画するときは、録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」(p.137)の機能が使えません。

ポイント

●録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。

●ご購入時の状態では、【電源】を押すとパソコンがスリープ状態になるように設定されています。

タイムシフトモードの番組を録画する(さかのぼり録画)

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

タイムシフトモード(p.24)で見ている番組は、巻き戻してから録画をすることができます。これを「さかのぼり録画」と呼びます。

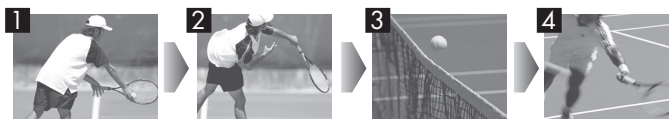
■ さかのぼり録画

タイムシフトモードで見ている番組なら、「あ、この番組録画しておけばよかった!」というときでも大丈夫。「タイムシフト」機能を使った「さかのぼり録画」で、今見ている番組をさかのぼって録画することができます(p.52)。

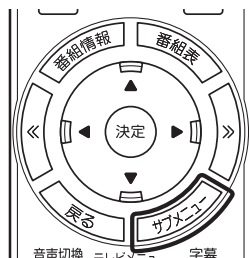
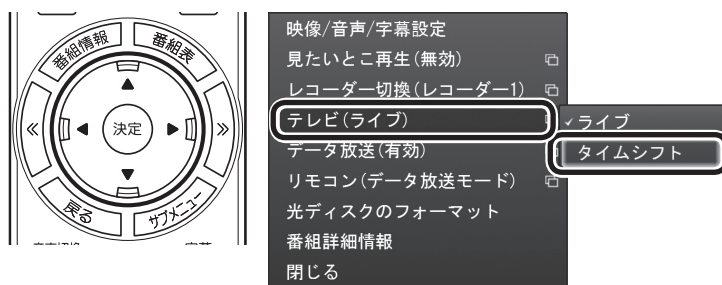
※さかのぼれる時間は、1分～ 90分の間で設定できます(ご購入時の設定では60分です)。

チェック

●「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。

●タイムシフトモードでは画質(録画モード)が変更できません。

■ タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。

1 【サブメニュー】を押す

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

ポイント

- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

ポイント

特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)の表をご覧ください。

■ さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

チェック

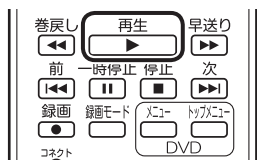
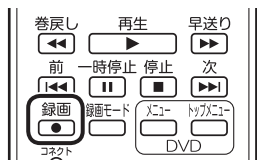
さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

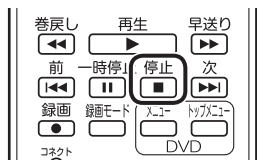
2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す

3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画を開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す

5 録画を終了するときは、【停止】を押す

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし…（以降繰り返し）

PART 3 録画・予約する

おてがる予約をする(番組表で予約する)

番組表から番組を選んで予約する「おてがる予約」を使ってみましょう。

おてがる予約って何?

「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。「シリーズ録画」機能を使って、お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。

おてがる予約をする

番組表(p.29)から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上デジタル放送の番組を予約します。

このパソコンは、2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。**同時に使用する機能によって、一部制限があります。**詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)をご覧ください。

ポイント

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

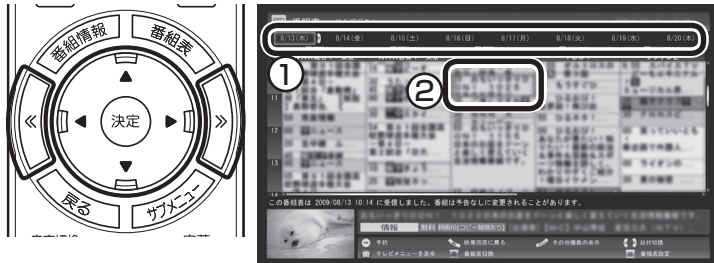
2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

① リモコンの【≪】【≫】で日付を選ぶ

② 予約したい番組を選んで【決定】を押す

番組を予約する画面が表示されます。

4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② 予約する動作(予約視聴または予約録画)を選ぶ
「予約録画/予約視聴」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から予約する動作を選んでもう一度【決定】を押してください。

●「予約視聴」
放送開始に合わせ、自動的に番組の映像を表示します。録画はおこないません。

●「予約録画(通常録画フォルダーに保存)」
予約した番組を録画し、通常録画フォルダーに保存します。

●「予約録画(録画フォルダー 2に保存)」
予約した番組を録画し、録画フォルダー 2に保存します。

③「録画モード(画質)」を選ぶ
「録画モード(画質)」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モード(p.42)を選んでもう一度【決定】を押してください。
「外でもVIDEO」をチェックすると、番組の録画と同時に携帯電話用のデータ(SD画質またはワンセグ画質)を作ることができます(p.144)。

④「繰り返し予約」を設定する
「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでもう一度【決定】を押してください。

●「しない(1回のみ)」
番組表で選んだ番組のみを予約します。通常はこちらを選んでください。

●「する(シリーズ)」
シリーズものの番組を続けて予約します(次回以降の放送も自動的に録画)。シリーズ録画の設定について詳しくは、「シリーズ録画のご注意」(p.57)をご覧ください。

●「する(時間指定)」
予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し予約します。番組の放送時間の変更には追従しません。

●放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。

●番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。

●放送の種類(放送波:地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル)を切り換えたいときは、【青】を押して選びなおしてください。

チェック

●外付けハードディスクを登録するなど、あらかじめ録画フォルダーが追加登録されているときは、「予約録画/予約視聴」でそれらの録画フォルダーを選択することもできます。ここではご購入時の状態(追加登録した録画フォルダーがない状態)を例に説明しています。

●番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

●「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

⑤「詳細設定」をおこなう

「詳細設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面でさらに詳細な設定をおこなうことができます。

●録画する曜日の設定

繰り返し予約を「する(時間指定)」に設定したとき、録画する曜日を追加設定できます。

●録画する音声の設定(複数の音声が含まれる番組の場合)

「外でもVIDEO」をチェックしたときや、録画モードで「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、または「スーパーロング」を選んだとき、録画する音声を選択できます。

・録画する音声の設定は、複数音声を含む番組を予約したときだけ表示されます。

・1つの音声に主音声と副音声を含むデュアルモノラル音声放送の場合、音声選択のメニューは表示されませんが、主音声と副音声の両方が録画できます。

設定が完了したら、「保存して戻る」を選んで【決定】を押し、「番組の予約」画面に戻ってください。

⑥「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

同じ時間帯に複数の録画予約をするときは、次のことに注意してください。

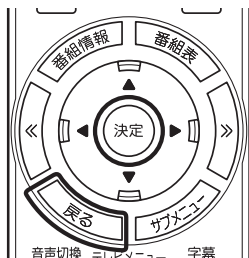
●同じ時間帯に2つの録画予約が入っているとき、新たに3つめの予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、残す予約と取り消す予約を選んでください。

●映像の変換を含む予約は、同じ時間帯に2つまでしか入れられません(p.45)。たとえば、ある番組を「ファイン」+「携帯電話用のデータ作成」という設定で録画予約すると、同じ時間帯にほかの番組を「ダイレクト」以外の録画モードで録画予約することはできません(すでに映像の変換を伴う予約が2つ入っているため)。

予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画モードをダイレクトに切り換えたり、録画や携帯電話用のデータ作成を取り消してください。

ポイント

予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、シリーズごとにおこないます。

5 【決定】を押す

番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

- ●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。電源コードを抜くと、予約が実行されません。
- ●予約をした後、パソコンの電源を切ったり、パソコンを省電力状態(スリープ状態/休止状態)にしても、予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します(しっかり予約録画)。
- ●予約録画した番組の再生方法については、PART4の「録画した番組を再生する」(p.78)をご覧ください。
- ●予約後、パソコンをナイトモード(p.181)にすると、映像・音声を出さずに録画できます。深夜の番組を予約したときなどにおすすめの機能です。

■ 視聴予約について

録画の予約(p.53)と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。
視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。
予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

- ●「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面で「自動ログオンの設定」を選んで【決定】を押して、自動ログオンユーザーの設定とテストをおこなってください。
- ●「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」を◉にしてください。
- ●「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」-「スクリーンセーバー」で「再開時にログオン画面に戻る」を□にしてください。

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

シリーズ録画する

■ シリーズ録画について

シリーズ録画は、連続ドラマなどのシリーズものの番組を自動的に録画し続ける機能です。
番組表を使って録画予約する「おてがる予約」の操作中に、次回以降の放送も自動的に録画するよう設定できます。
シリーズ録画した番組は、「録画番組一覧」画面でまとめて表示することができます(p.81)。また、光ディスクにまとめて保存したり(p.99)、携帯電話(SDカード)にまとめて転送することもできます(p.137)。

■ シリーズ録画のご注意

シリーズ録画をおこなう場合は、次のことにご注意ください。

- ●番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合や、番組の開始時間が2時間以上異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。
- ●自動的に予約される番組は、同じチャンネルで同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。

■ シリーズ録画する

1 「おてがる予約をする」(p.53)の手順1 ～手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「する(シリーズ)」を選んで【決定】を押す

必要に応じて、録画モードを設定してください。

3 「おてがる予約をする」の手順4(p.54)～手順5をおこなう

ポイント

「予約録画/予約視聴」が「予約録画」になっていることを確認してください。

PART 3
録画・予約する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

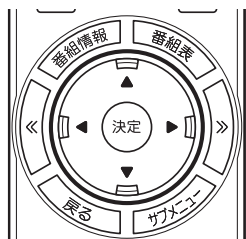
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

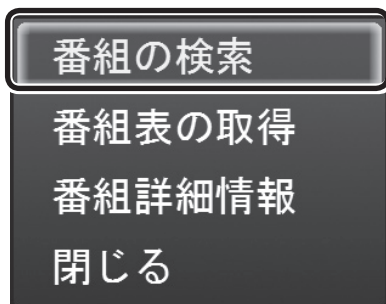
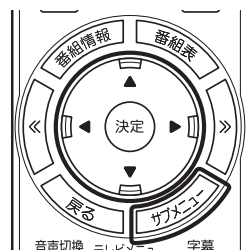
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送(検索する放送)の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。

番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

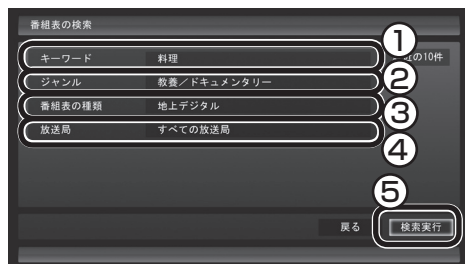
次の①〜④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、もう一度【決定】を押します。

② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。

③ 番組表の種類を選ぶ
「番組表の種類」を選んで【決定】を押し、検索する放送波やマイ番組表を選んで、もう一度【決定】を押します。

④ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。

⑤「検索実行」を選んで【決定】を押す

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.54)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

●キーワードはキーボードを使って入力してください。
●キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

ポイント

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 3 録画・予約する

番組表を使わないで予約する（時間指定）

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

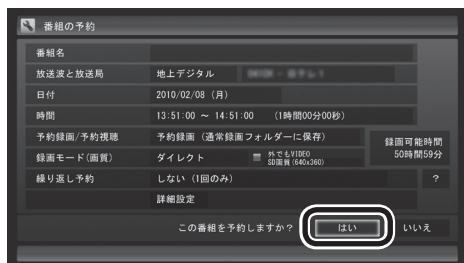
放送波（放送の種類）、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す（HD）や（SD）が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 3
録画・予約する

予約の変更や予約結果の確認をする

すでに予約した内容を変更したり、確認する方法を説明します。

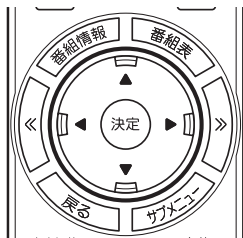
予約の確認や変更

予約をした後で、次の操作ができます。

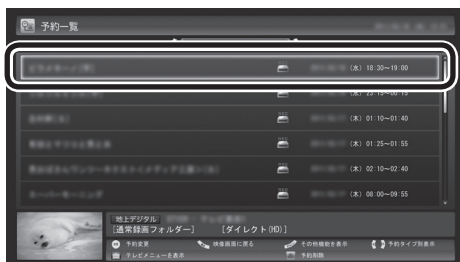
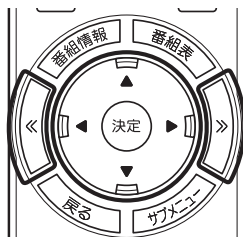
・ 予約の確認
・ 予約の変更
・ 予約の取り消し

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す

予約一覧が表示されます。

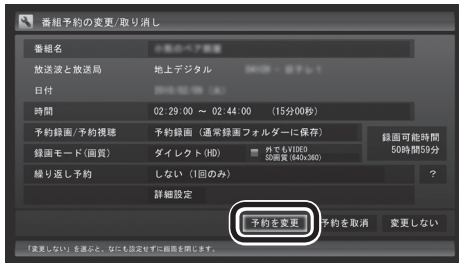
3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

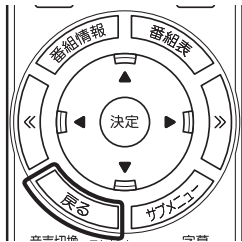
【≪】【≫】を押して、予約の種類を切り換えることができます。

予約の内容が表示されます。

ポイント

表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

- :ハードディスクの容量不足
- :繰り返し予約
- :おまかせ録画
- :ハードディスクに録画
- :予約視聴
- :新番組おまかせ録画

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す

予約一覧に戻ります。

5 【戻る】を押す

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す

「予約結果一覧」が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。

結果一覧に表示された番組を選んで【決定】を押すと、録画に失敗した原因などが表示されます。

ポイント

- 【«】【»】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

:ハードディスクの容量不足

:繰り返し予約

:おまかせ録画

:ハードディスクに録画

:予約視聴

:新番組おまかせ録画

おまかせ録画をする

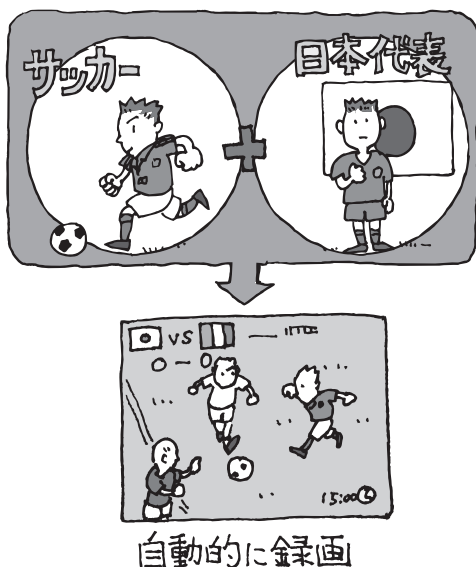
ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

●番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

●おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.114)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録(p.65)することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

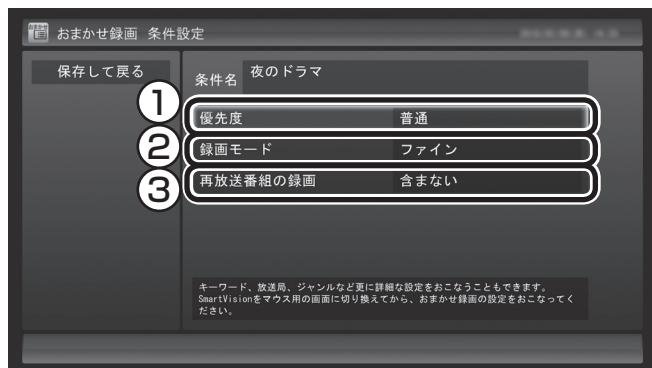
3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す

条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

① 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。

② 録画モード
番組を録画するときの録画モードを選びます。

③ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

6 【緑】を押して「有効」にする

7 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

ポイント

マウスで使うための画面(p.112)で、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。
キーワードなどの入力は、マウスで使うための画面(p.112)でおこないます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (予約&結果一覧)をクリック

4 「予約一覧」タブの (おまかせ)をクリック

「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック

「条件入力」画面が表示されます。

ポイント

リモコンで使う画面に戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

6 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
[>>]をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせ録画で録画されなくなります。
なお、おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前

ポイント

●□のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)。

●「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

●ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組を右クリックし、表示されたメニューで「送る」-「キーワード1」をクリックすると、キーワードのエリアに選んだ番組名を簡単に入力することができます。

チェック

●深夜0:00 ～ 6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。

●同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。

●この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

9 「閉じる」をクリック

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.114)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

PART 3 録画・予約する

新番組おまかせ録画をする

新しく始まったドラマやアニメを自動的に探して録画してくれる「新番組おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画は、番組表の情報から新しく始まったドラマやアニメを探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、2話目以降も自動的に録画されます。
新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

- 同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が無作為に選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。
- 新番組おまかせ録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

チェック

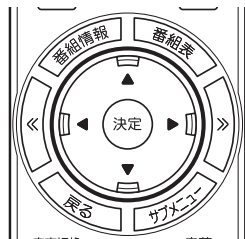
- 対応している番組のジャンルは「ドラマ」と「アニメ」のみです。
- 新番組おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約(p.53)などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダーに保存されます。

新番組おまかせ録画を有効にする

ご購入時は新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

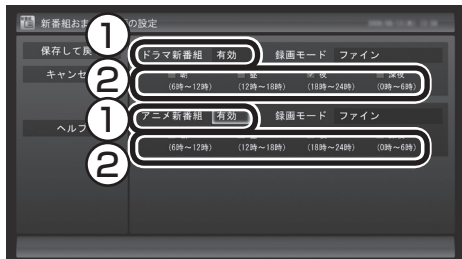
2 「予約」の「新番組おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

新番組おまかせ録画の設定画面が表示されます。

ポイント

- 予約内容は「予約一覧」画面(p.61)で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- 予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。ほかの項目は変更できません。

3 新番組おまかせ録画の条件を設定する

① 録画したいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す

② 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークを付ける

4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、新番組おまかせ録画の機能が有効になりました。

ポイント

- ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すときは、チェックマークの付いた時間帯を選んで【決定】を押してください。
- 必要に応じて「録画モード(画質)」を変更することができます。
- 新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
  - ・「朝 6時～12時」
    6:00から11:59の間に始まる番組
  - ・「昼 12時～18時」
    12:00から17:59の間に始まる番組
  - ・「夜 18時～24時」
    18:00から23:59の間に始まる番組
  - ・「深夜 0時～6時」
    0:00から5:59の間に始まる番組

新番組おまかせ録画を無効にする

新番組おまかせ録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組おまかせ録画を有効にする」(p.69)の手順1～手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

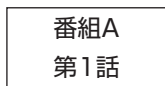
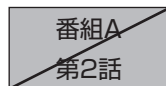
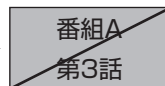
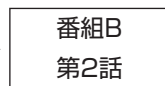
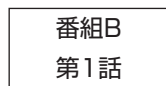
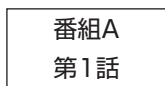
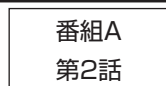
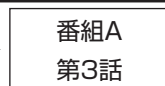
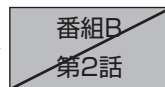
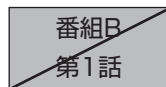
これで、選んだジャンルの新番組おまかせ録画の機能が無効になりました。

新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する

新番組おまかせ録画機能で録画された番組は、第2話目以降も継続して録画されます。ただし、同じ曜日の同じ時刻に別のテレビ局で新たな連続ドラマがスタートすると、そちらを新番組として録画するため、以前から録画していた番組が録画できなくなってしまいます。
気に入った新番組は「シリーズ録画」に変更してください。
シリーズ録画は新番組おまかせ録画より優先度が高いため、新たに放送が重複する新番組が見つかっても、お気に入りの番組が優先して録画されます。

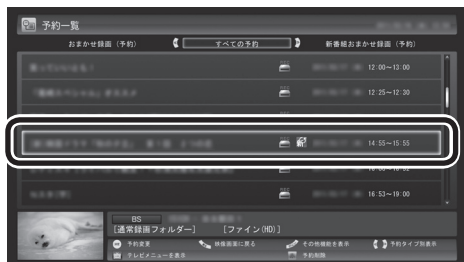
ポイント

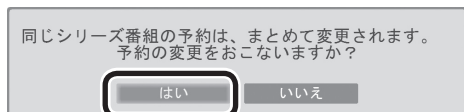
すでに放送が終了した番組を選んだときや、番組表のデータから対象となる番組が見つからないときは、シリーズ録画に変更することができません。

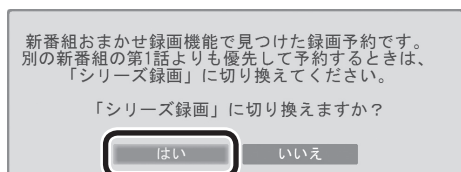
新番組Aの翌週に新番組Bがスタート・・・

番組Aをシリーズ録画に変更しておけば・・・

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

1 「予約の確認や変更」(p.61)の手順1 〜手順2をおこなう

予約一覧が表示されます。

2 シリーズ録画に変更したい番組を選んで【決定】を押す

同じシリーズの番組をまとめて変更するかどうか確認するメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

5 「予約を変更」を選んで【決定】を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止します。

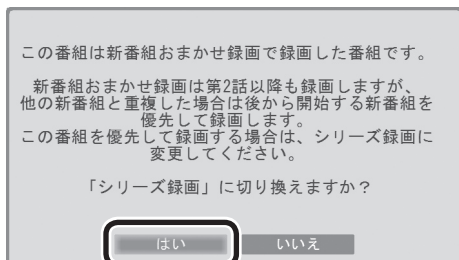
シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで【決定】を押す

この番組は新番組おまかせ録画で録画した番組です。

新番組おまかせ録画は第2話以降も録画しますが、
他の新番組と重複した場合は後から開始する新番組を
優先して録画します。
この番組を優先して録画する場合は、シリーズ録画に
変更してください。

「シリーズ録画」に切り換えますか？

はい　いいえ

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、次回の予約の内容が表示されます。

3 「予約を変更」を選んで【決定】を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

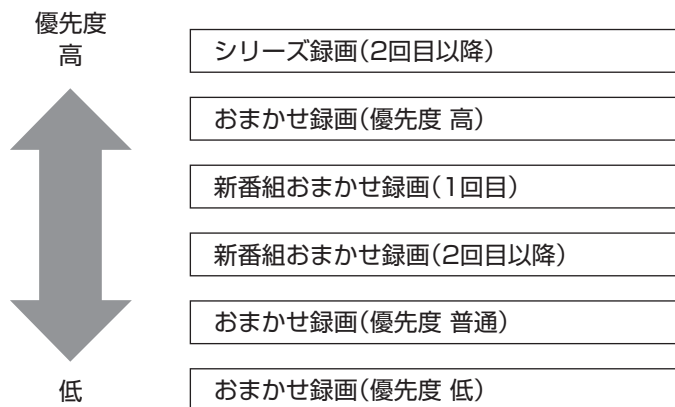
PART 3 録画・予約する

予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組おまかせ録画」および「シリーズ録画」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。

● 「おてがる予約」(p.53)と、自動的に登録される予約が重複した場合は、「おてがる予約」が優先されます。

●「シリーズ録画」、「新番組おまかせ録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。

●「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「シリーズ録画」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

●これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。

●同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は無作為に選ばれます。録画したい番組があらかじめ決まっているときは、「おてがる予約」の「繰り返し予約」を「しない(1回のみ)」で予約してください。

PART 3
録画・予約する

予約についてのご注意

録画予約や視聴予約をするときに、注意していただきたいことについて説明します。

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

●同じ時間帯の番組を3つ以上予約することはできません。

●200件まで予約できます(番組表受信予約、新番組おまかせ録画、シリーズ録画、おまかせ録画を含む)。

●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。

●スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。

●録画は、開始時刻より若干(2 ～ 6秒)遅れて開始される場合があります。

●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

●予約(録画、番組表受信)実行の直前に、パソコンの電源を入れたりスリープ状態から復帰すると、起動後にすぐ画面が暗くなる場合があります。その場合は、マウスなどを操作してください。画面が表示されます。

●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。

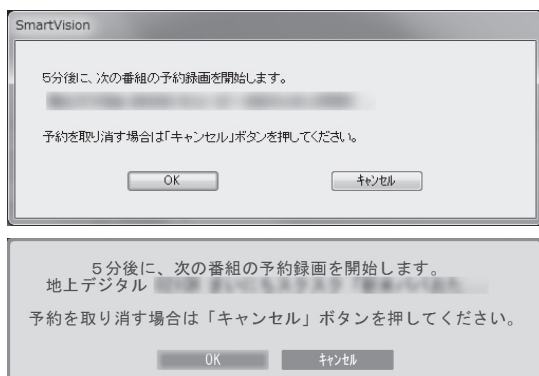
●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

●「繰り返し予約」を「する(時間指定)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

●「時間指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

●録画予約するとき、自動的に録画に必要な空き容量の確認がおこなわれます。予約を入れた後、大量のデータを保存するなどして、ハードディスクの空き容量が不足すると、予約していた録画ができなくなることがあります。インターネットから音声や動画などの容量の大きなファイルをダウンロードしたときなどは、特にご注意ください。

予約の実行について

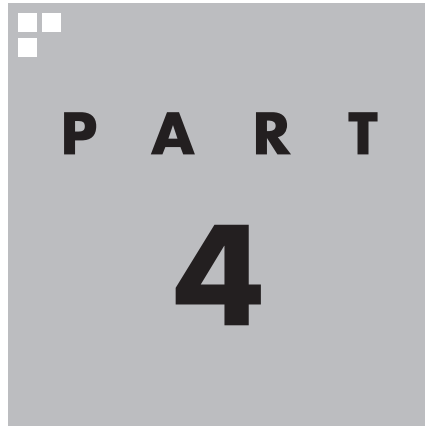
予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

このときログオンユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。予約視聴の場合を除いてSmartVisionは起動せずに予約を実行します。予約の実行が終了すると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「キャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態になります。

ポイント

●SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態にするメッセージは表示されません。自動的にスリープ状態にしたい場合は、SmartVisionを終了させておいてください。

●予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.182)。

再生する

録画した番組を再生しましょう。録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。また、途中まで録画された放送中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4
再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

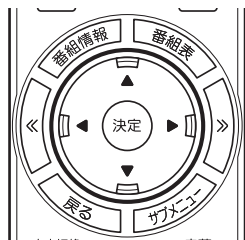
再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。
なお、ご購入時の状態では、シリーズものの番組が1つにまとめて表示されます。まとめられた番組には番組名の右側に「まとめ表示」と表示されます。
「まとめ表示」されていない番組と、「まとめ表示」されている番組(シリーズものの番組)では、再生の手順が異なります。

■「まとめ表示」されていない番組を再生する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

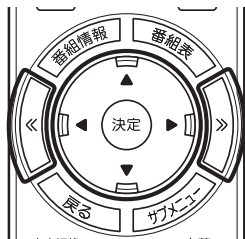
ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合:番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合:「番組名なし」になります
- 番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
  - ・「未」:まだ一度も再生していない番組
  - ・「新」:「新番組おまかせ録画」(p.69)した番組
  - ・「お」:「おまかせ録画」(p.63)した番組
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときや、追加した録画フォルダーの番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダーを選んでください。
- 短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

3 番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【«】【»】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す

「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

●テレビを見る画面に戻る

「録画番組一覧」画面から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

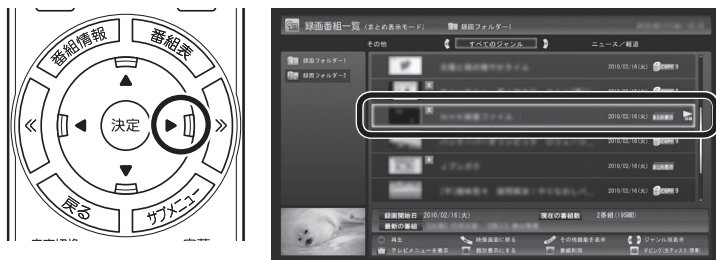
2 視聴したい放送波とチャンネルを選んで【決定】を押す

■「まとめ表示」されている番組を再生する

まとめて表示されているシリーズものの番組は、次の手順で再生してください。

1 「「まとめ表示」されていない番組を再生する」(p.78)の手順1 ～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 「まとめ表示」されている番組を選び、【矢印】の右ボタンを押す

まとめて表示されていたシリーズ番組の一覧が表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す

再生が始まります。

再生中の操作については、「「まとめ表示」されていない番組を再生する」の手順3(p.79)～手順4をご覧ください。

ポイント

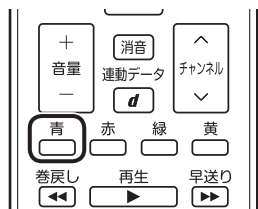
シリーズ番組の一覧を閉じて録画番組一覧に戻るときは、【矢印】の左ボタンを押してください。

ポイント

「まとめ表示」された番組を選んで、シリーズものの番組をまとめて削除することができます。また、まとめて光ディスクに保存したり、携帯電話(SDカード)に転送することもできます。

「まとめ表示」と「個別表示」を切り換える

ご購入時の状態では、シリーズものの番組はまとめて表示されるように設定されています(まとめ表示)。
シリーズものの番組を「まとめ表示」せず、すべての番組を一覧で表示(個別表示)することもできます。

●「まとめ表示」のとき
【青】を押すと、「個別表示」に切り換わり、すべての番組が一覧で表示されます。
●「個別表示」のとき
【青】を押すと、「まとめ表示」に切り換わり、シリーズものの番組がまとめて表示されます。

オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいとこ再生」)

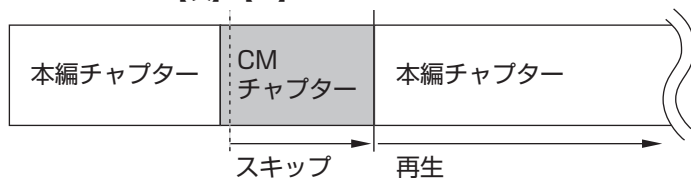
オートチャプターとは、番組を録画するときに、番組の本編と本編以外を検出して自動的にチャプターを作る機能です。この機能で作られたチャプターの情報を活用して、録画番組を再生するときに、視聴したいチャプターだけ連続して再生することができます。
再生などの操作をしたとき、チャプターの情報や再生している位置が画面右下に表示されます。番組の長さを表すバーを区切っている黒い線がチャプターの位置です。
※番組構成によっては、本編と本編以外を正しく検出できない場合や、チャプターが作られない場合があります。

ポイント

●チャプターとは、録画した番組の中に設けられた区切りのことです。
●番組を編集するとき、チャプターの情報を活用することができます。(p.135)

■ チャプタースキップ

リモコンの【前】【次】、または【≪】【≫】で次の操作ができます。

●再生中のチャプターをスキップして本編の続きを再生する
CMが始まったとき、【次】または【≫】を押すと、CMチャプターがスキップされて本編の続きが再生されます。

●再生中のチャプターの先頭に移動する
【前】または【≪】を押します。
●ひとつ前のチャプターの先頭に移動する
【前】または【≪】を2回続けて押します。
●お好みのチャプターの先頭に移動する
ボタンを連続して押すことで、前後お好みのチャプターの先頭に移動できます。

ポイント

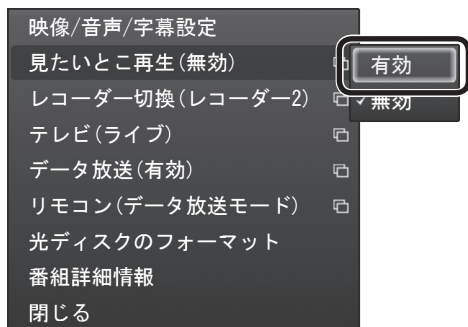
チャプタースキップ操作直後に逆方向のボタンを押すと、スキップ直前の再生位置に戻すことができます。

■「見たいとこ再生」を有効にする

「見たいとこ再生」は、オートチャプター機能で作ったチャプターの情報を使って、録画番組を再生するときに、番組の本編チャプターだけを連続して再生する機能です。
ご購入時の状態では、この機能が無効になっています。「見たいとこ再生」機能を使うときは、次の操作で有効にしてください。

1 テレビの映像が表示されているとき、【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

2 「見たいとこ再生(無効)」-「有効」を選んで【決定】を押す

「見たいとこ再生」が有効になります。一度有効にすれば、ほかの番組を再生するときも、「見たいとこ再生」で再生されます。
無効にするときは、手順2で「無効」を選んで【決定】を押してください。

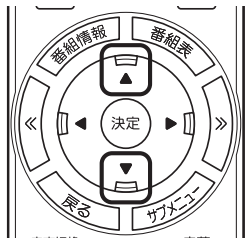
ポイント

●番組の本編と本編の間に、一瞬、本編以外のチャプターが表示されることがあります。

●番組構成によっては、オートチャプター機能で本編と本編以外を正しく検出できないことがあります。このような場合は「見たいとこ再生」で本編以外の部分が再生されたり、本編の一部がスキップされることがあります。

簡易編集機能を使って編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいとこ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。

きこえる変速再生

「きこえる変速再生」を使うと、録画番組を音声つきで、速くまたはゆっくり再生できます。たとえば、「お急ぎモード」でニュース番組を短時間で視聴したり、「じっくりモード」でゆっくり言葉を聞き取りながら、外国語映画を視聴したりする際に便利です。

●お急ぎモード
通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階(1.2倍→1.4倍→1.6倍→1.8倍→2.0倍)で速くなります。再生のスピードを遅くする場合は、【矢印】の下ボタンを押します。

●じっくりモード
通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階(0.9倍→0.7倍→0.5倍)で遅くなります。再生のスピードを速くする場合は、【矢印】の上ボタンを押します。

チェック

●きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。

●早送りや巻き戻し、一時停止などの操作をおこなっても、「きこえる変速再生」機能は解除されません。視聴を再開すると、それぞれの操作をおこなう前のスピードで再生されます。

PART 4 再生する

追っかけ再生する

録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。
早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

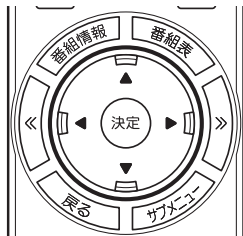
追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

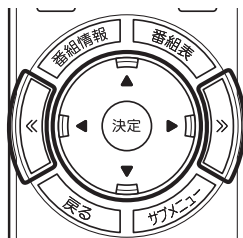
再生する

録画中の番組を再生する(追っかけ再生)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【«】【»】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - 番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - 番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 「おまかせ録画」(p.63)の番組を再生するときは、「おまかせ」の録画フォルダーを選んでください。

タイムシフトモードでの操作(p.25)とは異なり、【停止】を押しても録画は継続します。

PART 4 再生する

おまかせ録画した番組を再生する

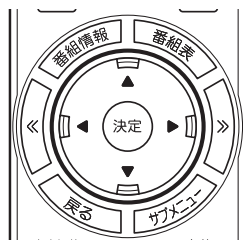
おまかせ録画で録画した番組は、そのほかの録画番組とは保存されるフォルダなどが異なります。
また、録画番組が一定の容量以上になると、ハードディスクの空き容量にかかわらず、古い番組から順番に削除されます。

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは別の、「おまかせ」録画フォルダー 2に保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「おまかせ 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.78)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときのご注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前
これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画で録画した番組は、一定の容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、次の手順でおまかせ属性を解除してください。

ポイント

おまかせ録画した番組が見つからないときは、PART8の「録画フォルダーに録画した番組が見あたらない」(p.168)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

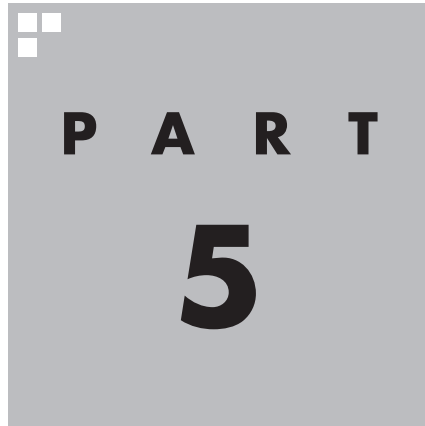
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧 」の「 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

4 「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

お の表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

- 手順5で「すべての番組」を選んで、「おまかせ」録画フォルダー2内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。
- マウスで使う画面で、「おまかせ」録画フォルダー 2から別の録画フォルダーに移動しても、おまかせ属性を解除できます。複数の番組のおまかせ属性をまとめて解除することもできます。詳しくは、PART7の「録画した番組を整理する」(p.122)をご覧ください。

削除する

視聴済みで、もう必要のない番組はこまめに削除して、ハードディスクの容量が不足しないように注意しましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5
削除する

録画した番組を削除する

不要になった録画番組を削除する手順を説明します。

録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画番組は削除しましょう。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

ポイント

録画フォルダーを作って、録画番組を整理することができます。(p.122)

番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

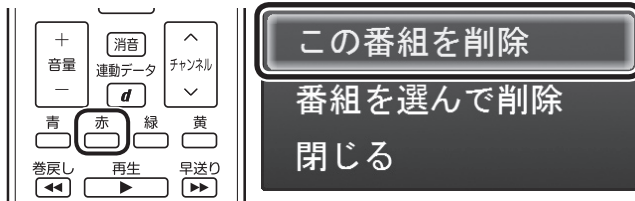
テレビメニューが表示されます。

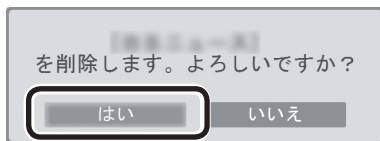
2 「録画番組一覧」で、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【赤】を押す

② 表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

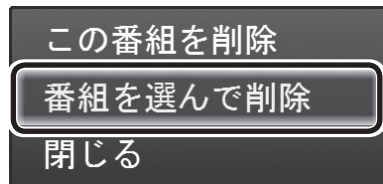
複数の番組をまとめて削除する

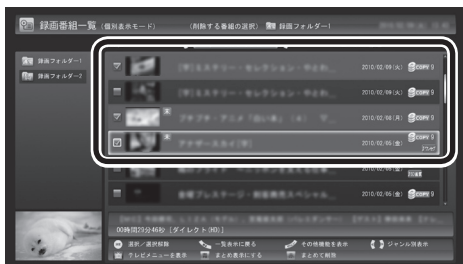
1 「番組をひとつずつ削除する」(p.88)の手順1 ～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 削除したい番組を選ぶ

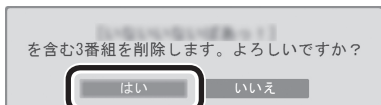
① 番組を選んで【赤】を押す

② 表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

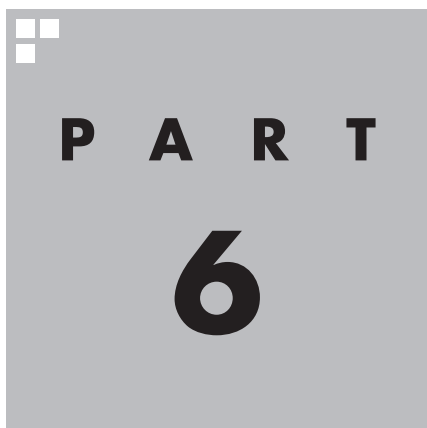
3 削除したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

4 【赤】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

ポイント

「まとめ表示」(p.81)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて削除の対象になります。

録画番組を光ディスク（DVDなど）に保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 6 録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を保存できる光ディスク(DVDなど)について

録画した番組は、画質やコピー制御方式によって、保存できる光ディスクが異なります。

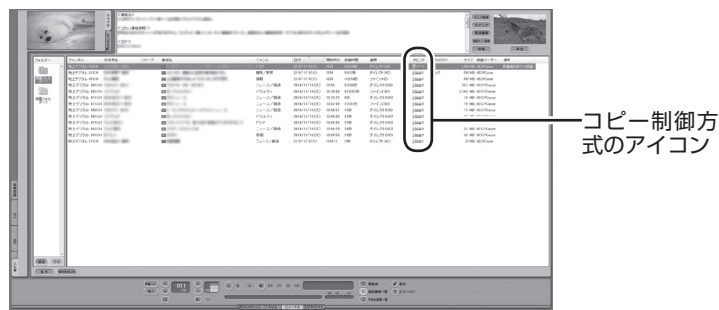
保存できる光ディスク

番組を光ディスクに保存するときの光ディスクの種類、録画モードなどについては、付録の「録画モードについて」(p.189)で詳しく説明しています。このページとあわせてご覧ください。

■ 画質とコピー制御方式の確認

録画番組一覧で、光ディスクに保存する番組の画質と、コピー制御方式のアイコンを確認してください。

●リモコンで操作する画面の場合

●マウスで操作する画面の場合

コピー制御方式のアイコン	保存できる光ディスク	保存形式
COPY 9 ～ COPY 1 MOVE	BD-RE(1層/2層)/BD-RE XL(3層) ※1※4 BD-R(1層/2層)/BD-R XL(3層) ※1※5	BDAV
	CPRM対応のDVD-RAM (片面/両面)	AVCREC※2 DVD-VR※3
	CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	AVCREC※2 DVD-VR※3
FREE	BD-RE(1層/2層)/BD-RE XL(3層) ※1※4 BD-R(1層/2層)/BD-R XL(3層) ※1※5	BDAV
	DVD-RAM	AVCREC※2 DVD-VR※3
	DVD-R(1層/2層)	AVCREC※2 DVD-VR※3

※1: BD-RE、BD-Rに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。
※2: 録画画質がダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。
※3: 自動的に録画モード変換されます。
※4: BD-RE XL(3層)の対応については、次のホームページをご確認ください。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/vg/201104/pdf/bd3/v1/mst/BDXL.html
※5: BD-R XL(3層)に保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。

光ディスクのフォーマットとファイナライズについて

SmartVisionの光ディスクのフォーマットとファイナライズ動作については、次のとおりとなります。

●DVD-R
録画番組を書き込む前に自動的にフォーマットをおこないます。フォーマットされていないDVD-Rをご用意ください。
また、録画番組書き込み後に自動的にファイナライズします。SmartVisionの番組を保存したDVD-Rには、追記をすることはできません。

●DVD-RAM、BD-R、BD-RE
自動的にフォーマットしません。フォーマットされていない場合、録画番組を保存する前にあらかじめフォーマットする必要があります。SmartVisionで番組を保存した光ディスクに追記することができます。

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BDAV	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。
DVD-VR	アナログ放送用のDVDプレーヤなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。

チェック

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できる光ディスクについて
→「使用できるディスク」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93070020 で検索

AVCRECとDVD-VRについて

このパソコンでCPRM対応のDVDに録画番組を保存するには、AVCRECとDVD-VRの2つの方法があります。

●AVCREC
デジタル放送をハイビジョン画質のまま保存する方法です。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
DVD-VRよりも高画質で保存できます。

●DVD-VR
デジタル放送をアナログ放送相当の画質に変換して保存する方法です。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
AVCRECよりも画質が落ちます。また対応するパソコンやプレーヤの種類がAVCRECよりも多くあります。

PART 6 録画番組を光ディスク（DVDなど）に保存する

番組を光ディスクに保存するための準備

デジタル放送番組を、光ディスクに保存するために必要なCPRMのアップデートと光ディスクのフォーマットについて説明します。

CPRMのアップデートをする

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。
デジタル放送画質の番組は、録画モード変換(p.115)して、CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存できます。保存した番組は、対応したパソコンやプレーヤで再生できます。

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する前に、ソフトのアップデートが必要です。アップデートは、「SmartVision CPRMアップデータ」でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「CPRMアップデータ」-「SmartVision CPRMアップデータ」をクリック

アップデート方法を説明する画面が表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

チェック

デジタル放送画質の番組を、そのままDVD-RAMやDVD-Rに保存することはできません。保存時に、自動的に録画モード変換されます。あらかじめ手動で録画モード変換しておくこともできます。

ポイント

- CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。
- CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

光ディスクをフォーマットする

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、フォーマットをする必要があります(p.93)。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

光ディスクのフォーマット方法は次の2つです。

・ SmartVisionで光ディスクをフォーマットする(p.96)
・ Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする(p.97)

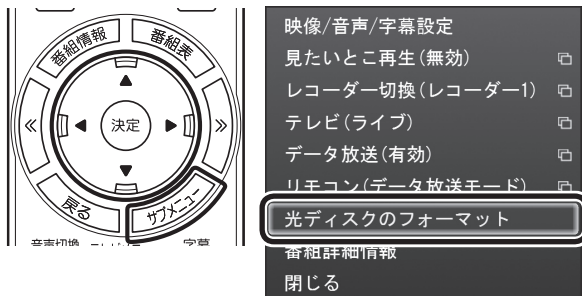
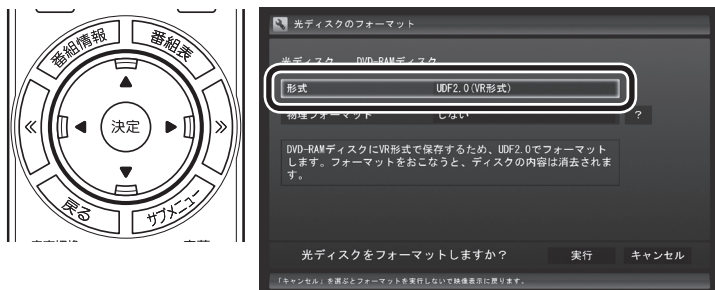
いずれかの機能を使って、光ディスクをフォーマットしてください。

チェック

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ SmartVisionで光ディスクをフォーマットする

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 テレビを表示した状態で【サブメニュー】を押し、「光ディスクのフォーマット」を選んで【決定】を押す

3 「形式」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューからフォーマット形式を選んで【決定】を押す

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.5
BD-R	BDAV	UDF2.6
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0(VR形式)
	AVCREC	UDF2.5(AVCREC形式)

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.94)をご覧ください。

4 「実行」を選んで【決定】を押す

フォーマットが始まります。

「フォーマットが完了しました。」と表示されたら、【決定】を押してください。

チェック

光ディスクのフォーマットをWindowsの機能でおこなうモデルの場合、「光ディスクのフォーマット」は表示されません。この場合は、「Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする」(p.97)をご覧ください。

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

チェック

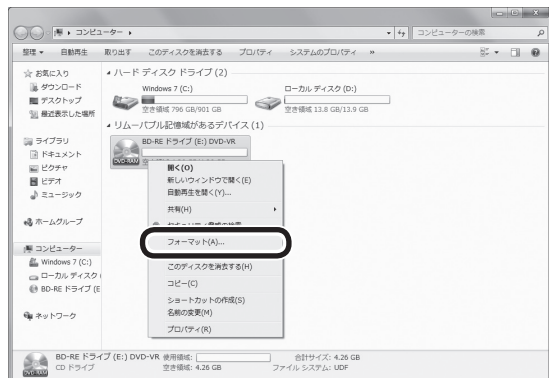
「物理フォーマット」で「する」を選ぶと、フォーマットに1時間〜1時間30分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

■ Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする

この操作はマウスでおこないます。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 「スタート」-「コンピューター」をクリック

3 DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

「フォーマット」画面が表示されます。

4 「ファイル システム」の右の ▼ をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.50
BD-R	BDAV	UDF2.60
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.00または UDF2.01
	AVCREC	UDF2.50

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.94)をご覧ください。

5 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

PART 6

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存する

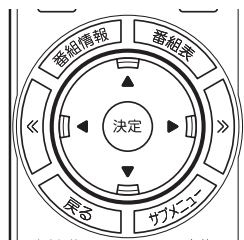
デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

※ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー1」を選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

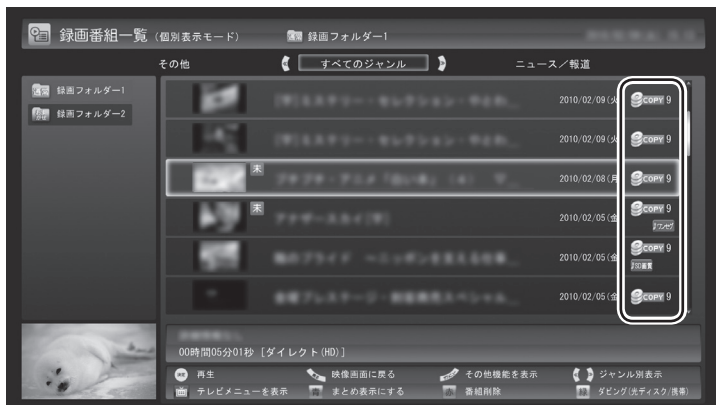
チェック

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、CyberLink PowerDVD、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、CyberLink PowerDVD 3Dが起動した場合は、表示されたウィンドウを閉じてください。

ポイント

- moveが表示された番組を光ディスクに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。
- オートチャプター機能(p.81)や簡易編集(p.133)で作られたチャプターの情報も、録画番組と一緒に光ディスクに保存されます。

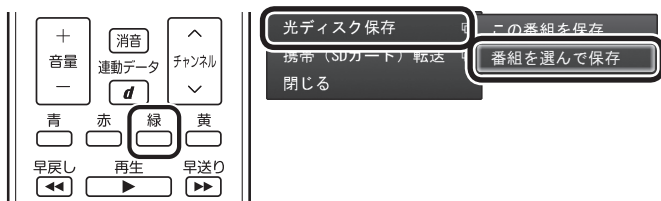
日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

～

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、光ディスクにコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに光ディスクに9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は光ディスクにムーブ（移動）することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも光ディスクにコピーできます。

- ●ムーブ（移動）すると、もとの番組は削除されます。
- ●番組を携帯電話（SDカード）に転送したときも、コピーできる残り回数が減ります。

4 保存する番組を選んで【緑】を押し、「光ディスク保存」-「番組を選んで保存」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

まとめて表示されたシリーズ番組を選択した場合、含まれているシリーズ番組すべてが選択されます。

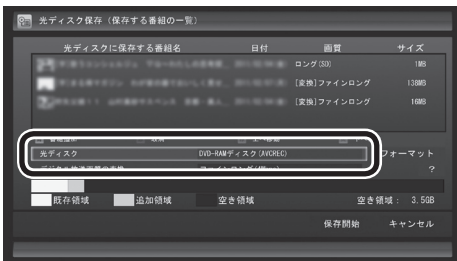
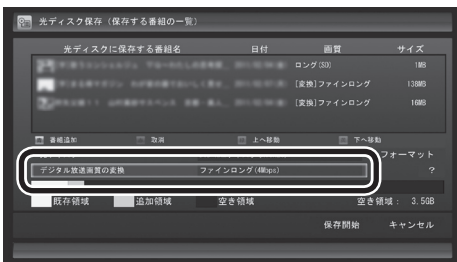
5 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

保存する番組の一覧が表示されます。

7 「光ディスク」にセットした光ディスクが表示されていることを確認する

DVD-RやDVD-RAMをセットしたときは、書き込み形式(AVCRECまたはVRモード)を選択できます。
「光ディスク」を選んで【決定】を押し、書き込み形式を選んでください。

8 「デジタル放送画質の変換」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから、光ディスクに保存する画質を選んで【決定】を押す

ポイント

「まとめ表示」(p.81)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて保存の対象になります。

チェック

- 選択したフォーマットで使用できない光ディスクがセットされている場合は、メッセージが表示されます。その場合は、光ディスクを交換するか、「フォーマット」を選んで、光ディスクをフォーマットしてください。
- BD-Rをセットしたときは、「既存領域(すでに書き込み済みの領域)」が表示されません。

ポイント

- DVD-RAMディスクまたはDVD-RディスクにVRモードで保存するときは、画質(録画モード)が自動的に変換されます。変換する画質を選ぶこともできます。
- VALUESTAR Nでは、セミファインロングで録画した番組をブルーレイディスクに保存するときやAVCREC形式でDVDに保存するとき、自動的にロングに変換されます。そのため、録画時よりも画質が低下します。

映像フォーマット「480p」または「720p」の番組は、VRモードで保存できません。

光ディスクに保存する画質を変換するとき
番組の録画や携帯電話用のデータ作成などで映像の変換がおこなわれていると、光ディスクに保存するときの画質の変換(録画モード変換)が制限されることがあります。
機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画などのほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、携帯電話用のデータ作成の予約などを取り消してください。

次の画質が選べます。

「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間(1層※6／2層／BD-R XL(3層))※1
BD-RE(ブルーレイ)ディスク BD-R(ブルーレイ)ディスク	変換しない	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD) 約3時間／約6時間／約12時間
		地上デジタル標準テレビ(SD) 約6時間30分／約13時間／約26時間
		BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD) 約2時間10分／約4時間20分／約8時間30分
		BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD) 約4時間40分／約9時間30分／約19時間
	ファイン (約8Mbps)	約6時間30分／約13時間／約26時間
	ファインロング (約4Mbps)	約13時間／約27時間／約54時間
	セミファインロング※5 (約2Mbps)	約27時間／約55時間／約111時間
	ロング (約2Mbps)	約27時間／約55時間／約111時間
	スーパーロング (約1.2Mbps)	約41時間／約84時間／約168時間
	1ディスクダビング (＊Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-RAMディスク (AVCREC)	ファイン (約8Mbps)	約1時間10分
	ファインロング (約4Mbps)	約2時間30分
	セミファインロング※5 (約2Mbps)	約5時間
	ロング (約2Mbps)	約5時間
	スーパーロング (約1.2Mbps)	約7時間30分
	1ディスクダビング (＊Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2

(次ページに続く)

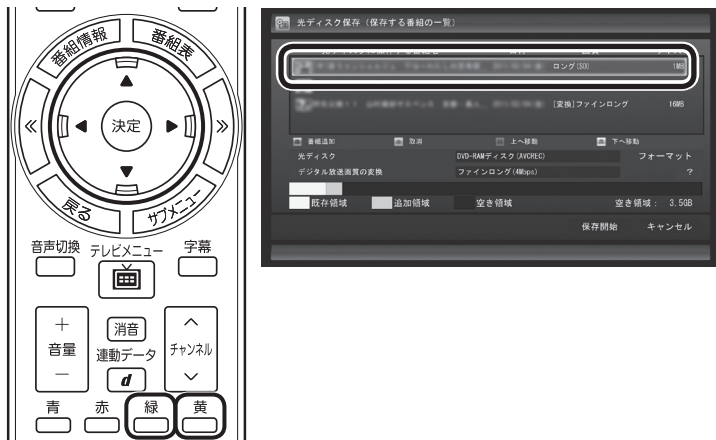
「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間(1層※6/2層)
DVD-Rディスク (AVCREC)	ファイン (約8Mbps)	約1時間10分/約2時間10分
	ファインロング (約4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	セミファインロング※5 (約2Mbps)	約5時間/約9時間30分
	ロング (約2Mbps)	約5時間/約9時間30分
	スーパーロング (約1.2Mbps)	約7時間30分/約14時間30分
	1ディスクダビング (＊Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-RAMディスク (VRモード)	高画質 (約7.5Mbps)	約1時間10分
	標準画質 (約4Mbps)	約2時間20分
	長時間 (約2Mbps)※3	約5時間
	1ディスクダビング (＊Mbps)※4	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-Rディスク (VRモード)	高画質 (約7.5Mbps)	約1時間20分/約2時間20分
	標準画質 (約4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	長時間 (約2Mbps)※3	約5時間/約9時間
	1ディスクダビング (＊Mbps)※4	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2

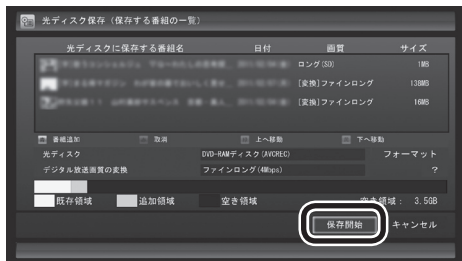
※1：BD-R XL(3層)に保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみ。
BD-RE XL(3層)の対応については、次のホームページをご確認ください。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/vg/201104/pdf/bd3/v1/mst/BDXL.html
※2：必要に応じて番組の解像度をHDからSDに変換して保存します。また、選択した番組の総録画時間が長すぎるときは、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。
※3：番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。
※4：ディスク1枚(片面/1層)あたり3時間以上保存すると、番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。
※5：VALUESTAR Wのみ。(VALUESTAR Nでは、セミファインロングで録画した番組は、自動的にロングに変換されます)
※6：DVD-RAMディスクは1層のみ。

9 光ディスクに書き込む順序を指定する

「保存する番組の一覧」の上から順に光ディスクに書き込まれます。必要に応じて書き込む順序を指定してください。

① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ

② リモコンの【緑】(上へ移動)または【黄】(下へ移動)を押す

③【決定】を押す

10 「保存開始」を選んで【決定】を押す

光ディスクへの書き込みが始まります。

11 書き込みが完了すると「光ディスクへの保存が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

ポイント

特に指定しない場合は、手順5の画面でチェックマークを付けた順番に光ディスクに書き込まれます。

チェック

- 保存する番組を削除するときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 保存する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。

チェック

下段に光ディスクの空き領域(容量)が表示されます。空き領域が不足しているときは、「保存開始」が表示されません。

ポイント

- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
- コピーできる残り回数(ムーブ含む)を超えて番組を選んだときは、「書き込むことができません」というメッセージが表示されます。必要に応じて番組を選びなおしてください。同じ番組から録画モード変換した番組や編集した番組を複数選んだときは特にご注意ください。
  詳しくは、「光ディスクに保存するときのご注意」(p.105)をご覧ください。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に書き込みの進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。

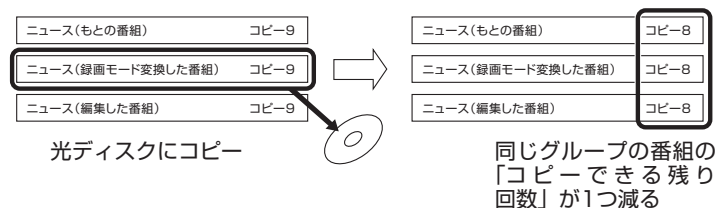
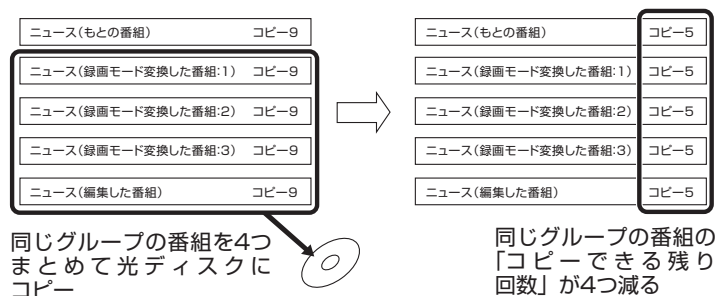
光ディスクに保存するときのご注意

●書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
●書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
●書き込み中にスリープ状態にした場合は、書き込みが終了するまでスリープ状態になりません。
●光ディスクに保存した番組を再生するとき、番組名の一部が正しく表示されないことがあります。
●このパソコンは次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。光ディスクに番組を保存するとき、AACSのモジュール(AACSキー)の更新を促すメッセージが表示されることがあります。「モジュールの更新が必要です」と表示されたときは、パソコンがインターネットに接続されていることを確認し、「はい」をクリックしてください。
●録画番組に含まれるチャプターの情報も光ディスクに保存されます。保存できるチャプターの最大数は次のとおりです。
・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合
1番組あたり:98チャプター
光ディスク1枚あたり:800チャプター
・DVD(DVD-VR形式)の場合
1番組あたり:無制限
光ディスク1枚あたり:999チャプター
これを超えるチャプターの情報は、光ディスクには保存されません。
●保存されたチャプターの合計が1000を超えているブルーレイディスクやAVCREC形式のDVD-RAMには、ディスクの容量に空きがあっても、録画番組を追加して保存することができません。
●光ディスク1枚に保存できる番組の最大数は次のとおりです。
・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合:200番組
・DVD(DVD-VR形式)の場合:99番組
ディスクの容量に空きがあっても、これを超える数の番組は保存できません。

ポイント

このパソコン以外の機器で作成された光ディスクには、1000を超えるチャプターが保存されていることがあります。

光ディスクに保存するときの番組グループについて

ダビング10やコピーワンスの番組を録画モード変換した番組や編集した番組は、もとの番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、録画モード変換した番組や編集した番組を光ディスクにコピーすると、もとの番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

ポイント

このパソコンでは、録画モード変換された番組を光ディスクにコピーしたときも、コピーできる残り回数が減ります。

VRモードで保存した番組を再生する

VRモードで保存した番組は、CyberLink PowerDVD、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dで再生します。必要に応じてCPRMのアップデートをする必要があります。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 DVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

チェック

- SmartVisionが起動しているときは、CyberLink PowerDVD、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dが起動しないことがあります。
  SmartVisionを終了してから起動してください。
- VRモードで保存したDVDをはじめて再生するときは、あらかじめインターネットに接続しておいてください。インターネットに接続した状態で再生をおこなうと、自動的にCPRMのアップデートがおこなわれます。
- 作ったDVD-RAM/DVD-Rは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

AVCREC形式で保存した番組を再生する

AVCREC形式で保存した番組は、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 AVCREC形式で保存したDVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

■ AVCREC形式で保存した番組を再生するときの注意

- 画面の配色がWindows 7 ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。番組の再生を停止したりソフトを終了するともとに戻ります。

チェック

SmartVisionが起動しているときは、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

BD-R/BD-REに保存した番組を再生する

BD-R/BD-REに保存した番組は、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 BD-R/BD-REをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

■ ブルーレイディスクを再生するときの注意

- ●ブルーレイディスクの再生には、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dを使用してください。
- ●ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows 7 ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。番組の再生を停止したりソフトを終了するともとに戻ります。
- ●その他の注意事項など、「CyberLink PowerDVD BD」について詳しくは、「CyberLink PowerDVD BD」(「ソフト＆サポートナビゲーター」検索番号 94162302 で検索)をご覧ください。
- ●その他の注意事項など、「CyberLink PowerDVD 3D」について詳しくは、「CyberLink PowerDVD 3D」(「ソフト＆サポートナビゲーター」検索番号 94162304 で検索)をご覧ください。

チェック

SmartVisionが起動しているときは、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

光ディスクに保存した番組の字幕を表示する

字幕の含まれる放送をBD-RE、BD-Rに保存、またはDVD-RやDVD-RAMにAVCREC形式で保存した場合は、再生するときに字幕の表示/非表示を選ぶことができます。

1 光ディスクに保存した番組を再生する

2 ウィンドウ上で右クリックし、「字幕(主)」をクリック

3 表示された字幕一覧をクリック

字幕が表示されます。

チェック

- ●字幕が表示できるのは、放送時に字幕が含まれていた番組だけです。
- ●DVD-RやDVD-RAMにVRモードで保存された番組では、字幕を表示できません。
- ●リモコンの【字幕】を押して、字幕の表示/非表示を切り換えることもできます。
- ●字幕が含まれていない番組の場合、項目を選ぶことはできません。
- ●字幕表示をやめる場合は、手順3で「オフ」を選んでください。

AACSキー(再生用)を更新する

●このパソコンのブルーレイディスクおよびAVCREC再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクおよびAVCREC形式で保存されたDVD-RやDVD-RAMを再生するには、AACSキーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
●AACSキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、サイバーリンク株式会社の判断で予告なく終了することがあります。

光ディスク(AACSキーの含まれたコンテンツ)を再生したときに、「このコンテンツの再生を続行するには、CyberLink PowerDVDを更新する必要があります。」と表示されたときは、AACSキーの更新が必要です。AACSキーの更新手順は次のとおりです。

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

1 AACSキーの含まれたコンテンツを再生したときに、「このコンテンツの再生を続行するには、CyberLink PowerDVDを更新する必要があります。」という画面が表示されたら、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、サイバーリンクのアップデートページが表示されます。

2 「無料パッチをすぐにダウンロード」をクリック

ファイルをダウンロードする画面が表示されます。

3 「保存」をクリック

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 ファイルの保存先を指定し、「保存」をクリック

ファイルのダウンロード(保存)が始まります。ダウンロードが完了したら、いったんCyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dを終了させてください。

5 ダウンロードしたファイルをダブルクリック

インストール画面が表示されます。

6 「次へ」をクリック

使用許諾契約画面が表示されます。

7 「はい」をクリック

インストールが始まります。

8 インストールが終了したことを示す画面が表示されたら、「完了」をクリック

これで、AACSキーが更新されます。

一歩すすんだテレビ操作

SmartVisionには、録画番組を携帯電話で楽しめる「外でもVIDEO」など、テレビをより楽しむための機能があります。また、マウスで使うための画面に切り換えると、簡易編集やウェブ検索などの機能が使えるようになります。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

マウスで使うための画面

マウスで使うための画面では、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

リモコンで使う画面からマウスで使う画面に切り換える

今までの操作はおもにリモコンでおこなっていましたが、マウスで使う画面に切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。
リモコンで使う画面(フルスクリーンモード)に切り換えるには、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

リモコンで使う画面

「ノーマル」ボタンをクリック

マウスで使う画面

「フルスクリーン」タブをクリック

「ノーマル」ボタンの両隣にある「スリム」ボタンや「アドバンスト」ボタンをクリックして、用途の異なるマウスで使う画面を表示させることもできます。
マウスで使う画面のモードについては、このPARTの「マウスで使う画面のモードを切り換える」(p.114)をご覧ください。それぞれの画面の詳しい説明については、付録の「各モードの画面説明」(p.192)をご覧ください。

マウスで使う画面を直接起動する

■ スタートメニューから起動する

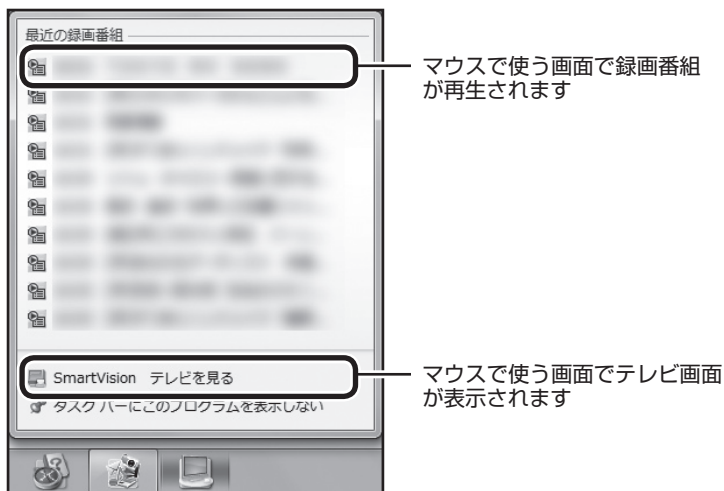
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリック

マウスで使う画面が起動します。

■ タスクバーから起動する

画面下のタスクバーからは、SmartVisionの起動や、最近の録画番組の再生ができます。

1 タスクバーのSmartVisionアイコンを右クリック

2 表示されたメニューを目的に合わせてクリック

「最近の録画番組」の表示について

- 「おまかせ録画」または「新番組おまかせ録画」で録画された番組名の前には、「(おまかせ)」と表示されます。
- 録画中の番組には赤い●アイコンが表示されます。

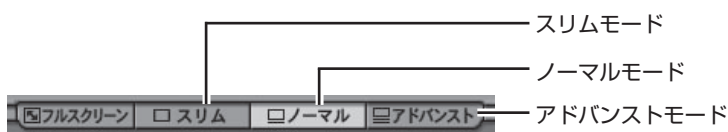
参照

タスクバーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは →PART8の「タスクバーのSmartVisionアイコンが表示されない」(p.176)

チェック

「最近の録画番組」に表示された番組を、「いつも表示する」に設定すると、その番組が削除されてもリストに表示が残ったり、録画が終了しても録画中を示す赤い●アイコンが表示されたままになります。

マウスで使う画面のモードを切り換える

マウスで使う画面には、スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。インターネットを利用しながらテレビを視聴するとき便利です。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

それぞれのモードの画面説明は、付録の「各モードの画面説明」(p.192)をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウスで使う画面に切り換えたときの操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面が表示されます。

3 ?（オンラインヘルプ）をクリック

オンラインヘルプが起動します。

ポイント

●ノーマルモード、アドバンストモードのときに画面のサイズを小さくすると、スリムモードに切り換わります。

●画面右上の ▣ をクリックすると、マウスで使う画面のまま最大化できます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

録画した番組のデータ量を減らす（録画モード変換）

録画モード変換をして、番組データの容量を減らすことができます。

録画モード変換について

録画した番組はとてもデータ量が多いため、ハードディスクに大きな空き容量が必要です。
録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ハードディスクの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

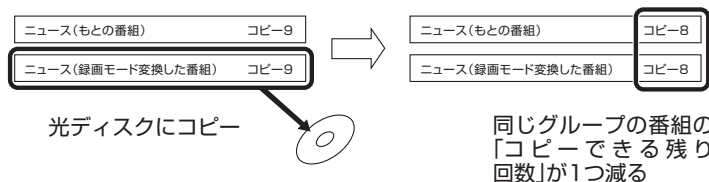
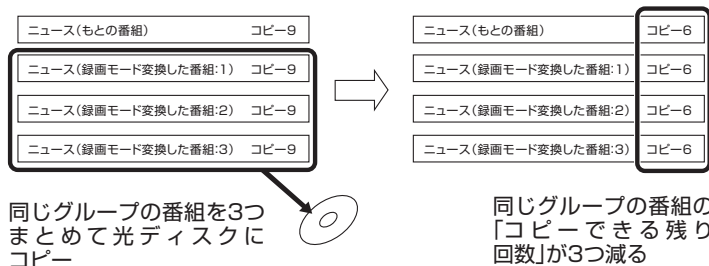
- ●録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間の半分から同じ程度の時間がかかります。
- ●録画モード変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- ●録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
- ●番組の録画や携帯電話用のデータ作成などで映像の変換がおこなわれていると、録画モード変換の動作が制限されることがあります。録画モード変換と同時に実行できる機能について詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」の表(p.45)をご覧ください。

ポイント

録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、画面右下のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルをあわせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換したダビング10の番組について

録画モード変換すると、録画番組一覧にもとの番組と録画モード変換した番組が並んで表示されます。

もとの番組と録画モード変換した番組は1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

もとの番組を残す設定にしておけば、1つの番組を何度でも録画モード変換することができます(異なる録画モードで変換しなおす場合など)。
なお、同じ番組から録画モード変換した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

- 「録画モード変換」したダビング10の番組にも、光ディスクにコピーできる残り回数が表示されます。
- 番組を光ディスクに保存するとき、自動的に録画モード変換された番組のデータは、録画番組一覧には表示されません(コピーまたはムーブが終了した後、自動的に削除されます)。

チェック

「録画モード変換」したコピーワンスの番組を光ディスクにムーブすると、もとの番組も同時に削除されます。

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると録画モード変換ができません。

録画モード変換をする

■ 録画済み番組を録画モード変換する

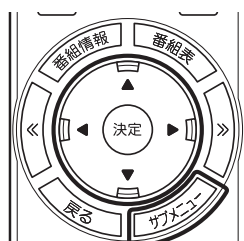
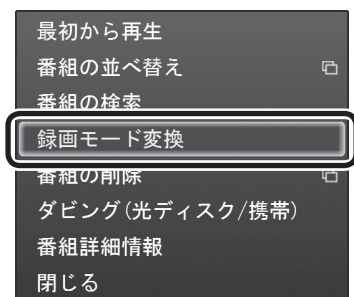
録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

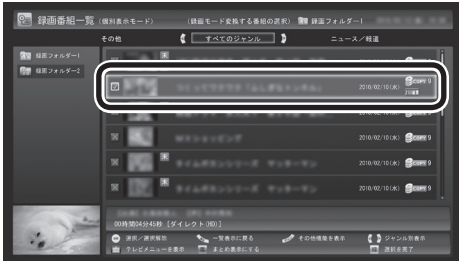
テレビメニューが表示されます。

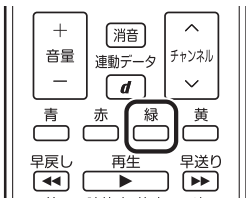
2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

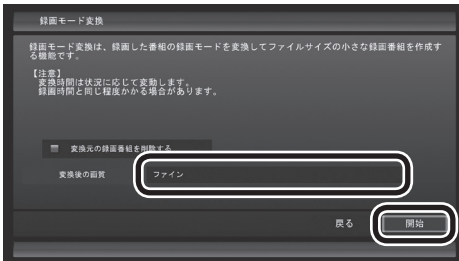
録画番組一覧が表示されます。

3 録画モード変換したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 「録画モード変換」を選んで【決定】を押す

チェック

録画モード変換の予測時間の間に、「ダイレクト」以外の録画や携帯電話用データの作成など、映像の変換を含む予約が2つ入っているときは、機能の重複を示す画面が表示されます。
画面の指示にしたがって、録画などのほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、携帯電話用のデータ作成の予約などを取り消してください。

5 ほかにも録画モード変換したい番組がある場合は、番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

「録画モード変換」画面が表示されます。

7 「変換後の画質」で録画モード(画質)を選び、「開始」を選んで【決定】を押す

録画モード変換が始まります。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、録画モード変換が完了しました。

ポイント

- 変換中に【サブメニュー】を押して「録画モード変換の中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に変換の進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。
- 録画モード変換するとき、同時にもとの番組を削除することができます。もとの番組を削除したいときは、手順7で「変換元の録画番組を削除する」を選んで【決定】を押し、チェックマークを付けてください。録画番組のデータは容量が大きいため、必要に応じてもとの番組を削除することをおすすめします。

チェック

- 「変換後の画質」で、録画された番組の録画モード(画質)と同じ画質や、より高い画質を選んで変換することはできません(録画モードについて詳しくは「録画モードについて」(p.42)をご覧ください)。
  なお、VALUESTAR Nでは、録画された番組の録画モード(画質)が「ファイン」または「ファインロング」の場合、「変換後の画質」で「セミファインロング」を選ぶことはできません。
- 複数の録画番組を選んだときは、「変換後の画質」を個別に設定することができません。また、この場合、「変換後の画質」で選んだ録画モード(画質)が、もとになる録画データと同じだったり、より高い画質となる番組は変換されません。
- 録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を継続します。
  SmartVision以外に動作中のソフトがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。
- 録画モード変換中に映像表示をした場合、見ている番組によっては、映像がコマ落ちしたり微動して見えることがあります。

PART 7 一歩すすんだテレビ操作

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVision に増設したハードディスクドライブを登録してください。

外付けハードディスクをSmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。
また、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)の空き容量を増やしたいときに便利です。

チェック
Cドライブを再セットアップすると、Cドライブに保存されたデータは録画番組も含めてすべて消去されます。再セットアップをおこなうときは、あらかじめCドライブの録画番組を外付けハードディスクに移動しておいてください。

登録できるハードディスクについて

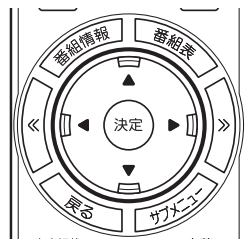
USB2.0およびUSB3.0接続の外付けハードディスクドライブ(NTFSフォーマット)が利用できます。サポート対象機種について詳しくは、NECサポートサイト(http://121ware.com/)をご覧ください。

チェック
パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

ハードディスクを登録する

1 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

2 「次へ」を選んで【決定】を押す

録画フォルダー作成画面が表示されます。

参照
マウスで使う画面が表示されているときの操作について
→マウスで使う画面:オンラインヘルプ(p.114)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「増設したハードディスクを登録して、録画をしよう」

参照
USB機器の接続について
→「USBコネクタ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015010 で検索

ポイント
ここで「キャンセル」を選択すると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。
この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダーを作成する手順(p.122)で、増設したハードディスクを登録することができます。

3 録画フォルダーを作成する

① ハードディスクのドライブ(ボリューム)を確認する

② 録画番組を保存する録画フォルダーのフォルダ名を確認する

③「次へ」を選んで【決定】を押す

登録完了画面が表示されます。

ここで作成したフォルダ名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要になります。フォルダ名を控えておいてください。

フォルダ名:

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

チェック

●ここで作成した録画フォルダーは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。

●フォルダ名は、キーボードで変更することができます。

●ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用に選択することができます。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスク(p.119)に、番組を直接録画するよう設定します。なお、ここで説明している操作が完了すると、録画した番組は、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)ではなく登録したハードディスクに保存されるようになります。
必要な場合のみ、この操作をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

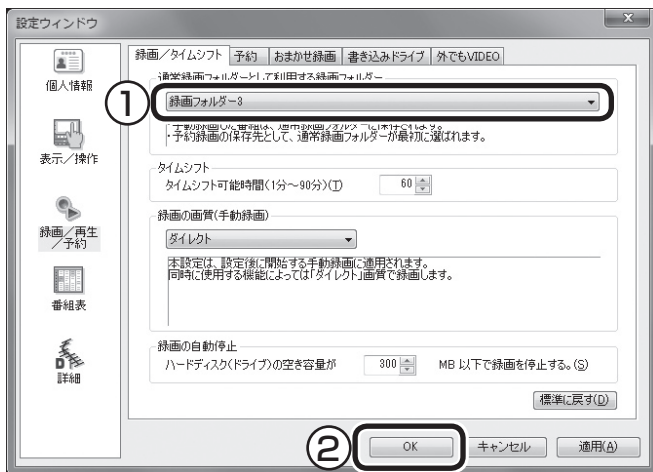
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 （設定）をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

4 録画番組の保存先を選ぶ

① 「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」の ▼ をクリックし、番組を保存する録画フォルダーをクリックする

② 「OK」をクリックする

これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

チェック

- 一度録画番組保存先に設定したハードディスクを取り外した場合、それ以降に予約録画された番組は、ご購入時に録画番組の保存先に設定されていたハードディスクに保存されます。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の１回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。
- パソコンを再セットアップした場合は、テレビ初期設定を終了した後に、テレビの映像が表示されている状態で、登録済みの外付けハードディスクをパソコンに接続して、再登録をしてください。この操作をおこなわずに、録画番組の削除をすると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなる場合があります。

PART 7 一歩すすんだテレビ操作

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダーを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

録画フォルダーを作成する

Cドライブや Dドライブ、登録済みのハードディスク内に、録画フォルダーを作成します。録画フォルダーは最大200個まで作成できます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面（ノーマルモード）が表示されます。

3 （録画番組一覧）をクリック

録画番組一覧が表示されます。

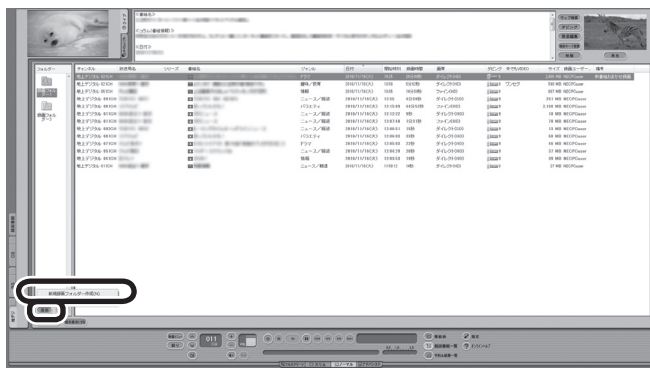
ポイント

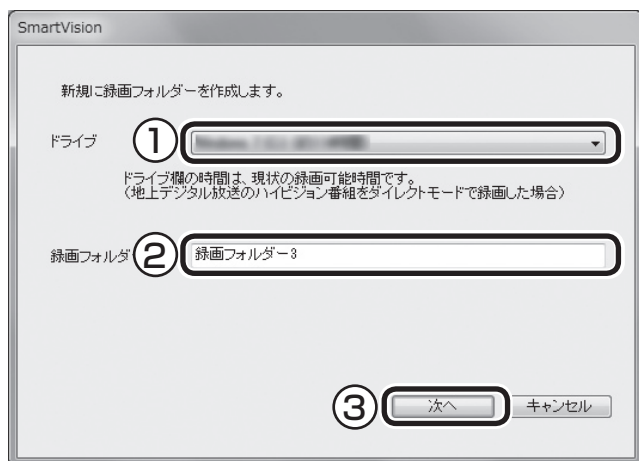
SSDを搭載したモデルでは、Cドライブ（SSD）以外のドライブに録画フォルダを作成されることをおすすめします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 追加(追加)をクリックして表示されるメニューから、「新規録画フォルダー作成」を選ぶ

新規録画フォルダー作成画面が表示されます。

5 録画フォルダーを作成する

①録画フォルダーを作成したいハードディスクを選ぶ
　外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
②必要に応じてフォルダ名を変更する
　変更するときは、ここをマウスでクリックして、フォルダ名を入力しなおしてください。
③「次へ」をクリックする

作成完了画面が表示されます。

6 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダーが作成されました。作成した録画フォルダーは、予約するとき選択できるようになります。

ポイント

●エクスプローラーで作成した既存のフォルダを追加することもできます。
　追加(追加)をクリックして「既存フォルダー参照」を選び、フォルダを追加してください。

●録画フォルダーを右クリックして表示されるメニューで、録画フォルダーの情報(プロパティ)を変更したり、名前を変更することができます。そのフォルダーがパソコンのハードディスク上にあるのか、外付けハードディスク上にあるのかを確認することもできます。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダーに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダーを作っておいてください(p.122)。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

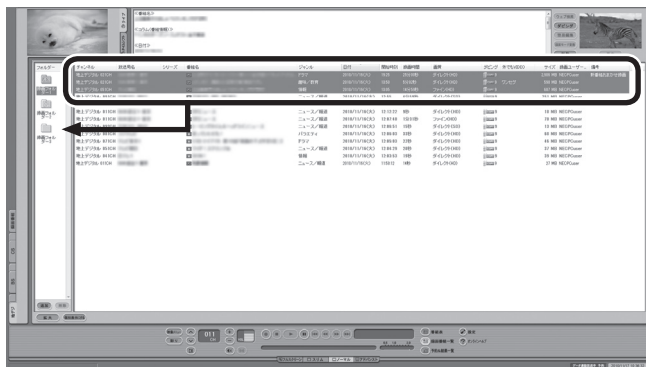
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダーにドラッグ&ドロップする

番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「番組の移動」画面が表示されます。「番組の移動が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。

これで、番組の移動ができました。
なお、移動先の録画フォルダーに外付けハードディスクの録画フォルダーを指定すると、外付けハードディスクへ番組を移動することができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- 複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。
- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダーに移動されたのか、わからなくなります。

ポイント

- ご購入時の状態では録画した番組は、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。
- この画面で、番組を選んで画面右上の 削除 (削除)をクリックすると番組を削除できます。
- 録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、その録画フォルダーの情報が表示されます。「ハードディスク上のフォルダーの場所」などを確認することができます。

録画フォルダーを削除する

録画フォルダーを削除しても、データは残ります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 左の「フォルダー」内で削除したい録画フォルダーを選んで、(削除)をクリック

削除画面が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- SmartVision側から録画フォルダーが参照できなくなりますが、ハードディスク内のフォルダと録画番組は削除されません。
- ここで削除した録画フォルダーを再度SmartVisionで利用するには、マウスで使う画面で「既存フォルダー参照」をクリックし、フォルダを指定して追加する必要があります。この際、手順5の画面に表示される次の情報が必要になります。控えておいてください。
  - ・削除する録画フォルダー名
  - ・ハードディスク上のフォルダ名
  - ・ハードディスク上のフォルダの場所

5 「はい」をクリック

これで、録画フォルダーが削除できました。

PART 7
一歩すすんだテレビ操作

番組の情報をインターネットで探す

気になる番組や人物(出演者など)、番組の主題歌について、インターネットを使って検索することができます。

「ウェブ検索」について

「ウェブ検索」は、テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できる機能です。検索サイトでキーワードを入力する必要はありません。マウスの操作だけで検索することができます。
番組表や録画番組一覧で面白そうな番組を見つけたとき、テレビ放送や録画番組を見ていて気になる新人が出てきたとき、手軽に検索してみましょう。

チェック

●「ウェブ検索」機能を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
●Internet Explorerが無効になっているときは、「ウェブ検索」機能が利用できません。

番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する

■ 番組表から検索する

ここでは、番組表の画面から、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 (番組表)をクリック

番組表が表示されます。

ポイント

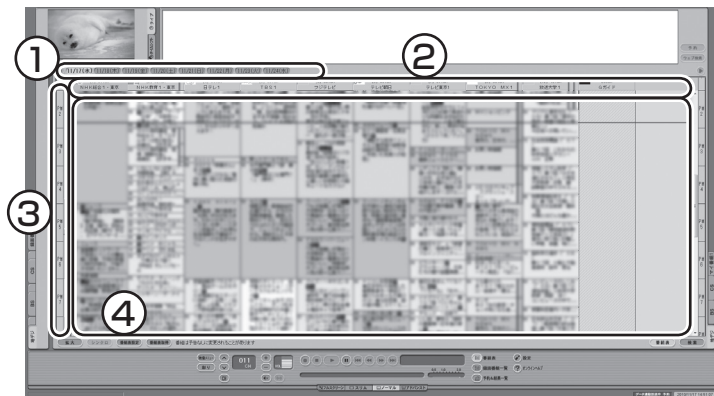
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

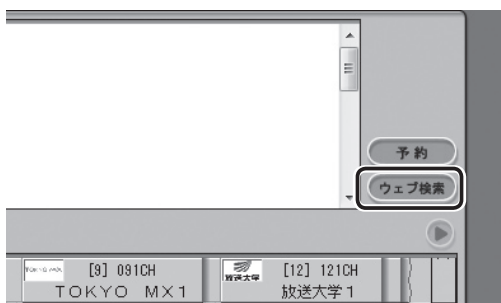
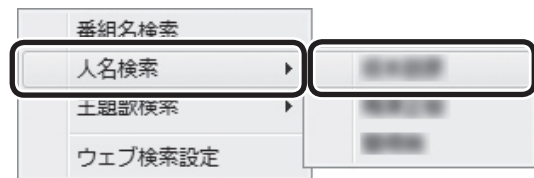
3 情報を調べたい番組を選ぶ

① 日付を選ぶ

② 放送局を表示する

③ 時間を合わせ、調べたい番組を表示する

④ 調べたい番組をクリック

画面上の詳細情報欄に、番組情報が表示されます。

4 「ウェブ検索」をクリック

5 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名（出演者など）をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

6 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

ポイント

- 手順5で「番組名検索」をクリックすると、手順6の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順5で「主題歌検索」をクリックすると、手順6の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- 「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorer のみです。
  Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

■「録画番組一覧」から検索する

「ウェブ検索」機能は、「録画番組一覧」に表示されている番組の情報を調べることもできます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

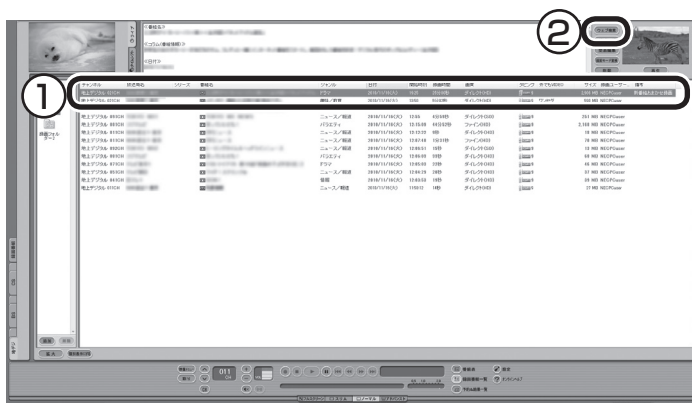
画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選んで情報を検索する

① 調べたい番組をクリック

② 「ウェブ検索」をクリック

この後の操作は、「番組表から検索する」の手順5以降(p.128)をご覧ください。

一歩すすんだテレビ操作

テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する

■ テレビを見ているときに検索する

ここでは、ライブモードでテレビを見ながら、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 「ライブモード」タブをクリック

放送中の番組がライブモードで表示されます。必要に応じて、チャンネルを切り換えてください。

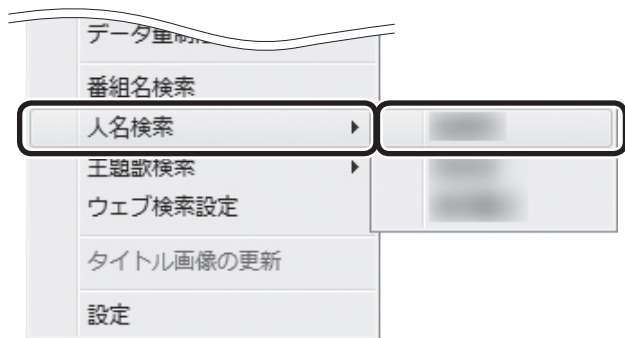
3 「映像メニュー」をクリック

ポイント

タイムシフトモードでテレビを見ているときは、「ウェブ検索」の機能が使えません。

ポイント

画面上を右クリックして、映像メニューを表示させることもできます。

4 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名（出演者名など）をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

5 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

■ 録画番組を見ているときに検索する

録画した番組を再生しているときも、その番組の情報を「ウェブ検索」することができます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面（ノーマルモード）が表示されます。

2 （録画番組一覧）をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 録画番組一覧で視聴する番組をダブルクリック

録画番組が再生されます。

4 「テレビを見ているときに検索する」の手順3(p.130)以降の操作をおこなう

テレビを見ているときと画面に表示されている内容が一部異なりますが、操作の流れは同じです。

ポイント

- ●手順4で「番組名検索」をクリックすると、手順5の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- ●手順4で「主題歌検索」をクリックすると、手順5の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- ●番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- ●「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorerのみです。Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- ●Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する

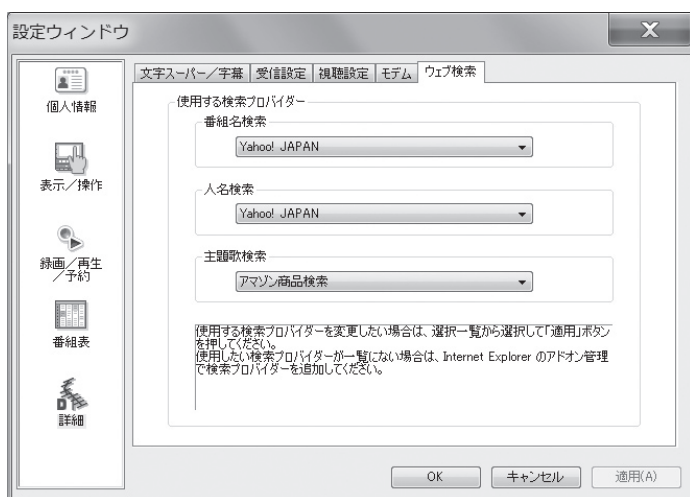
検索結果を表示する検索プロバイダー(検索サイト)を変更することができます。

1 マウスで使う画面(ノーマルモードまたはアドバンストモード)で、 (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ウェブ検索」タブをクリック

3 検索プロバイダーを選ぶ

「番組名検索」・「人名検索」・「主題歌検索」の ▼ をクリックし、表示されたメニューから使用する検索プロバイダーを選んでクリックします。

4 「OK」をクリック

これで検索プロバイダーの変更は終了です。

PART 7
一歩すすんだテレビ操作

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いらない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、もとの番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「アドバンスト」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(アドバンストモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「アドバンスト」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 編集したい番組をクリックし、(簡易編集)をクリック

「簡易編集」タブが表示されます。

5 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。
①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック

登録された場面

①〜③を繰り返して、必要な場面をすべて登録したら、手順6に進んでください。

より精密な編集をするときは

コントロールパネルのボタンやプログレスバーを使った編集では、切り取った場面に不要な場面が少しだけ入ってしまうことがあります。
切り取る場面の「ここから」や「ここまで」をより精密に指定したいときは、次のように操作してください。

① 「ここから」または「ここまで」を登録したいタイミングで「一時停止」をクリック
② 次のいずれかの操作で、登録する位置を微調整する
  ・ 1フレーム単位で調整：◀▮または▮▶をクリック
  ・ 15フレーム単位で調整：◀◀▮または▮▶▶をクリック
③ 「ここから」または「ここまで」をクリック

ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

ポイント

登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

チェック

- 同じ場面を複数回登録することはできません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 登録した場面の順番を変更することはできません。
- 編集で切り取った場面の先頭には新しいチャプターが作られます。また、切り取った場面の中に、オートチャプター機能で作られたチャプター(本編と本編以外の区切り部分)や、以前の編集で作られたチャプターが含まれているときは、それらのチャプターも引き継がれます。
- 録画番組を光ディスクに保存するときは、オートチャプター機能や編集で作られたチャプターの情報もあわせて保存されます。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。
- 登録できる場面(「ここから」から「ここまで」の間)の最大数は300です。
- 編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいとこ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。
- 時間指定予約による録画をしているときなど、録画中に放送局のチャンネルの数が変わる(増減する)ことがあります。録画した番組を編集するとき、チャンネルの数が変わるタイミングの前後5秒から10秒程度の範囲で登録する場面の微調整をおこなうと、画面に表示されている映像が黒くなることがあります。

6 「保存」をクリック

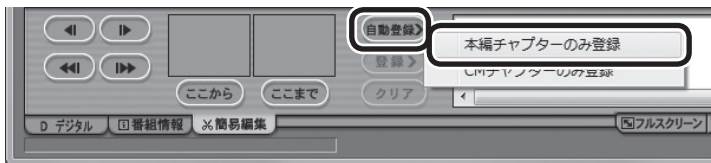
編集した番組がもとの番組と同じ録画フォルダーに保存されます(もとの番組は編集前の状態で残ります)。「編集が完了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。編集した状態で、光ディスクに保存したり(p.99)、携帯電話に転送することもできます(p.137)。
なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、もとの番組と同じグループとして扱われており、光ディスクや携帯電話にコピーできる回数がまとめて制御されています。詳しくは「光ディスクに保存したり、携帯電話に転送するときのご注意」(p.136)をご覧ください。

■ オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)

オートチャプター機能(p.81)によって、番組を録画したとき、自動的に番組の本編と本編以外が検出され、チャプターが作られています。
録画番組を簡易編集するとき、オートチャプターの情報を使って、本編チャプターのみ、または本編以外のチャプター(CMチャプター)のみを登録することができます。
ここでは本編チャプターのみを登録する手順を説明します。

1 「録画番組を簡易編集する」の手順1(p.133)から手順4までの操作をおこなう

「簡易編集」タブが表示されます。

2 「自動登録」-「本編チャプターのみ登録」をクリック

本編チャプターが登録されます。
本編以外のチャプターを登録したいときは、ここで「CMチャプターのみ登録」をクリックしてください。

参照

光ディスクへの保存について→マウスで使うための画面:オンラインヘルプ(p.114)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「録画した番組でDVDを作成しよう」

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。

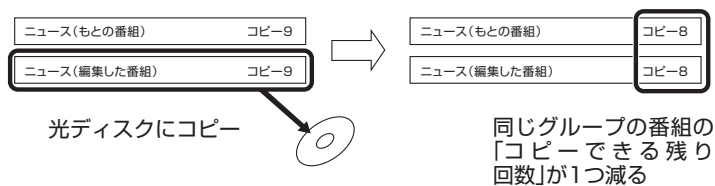
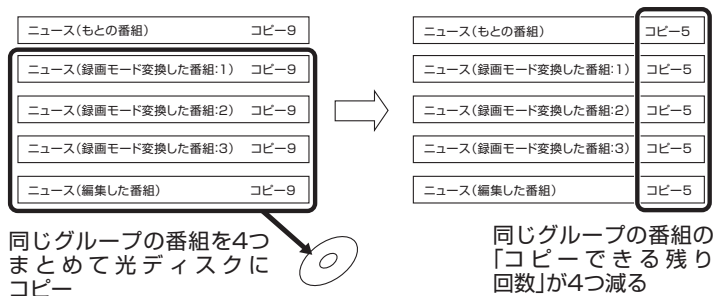
参照

ハードディスクの空き容量を増やす方法について
→「ハードディスク」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92090020 で検索

ポイント

- 「自動登録」をクリックすると、すでに登録された「ここから」や「ここまで」の情報が削除されます。これらの情報を削除してよいかどうか確認するメッセージが表示されたときは、状況に応じて「OK」または「キャンセル」をクリックしてください。
- 番組の最初または最後に放送されるCMは、本編以外のチャプター(CMチャプター)として検出されないことがあります。
- 本編チャプターがない番組や、本編以外のチャプター(CMチャプター)がない番組を自動登録するときは、その状況を報告するメッセージが表示されます。

■ 光ディスクに保存したり、携帯電話に転送するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を簡易編集した番組は、もとの番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクや携帯電話にコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、編集した番組を光ディスクや携帯電話にコピーすると、もとの番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、編集したダビング10の番組を光ディスクや携帯電話に1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

なお、同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクや携帯電話にコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

録画番組を携帯電話で楽しむ（外でもVIDEO）

パソコンで録画した番組を携帯電話のSDカードに転送（ダビング）して、外出先などでも楽しむことができます。

外でもVIDEO って何？

ワンセグ放送を携帯電話で見るように、録画番組を携帯電話へ転送し、外出先などでも楽しむ機能、それが「外でもVIDEO」です。パソコンで録画した番組を携帯電話に転送して視聴することができます。何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまう連続ドラマを、携帯電話に入れて持ち出しましょう。

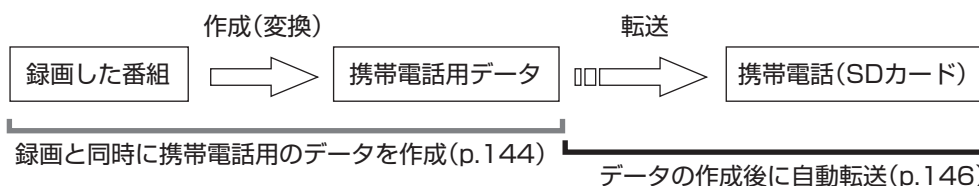
■ 携帯電話に番組を転送する仕組み

次の流れで録画した番組を携帯電話（SDカード）に転送します。

作成（変換）　転送

録画した番組 ⇒ 携帯電話用データ ⇒ 携帯電話（SDカード）

録画と同時に携帯電話用のデータを作成（p.144）

データの作成後に自動転送（p.146）

転送する前に、携帯電話用のデータが作成されます。

・ 携帯電話用のデータを作成済みの番組は、転送完了までにかかる時間が短くなります。
・ 番組の録画と同時に携帯電話用のデータを作ることができます（p.144）。また、携帯電話用のデータが作られたとき、自動的に携帯電話に転送するよう設定できます（p.146）。

コピーワンスで放送された番組は自動転送されませんので、手動で転送をおこなってください（p.139）。

■ 携帯電話用のデータについて

携帯電話用のデータの録画モード(画質モード)は、「ワンセグ画質(320×180)」と「SD画質(640×360)」の2種類から選ぶことができます。

画質モード	1時間の番組を保存するために必要なSDカード容量	特徴
ワンセグ画質(320×180)	約258MB	ワンセグ放送を録画できる多くの携帯電話で再生できます。解像度は320×180です。
SD画質(640×360)	約484MB	ワンセグ画質の4倍の解像度でより高画質の映像が楽しめるモードです。しかし、再生できる携帯電話が限られます。解像度は640×360となります。

■ 録画番組が転送できる携帯電話について

録画モード(画質モード)により、再生できる携帯電話が異なります。対応している携帯電話について詳しくは、NECサポートサイト(http://121ware.com/)をご覧ください。
番組のデータは、携帯電話にセットされたSDカードに転送されます。
携帯電話をパソコンに直接接続するときは、対応するUSBケーブルを使用してください。
携帯電話のSDカードを取り出してパソコンにセットすることもできます。

転送に対応しているSDカードは次のとおりです。
・ microSDカード
・ microSDHCカード
・ SDXCカード

なお、携帯電話とパソコンを接続するケーブルや、携帯電話からSDカードを取り出す方法などについては、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

チェック

●一部の携帯電話ではUSBケーブルで接続しても録画番組は転送できないことがあります。この場合は、携帯電話からSDカードを取り出し、パソコンにセットして転送してください。
●長時間番組は次の単位に分割して転送されます。
・ワンセグ画質:約6時間30分
・SD画質:約3時間30分
●microSDカードは、必ず市販のSDカード変換アダプタに装着してから、パソコンのスロットにセットしてください。

■ CPRMアップデートについて

録画した番組を携帯電話(SDカード)に転送する前に、CPRMのアップデートが必要です。SmartVisionのアップデートの画面が表示されたときは「はい」を選んで【決定】を押し、画面の説明にしたがってアップデートをおこなってください。
CPRMとは、携帯電話(SDカード)やDVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。携帯電話(SDカード)への転送のほか、録画番組を光ディスクに保存する際にも、この技術が使われます。

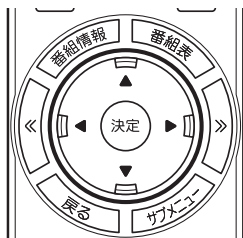
録画した番組を携帯電話に転送する

ここでは、録画済みの番組を携帯電話(SDカード)に転送する手順について説明します。

1 携帯電話をパソコンにUSBケーブルで接続する(またはSDカードをセットする)

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

ポイント

- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。
- SmartVisionを起動していない状態でSDカードをパソコンにセットすると、「ムービーフォトメニュー」や「自動再生」が表示されます。ここで「録画番組をSDカードに転送する」をクリックすると、簡単転送(p.143)をおこなう画面が表示されます。

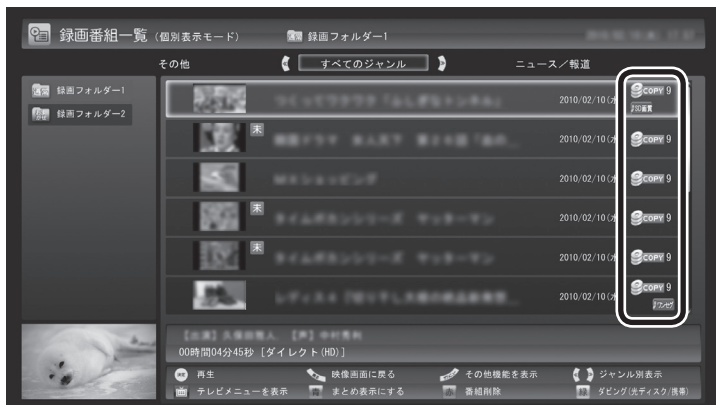
チェック

携帯電話とパソコンを接続するときは、携帯電話の設定の変更(microSDモードやカードリーダモードなど)をおこなう必要があります。詳しくは、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

参照

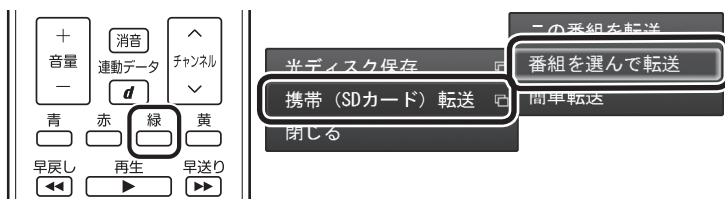
パソコンにSDカードをセットする方法について
→「デュアルメモリースロット」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105 で検索

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

～

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、携帯電話(SDカード)にコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに携帯電話(SDカード)に9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は携帯電話(SDカード)にムーブ(移動)することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも携帯電話(SDカード)にコピーできます。

4 転送する番組を選んで【緑】を押し、「携帯(SDカード)転送」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す

チェック

- MOVEが表示された番組を携帯電話(SDカード)に転送すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- 番組を光ディスクに保存したときも、コピーできる残り回数が減ります(p.106)。
- すでに携帯電話用のデータが作成されているときは、番組のコピー制御方式を示すアイコンの下に、SD画質またはワンセグが表示されます。

ポイント

「携帯(SDカード)転送」-「簡単転送」を選んで【決定】を押すと、細かい設定を省いて、まだ見ていない「外でもVIDEO」の番組を転送することができます。詳しくは「簡単転送を使う」(p.143)をご覧ください。

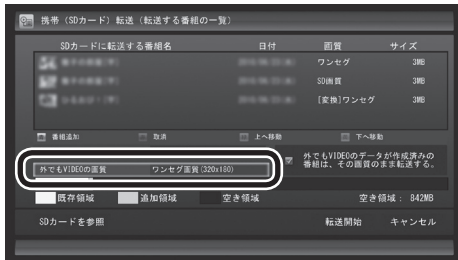
5 転送する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

6 【緑】を押す

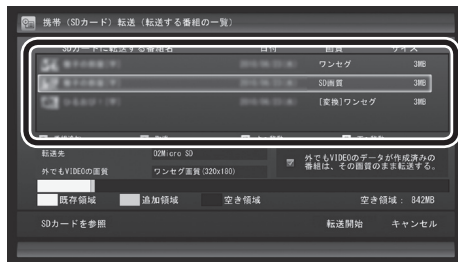
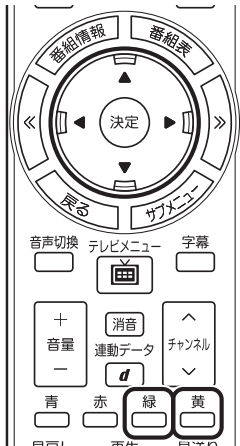
転送する番組の一覧が表示されます。

7 「外でもVIDEOの画質」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから、「SD画質(640×360)」または、「ワンセグ画質(320×180)」を選んで【決定】を押す

8 転送する順序を指定する

一覧の上から順に転送されます。必要に応じて転送する順序を指定してください。

① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ

② リモコンの【緑】(上へ移動)または【黄】(下へ移動)を押す

③【決定】を押す

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組(p.81)を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

チェック

録画モード(画質モード)により、再生できる携帯電話が異なります。対応している携帯電話について詳しくは、NECサポートサイト(http://121ware.com/)をご覧ください。

ポイント

「外でもVIDEOのデータが作成済みの番組は、その画質のまま転送する。」を選んで【決定】を押し、チェックを付けると、すでに携帯電話用のデータが作成されている番組については、そのデータが指定した画質でなくてもそのまま転送されます。たとえば、すでにSD画質のデータが作成されているときは、手順7で「ワンセグ画質(320×180)」を選んでも、ワンセグ画質のデータは作成されず、既存のSD画質のデータが転送されます。

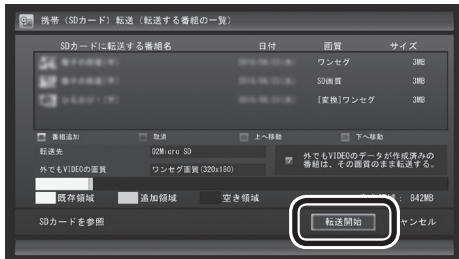
ポイント

特に指定しない場合は、手順5の画面でチェックマークを付けた順番に転送されます。

チェック

- 転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。
- ここで表示される番組のサイズは予測値です。SDカードに転送された番組のサイズとは異なる場合があります。

9 「転送先」を選んで【決定】を押し、接続した携帯電話またはセットしたSDカードを選んで【決定】を押す

10 「転送開始」を選んで【決定】を押す

転送が始まり、通知領域に携帯電話(SDカード)への転送を示すアイコンが表示されます。

11 「転送が完了しました」と表示されたら、ほかの転送が始まっていないことを確認し、【決定】を押す

12 携帯電話(またはSDカード)をパソコンから取り外す

SDカードなどの正しい取り外し方法については、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第4章の「メモリーカード」をご覧ください。

なお、取り外すときは、マウスを使って、デスクトップ画面右下にある通知領域を操作する必要があります。必要に応じてテレビ画面右上の をクリックし、SmartVisionをウィンドウ表示に切り換えてください。

録画番組をSDカードに転送している間は、パソコンと携帯電話を接続しているUSBケーブルを取り外したり、カードスロットからSDカードを取り外したりしないでください。

ポイント

- 携帯電話用データの作成にかかる時間(予測時間)の間に、「ダイレクト」以外の録画や別の携帯電話用データの作成など、映像の変換を含む予約が2つ入っているときは、機能の重複を示す画面が表示されます。
画面の指示にしたがって、録画などのほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、携帯電話用のデータ作成の予約などを取り消してください。
- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。

録画と同時に携帯電話用のデータを作成(p.144)し、自動的に転送する設定(p.146)にしているときは、ここでの操作の直後に自動的にほかの番組データの転送が始まることがあります。
携帯電話(SDカード)を取り外す前に、ほかの転送が始まっていないかどうか、必ずご確認ください。
ほかの転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

・テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「SDカード転送中」と表示されます。
・テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、デスクトップ画面右下の通知領域に「SD」と表示されます。

簡単転送を使う

外でもVIDEOで録画した番組の中で、視聴(転送)していないものを、細かい設定を省いて携帯電話に転送することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順1(p.139)から手順3までの操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

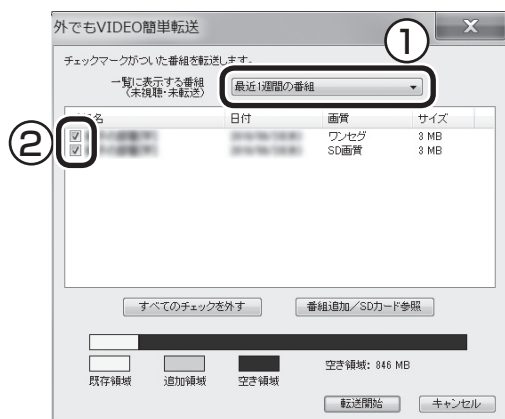
2 【緑】を押し、表示されたメニューから「携帯(SDカード)転送」-「簡単転送」を選んで【決定】を押す

転送される番組の一覧が表示されます。ここからはマウスで操作してください。

3 転送の条件を設定する

チェックの付いている番組が転送されます。設定の必要がなければ、そのまま手順4に進んでください。

①番組を絞り込む条件を選んでクリック

②転送しない番組をクリックしてチェックを外す
最初の状態ではすべての番組にチェックが付いています。

4 「転送開始」をクリック

転送が始まり、通知領域に携帯電話(SDカード)への転送を示すアイコンが表示されます。

5 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順11(p.142)以降の操作をおこなう

■ その他の転送方法について

SmartVisionを起動していない状態でSDカードをパソコンにセットすると、「ムービーフォトメニュー」や「自動再生」の画面が表示されます。
ここで「録画番組をSDカードに転送する」をクリックすると、「外でもVIDEO簡単転送」画面が表示され、録画番組をSDカードに転送することができます。
操作については、「簡単転送を使う」の手順3以降をご覧ください。

ポイント

SDカードの空き容量によっては、すべての番組にチェックが付かないことがあります。

ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認して「実行」をクリックしてください。

ポイント

Windows Media Centerをフルスクリーンで表示しているときは、SDカードをパソコンにセットしても「ムービーフォトメニュー」や「自動再生」の画面が表示されません。

録画と同時に携帯電話用のデータを作成する

おてがる予約で録画するとき、録画と同時に携帯電話用のデータを作ることができます。

■ 録画と同時に携帯電話用のデータを作成するときのご注意

- ●おまかせ録画や新番組おまかせ録画、さかのぼり録画をするとき、また、視聴中の番組を手動で録画するときは、録画と同時にデータの作成ができません。また、G-GUIDE for Windowsで予約録画するときも、録画と同時にデータを作成することはできません。
- ●録画番組が複数音声の番組であっても、記録できる音声は1つだけになります。必要に応じて「詳細設定」にて、記録する音声を指定してください(p.55)。
- ●映像の変換を含む予約は、同じ時間帯に2つまでしか入れられません(p.45)。たとえば、すでに「ファイン」での録画予約が入っている時間帯に、「セミファインロング」+「携帯電話用のデータ作成」という設定で録画予約することはできません(映像の変換を伴う予約が3つになってしまうため)。
  予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画モードをダイレクトに切り換えたり、録画や携帯電話用のデータ作成を取り消してください。

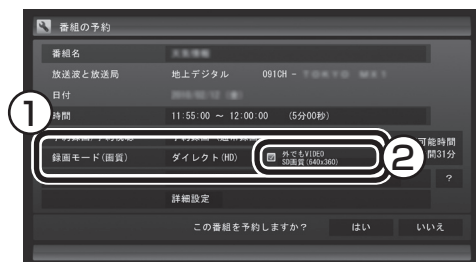
■ おてがる予約で録画するとき

1 「おてがる予約をする」(p.53)の手順1 ～手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 予約内容を設定する

① 「録画モード(画質)」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モードを選んで【決定】を押す

② 「外でもVIDEO」で「SD画質(640×360)」または、「ワンセグ画質(320×180)」を選んで【決定】を押し、チェックマークを付ける

番組の情報の確認や「繰り返し予約」の設定などについては、「おてがる予約をする」の手順4をご覧ください。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました。」というメッセージが表示されます。

4 【決定】を押す

携帯電話用のデータを自動転送する設定(p.146)にしているときは、録画が終了すると自動的に携帯電話(SDカード)への転送が始まります。
なお、録画が終了したとき、パソコンに携帯電話(SDカード)が接続されていないと自動転送されません。手動で転送してください。

ポイント

録画と同時に携帯電話用のデータを作成するとき、同時に特定の機能を組み合わせて使うと視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.45)の表をご覧ください。

携帯電話用のデータを自動で転送する

録画と同時に携帯電話用のデータを作成(p.144)したとき、そのデータを自動的に携帯電話(SDカード)に転送するよう設定できます。
設定するときは、データの転送先となる携帯電話を接続(またはSDカードをセット)しておく必要があります。
コピーワンスで放送された番組は自動転送されませんので、手動で転送をおこなってください(p.139)。

■ この機能を使うと

深夜番組を録画するとき、予約操作の前に携帯電話をパソコンに接続しておけば、録画された番組が自動的に携帯電話に転送されます。翌朝、何も操作しなくても、携帯電話を持って出かけるだけで、外出先でその番組を楽しむことができます。

■ 自動転送の設定をする

1 携帯電話をパソコンにUSBケーブルで接続する(またはSDカードをセットする)

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

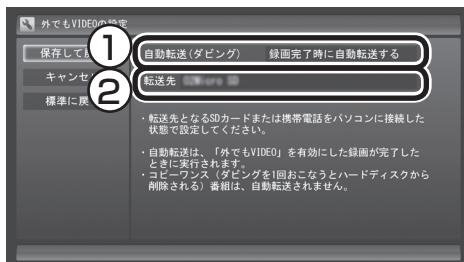
テレビメニューが表示されます。

3 「設定」の「外でもVIDEOの設定」を選んで【決定】を押す

外でもVIDEOの設定が表示されます。

4 自動転送の設定をする

① 「自動転送(ダビング)」を選んで【決定】を押し、「録画完了時に自動転送する」を選んで【決定】を押す

② 「転送先」を選んで【決定】を押し、接続した携帯電話またはセットしたSDカードを選んで【決定】を押す

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

参照

- 携帯電話とパソコンの接続について→携帯電話に添付されたマニュアル
- パソコンにSDカードをセットする方法について
  →「デュアルメモリースロット」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105 で検索

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

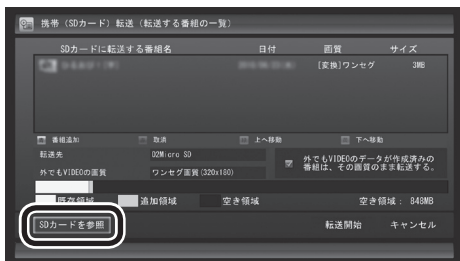
これで設定が完了しました。必要に応じて、携帯電話(SDカード)を取り外してください。

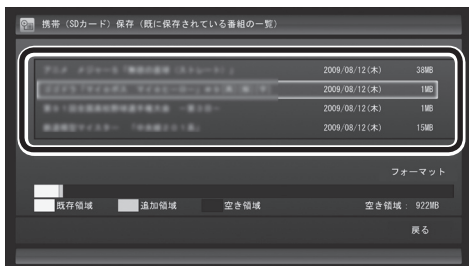
録画が完了すると、自動的に設定された「転送先」へデータの転送が始まります。録画が完了する時刻には、転送先として設定した携帯電話(SDカード)をパソコンに接続しておいてください。

携帯電話に転送したデータを確認・削除する

携帯電話(SDカード)に番組を追加するときに、転送済みの番組のデータを確認したり、削除することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.139)の手順1 ～手順6をおこなう

2 「SDカードを参照」を選んで【決定】を押す

転送されている番組の一覧が表示されます。

3 携帯電話(SDカード)に転送されている番組を確認する

ここで番組を選んで【赤】を押し、不要な番組を削除することができます。

ポイント

「フォーマット」を選んで【決定】を押し、携帯電話またはこのパソコンにセットされたSDカードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、SDカードに保存されているすべてのデータが消去されます。なお、この画面にはSmartVisionから転送された番組の情報のみが表示されます。ほかのデータがSDカードに保存されていても確認することはできません。必要なデータを誤って消去しないようご注意ください。

テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

G-GUIDE for Windowsで予約する

SmartVisionの番組表のほかに、「G-GUIDE for Windows」というソフトを使って録画予約をすることもできます。

もうひとつの番組表「Gガイド」

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。
また、G-GUIDE for Windowsの番組表からSmartVisionの録画予約ができます。

■ G-GUIDE for Windowsでできること

G-GUIDE for Windowsでは、次の操作ができます。
・ 番組表を、好きなときにインターネットからダウンロードできる
・ SmartVisionの録画予約ができる
・ パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約ができる

このほかにも番組を検索したり、外部機器(ディーガ)へ録画予約をするなどの機能があります。
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方については、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「取扱説明書」をご覧ください。

チェック

SmartVisionの初期設定が完了していない場合は、G-GUIDE for Windowsで番組表を見ることはできますが、SmartVisionの録画予約をすることはできません。

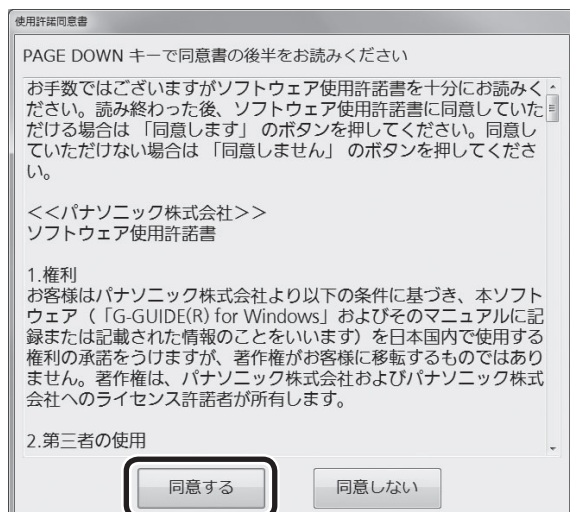
●連携できる「ディーガ」については、次のホームページで確認できます。
(http://panasonic.jp/support/software/)
●予約の取り消しはSmartVisionでおこなってください(p.61)。

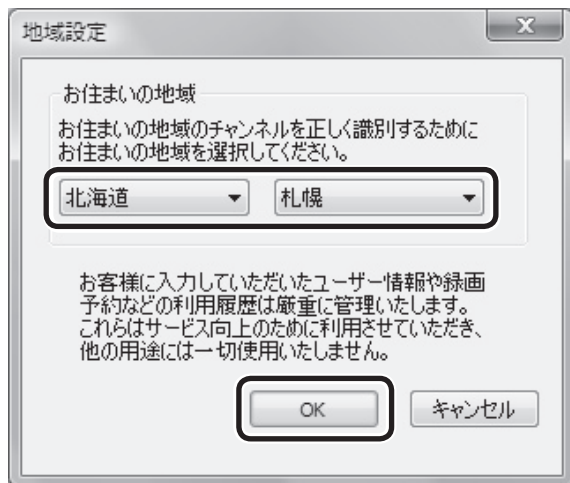
G-GUIDE for Windowsの初期設定をする

G-GUIDE for Windowsはマウスとキーボードで操作します。リモコンでの操作はできません。

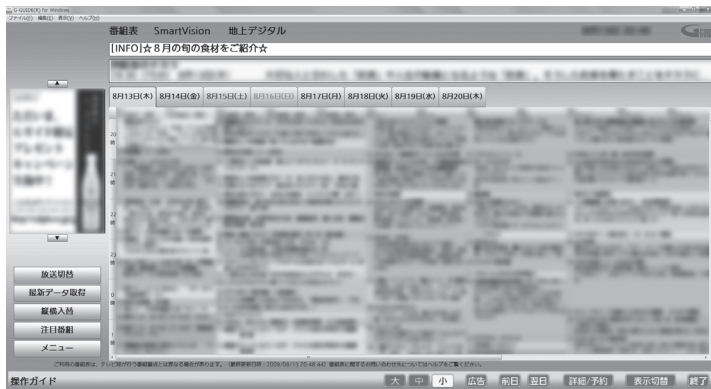
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、「使用許諾同意書」画面が表示されます。

2 「使用許諾同意書」の内容を読み、「同意する」をクリック

「地域設定」画面が表示されます。

3 お住まいの地域を選んで、「OK」をクリック

番組表データのダウンロード画面が表示されます。

4 「はい」をクリック

番組表データがダウンロードされます。ダウンロードが終わると、番組表が表示されます。

これで初期設定は完了です。G-GUIDE for Windowsを終了するときは、画面右下の「終了」をクリックしてください。

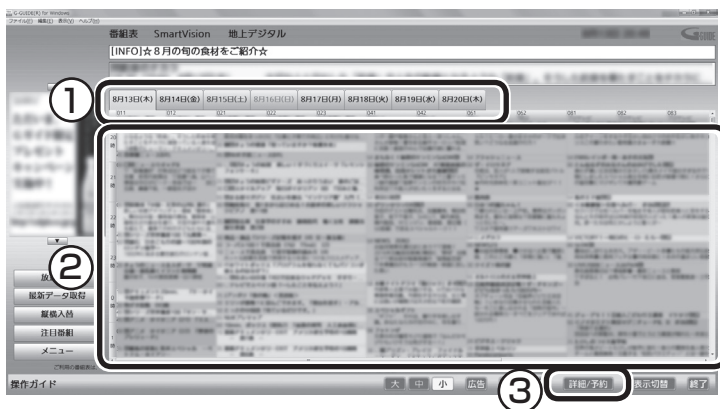
G-GUIDE for Windowsで予約する

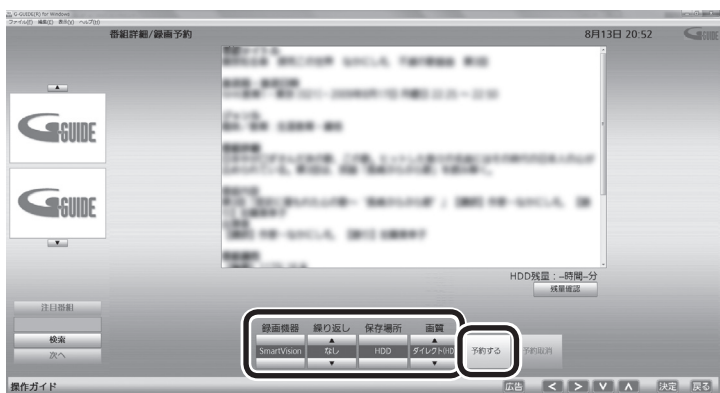
G-GUIDE for Windowsで録画予約をする場合、SmartVisionを起動する必要はありません。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、番組表が表示されます。

2 録画予約をする番組を選ぶ

① クリックして予約する日付を選ぶ
② 予約する番組をクリック
③「詳細/予約」をクリック

「番組詳細/録画予約」画面が表示されます。

3 録画する内容を確認し、「予約する」をクリック

番組表に戻ります。

これで、録画予約は完了です。

ポイント

G-GUIDE for Windowsを起動したときに現在のものよりも新しい番組表がある場合は、自動的に最新の番組表がダウンロードされます。また、G-GUIDE for Windowsの画面左側にある「最新データ取得」をクリックしても、番組表をダウンロードすることができます。

ポイント

予約したい番組をダブルクリックしても「番組詳細/録画予約」画面を表示できます。

チェック

G-GUIDE for Windowsでは、視聴予約をすることはできません。

チェック

- 「繰り返し」の設定内容はG-GUIDE for WindowsとSmartVisionで異なります。
- 予約の時刻が重複していた場合は、予約を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の説明を読んで操作してください。
- 録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」の機能を使うときは、SmartVisionで録画予約してください(p.53)。G-GUIDE for Windowsで録画予約するときは、「外でもVIDEO」の機能が使えません。

ポイント

録画予約がされている番組は、番組名の前に予が表示されます。

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

その他の機能

その他の一歩すすんだ機能について紹介します。

通知領域のアイコンについて

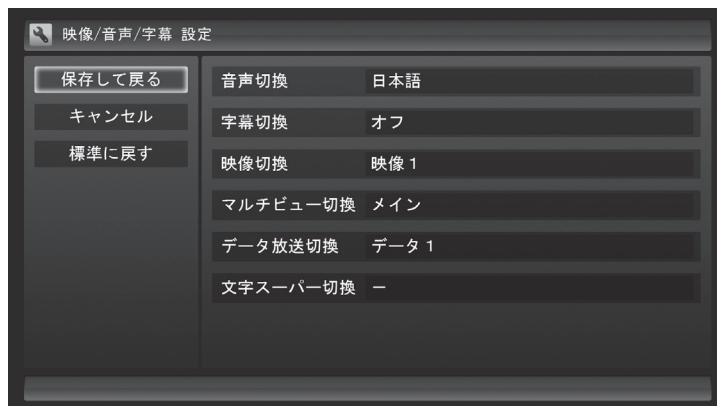
デスクトップ画面右下の通知領域に、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンを表示させることができます(p.9)。
通常時のアイコン:

予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中などもアイコンが変化します。

予約開始5分前　：←→(交互に表示)
予約開始1分前　：←→(交互に表示)
録画中　：←→(交互に表示)
録画モード変換中：←→
光ディスクへの書き込み中　：←→
SDカードへの転送中　：←→

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.114)の「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

デジタル放送の番組サービスについて

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。
テレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。

録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

4 変更したい番組を選んで右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

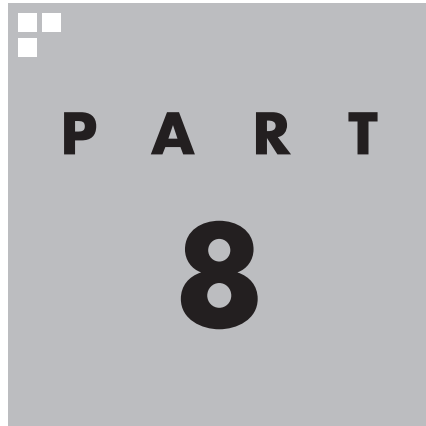
5 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

3D対応モデルでは、「この番組に3Dアイコンをつける」をチェックすると、その番組に3Dアイコン3Dを表示させることができます。

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 8
Q&A

パソコンの起動／終了について

パソコンの起動／終了についての問題は、ここで確認してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画（おまかせ録画を含む）、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART3の「予約の確認や変更」（p.61）をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。

電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定 」-「予約録画の設定」-「予約実行時の電源設定」を選んで「予約実行時の電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「スリープ状態/休止状態から起動する」を選んで【決定】を押し、「保存して戻る」を選んで【決定】を押してください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか?

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。
　10・12・14・16時
この時刻になると、パソコンが自動的に起動して、番組表の受信に備えます。なお、番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信がおこなわれません。
番組表を受信する時刻の設定は変更することができます。詳しくは、PART2の「番組表の受信時刻を変更する」（p.34）をご覧ください。

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

予約録画（おまかせ録画を含む）、予約視聴、番組表受信の予約をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態になるという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態になります（p.76）。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。
　10・12・14・16時
（番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信がおこなわれません）
番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。
番組表の受信時刻を変更する場合は、PART2の「番組表の受信時刻を変更する」（p.34）をご覧ください。

PART 8
Q&A

テレビに関して何か問題があるときは

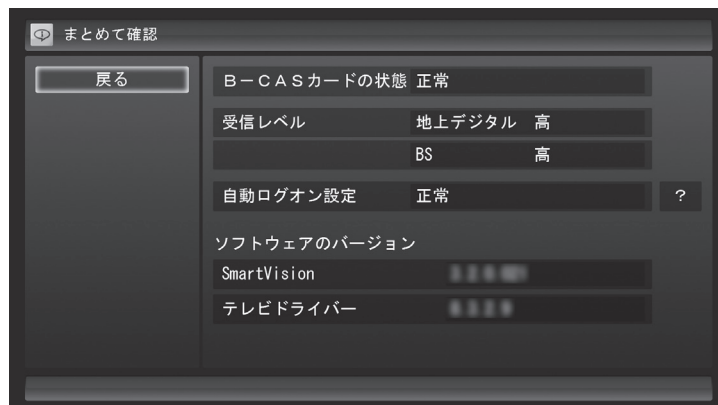
何か問題があるときには、まず「まとめて確認」の画面で確認してみてください。どの設定に問題があるかを確認することができます。

初期設定を確認する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」の「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。

この画面で初期設定の状態が表示されます。
それぞれの項目を選ぶと、設定画面が表示されます。問題のある設定を確認してください。

PART 8
Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)でご確認ください。

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ UHFアンテナの向きを確認してください

デジタル放送の送信塔の方向が、現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

■ B-CASカードは正しくセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 接続は正しいですか？

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ 「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビ初期設定をする」(p.5)をご覧ください。
初期設定の後にテレビが映らないときは、PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.10)をご覧ください。

■ ナイトモードになっていませんか？

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報 」-「受信レベルの確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが0でなくてもテレビが見られないときは、次の点についてご確認ください。

●受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。
- ・デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・受信環境（アンテナケーブルや分配器など）に問題はないか
- ・衛星アンテナの電源供給が必要かどうか（VALUESTAR Wでは、衛星アンテナの電源供給について、「受信レベルの確認」の画面で設定できます（p.185））

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「CyberLink PowerDVD」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。
また、テレビを快適に視聴するため、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ SmartVisionなどを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

テレビ視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能でユーザーを変更すると、切り換えた後のユーザーではテレビを視聴することはできません。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか？（マウスで使う画面の場合）

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

機種	解像度	色
VALUESTAR W	1,920×1,080	True Color（32ビット）
VALUESTAR N	1,600×900	True Color（32ビット）

グラフィックアクセラレータの設定を変更してテレビの画面が見えにくくなったときは、それらの設定を初期状態（デフォルト値）に戻してください。

■ 画質は適切に調節されていますか？

画質の調節では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調節をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■「Windowsのデスクトップの画面設定が変更されたため、SmartVisionでテレビ映像を表示できません。」と表示されていませんか？

テレビを視聴するためには、Aeroの視覚効果が有効となっている必要があります。この視覚効果はご購入時の設定では、有効に設定されていますが、「個人設定」で「ベーシックテーマ」などを選んだときや、Aeroの視覚効果に対応していないアプリケーションが動作しているとき無効になります。「個人設定」で「Aeroテーマ」を選びなおしたり、Aeroの視覚効果に対応していないほかのアプリケーションを終了してください。

■「現在出力先に設定されているサウンドデバイスに出力できません」と表示されていませんか？

USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなど、USBやBluetooth®を使用した音声出力機器がパソコンに接続されていると、このメッセージが表示され、テレビを見ることができなくなります。
これらの機器を取り外し、画面の指示にしたがって操作してください。

テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルにBS/CS放送の電波が混合されていませんか？（VALUESTAR Wのみ）

VALUESTAR Wでは、地上デジタル放送の電波にBS/CS放送の電波が混合されたアンテナケーブルを本機に接続していると、BS/CS放送の電波の影響で上記の現象が発生することがあります。分波器を使って分波してから本機に接続してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎる可能性があります

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「チャンネル設定」で、設定したい放送波を選んで【決定】を押してください。表示された画面の「アッテネーターの設定」で「有効」を選んで【決定】を押してください。

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネータの設定を変更したとき、また、ブースターの利得（ゲイン）を調節したときは、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビ初期設定をやりなおしてください(p.5)。

■ ブースターの利得（ゲイン）を調節してください

アンテナと本機の接続にブースターを使用している場合、その利得の調節が適切でないと電波が強すぎたり弱すぎたりすることがあります。ブースターから出力する各電波のレベルが適切になるように、ブースターへの入力レベルや利得などを調節してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態に)なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャーの起動」をクリックし、「Windows タスク マネージャー」でWindows Media Centerを終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください(p.19)。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ ナイトモードになっていませんか?

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

同じ映像が2つ並んで表示される。映像が半分だけ表示される(3D対応モデルのみ)

■ 3D放送の表示モードは正しく設定されていますか?

3D放送の表示モードが正しく設定されていないと、同じ映像が左右に2つ並んで表示されたり、映像の左半分だけが拡大されて表示されることがあります。
『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』をご覧いただき、3D放送の表示モードを正しく設定してください。

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか?

パソコンのCPU使用率が高くなると、映像のコマ落ちや音飛びが発生することがあります。テレビと同時にほかのソフトを使用したり、インターネット接続などをおこなうと、CPU使用率が高くなります。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 **タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャーの起動」をクリック**

「Windows タスク マネージャー」が起動します。

2 **「パフォーマンス」タブをクリック**

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで【決定】を押す

2 「無効」を選んで【決定】を押す

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか?

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見ていますか?

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上にほかのウィンドウなどが表示されている

全画面表示でテレビを見ているときに、テレビメニューやWindowsのスタートメニュー、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像が乱れたりコマ落ちすることがあります。
このような場合は、一度SmartVisionをウィンドウ表示にしたり最小化することで、映像の乱れが改善されます。

■ SDカードのフォーマットをおこなっていませんか?

テレビの視聴中や録画中にSDカードのフォーマットをおこなうと、映像が乱れることがあります。テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

■ ウイルスバスター以外のセキュリティソフトを使っていませんか?

ご購入時にインストールされているウイルスバスター以外のセキュリティソフトを使っている場合、映像が乱れることがあります。

■ ウイルスバスターのアップデート中ではありませんか?

ウイルスバスターのアップデート中は、映像が乱れることがあります。また、アップデートが番組の録画時間と重複すると、録画した番組の映像が一部乱れることがあります。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。

ポイント

画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

デジタルデータ放送が表示できない

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

マウスで操作するための画面にすると、デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
次の手順でチャンネルの再スキャンをおこなってください。

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**
テレビメニューが表示されます。

2 **「設定」の「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す**

3 **「地上デジタル放送のチャンネル設定」を選んで【決定】を押す**

4 **「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す**

5 **「スキャン方法」で「再スキャン」を選び、「次へ」を選んで【決定】を押す**
チャンネルの再スキャンが始まります。

6 「チャンネルスキャン」が完了したら、「次へ」を選んで【決定】を押す

これで再スキャンは完了です。

7 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

8 「戻る」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャンを促すメッセージが表示された

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

地上デジタル放送のチャンネルの変更や、電波の出力の増減による受信状態の改善などがあったときは、画面にチャンネルスキャンを促すメッセージが表示されます。
メッセージの内容を確認し、必要に応じてチャンネルの再スキャンをおこなってください。再スキャンの手順は「地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない」(p.163)をご覧ください。

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い

■ ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

参照

アンテナケーブルの接続方法について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」

今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。
また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

まずアンテナを接続してください。次に、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビの初期設定をやりなおしてください。
テレビ初期設定の流れについては、PART1の「テレビ初期設定をする」(p.5)をご覧ください。

SmartVisionのウィンドウのサイズを変更したら、映像の端が欠けた状態になったり、映像が表示される部分の左右がグレーになるなど、正しく表示されなくなった

■ ウィンドウのサイズを変更しなおしてください

ウィンドウのサイズによっては、映像が正しく表示されなくなることがあります。
次のいずれかの方法で、ウィンドウのサイズを変更しなおしてください。

- ウィンドウの最小化ボタンをクリックし、タスクバーに表示されたSmartVisionのアイコンをクリックする。
- キーボードの【F5】を押す。
- キーボードの【Ctrl】を押しながら、マウスでウィンドウのサイズを変更する。

PART 8 Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか?

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。
視聴予約について詳しくはPART3の「視聴予約について」(p.56)をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのログオンパスワードを設定・変更していませんか?

Windowsのログオンパスワードを新たに設定または変更したときは、「自動ログオン」の設定(p.188)を変更する必要があります。
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

■ 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください

「予約結果一覧」に予約実行結果が表示されます(p.62)。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

■ 「自動ログオンの設定」をしていますか?

パソコンの電源を切っている場合、「自動ログオン」(p.188)の設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

■ 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか?

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。
「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで変更できる詳細設定で、「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ おてがるバックアップでバックアップのスケジュールを設定していませんか？

おてがるバックアップでバックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- ●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- ●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。
「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

■ パスワードが設定された外付けハードディスクを録画用として登録していませんか？

セキュリティを強化した外付けハードディスクにはパスワード機能を搭載しているものがあります。パスワードを設定した外付けハードディスクを録画用として登録している場合、番組が録画できないことがあります。

予約した携帯電話用のデータ（外でもVIDEO）が録画されていない

同時に使用される機能によっては、携帯電話用のデータが、録画と同時に作成されないことがあります。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンの動作やWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

参照

●ウイルスバスターについて
→「ウイルスバスター」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索

●Windows Updateについて
→「Windowsの更新」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

録画フォルダーに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます(p.62)。

■ 保存先の録画フォルダーを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダーを確認してください。複数の録画フォルダーを使い分けているときは特にご注意ください。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダーに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「録画フォルダー 2」を選んでおまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルを選んで、【サブメニュー】を押して「おまかせ属性の解除」-「この番組」を選んでください。
おの表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

おまかせ録画の最大容量は、マウスで使う画面で変更できます。詳しくはオンラインヘルプ(p.114)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダー」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダーに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

■ 番組を保存した外付けハードディスクを取り外していませんか？

外付けハードディスクに番組を保存している場合は、その外付けハードディスクを接続しなおしてください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組の録画予約を取り消してください(p.61)。

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧（p.67）に登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組（取り消した放送回のみ）は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、おてがる予約などの番組予約で予約しなおしてください（p.53）。

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■「繰り返し予約」の「する（時間指定）」で予約していませんか？

「繰り返し予約」の「する（時間指定）」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定されている同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する（シリーズ）」を設定して予約することをおすすめします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていませんか？

「繰り返し予約」の「する（シリーズ）」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組おまかせ録画で録画予約する番組が無作為に選ばれます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」（p.53）などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約」の「する（シリーズ）」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます（p.74）。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

PART 8
Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を取ると、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 8
Q&A

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量(p.44)がないと、録画できないことがあります。
録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。
不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。
録画した番組の削除については、PART5の「録画した番組を削除する」(p.88)をご覧ください。

参照
ハードディスクの空き容量を増やす方法について
→「ハードディスク」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92090020 で検索

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、「PART3 録画・予約する」(p.39)をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなおすか、「登録したハードディスクに番組を録画する」(p.120)の手順を参考に、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているハードディスクに変更してください。

PART 8 Q&A

その他

リモコンで操作できない

■ Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていませんか？

Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、リモコンの【テレビ】を押してください。Windows Media Centerの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコンに電池をセットしましたか？

リモコンで操作するには、リモコンに電池を入れてください。電池の入れ方については、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第4章の「リモコン」をご覧ください。

リモコンでデータ放送が操作できない

■ ご購入時の状態では、録画した番組の再生、タイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、また、放送内容によっては、データ放送の一部の操作ができない場合があります

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのテレビの終了には30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行していないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。

「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示された

CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。
PART6の「CPRMのアップデートをする」(p.95)をご覧になり、SmartVisionをアップデートしてください。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組(保存できない番組)がある

■ 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。
DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART6の「光ディスクをフォーマットする」(p.95)をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能(p.99)を使って、データをDVDに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか?

ファイアウォールソフトの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

夜間の予約録画実行時、パソコンの音がうるさい

■ ナイトモードにしてください

予約録画でパソコンが起動するときに、起動/終了時の音が気になるときは、画面消灯ボタンを押して、ナイトモード(p.181)にしてください。
ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画されるので、就寝中の録画に便利です。

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号が無い場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。アンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]
B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。

参照
B-CASカードのセットのしかたについて→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」

● [E201 信号レベルが低下しています。]
- ・アンテナケーブルを確認してください。
- ・アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]
- ・アンテナケーブルを確認してください。
- ・地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。
- ・BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]
受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。
- ・番組表などで放送時間をお確かめください。
- ・エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

● [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。

● [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります（映像の乱れやコマ落ちなども含む）。
保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作をおこなってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。
パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているソフトを終了させてください。また、ソフトの再起動やハードディスクの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ Windows Media Centerのウィンドウを常に手前に表示する設定にしていませんか？

Windows Media Centerの「タスク」-「設定」-「全般」-「起動とウィンドウの動作」にある、「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックボックスにチェックを入れていると、Windows Media Centerのウィンドウがほかのウィンドウよりも手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionから別のソフトを起動したり、別のウィンドウを表示させると、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまう場合があります。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックを外せば、この現象は起こらなくなります。

USBハードディスク以外のUSB機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

USBハードディスク以外のUSB機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

「再生不可」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ハードディスクの容量を節約するため、削除することをおすすめします。録画した番組が「再生不可」の状態にならないようにするために、再セットアップをおこなった場合は、録画番組が保存されている外付けハードディスクをSmartVisionに再登録(テレビ映像を表示している状態で、パソコンに外付けハードディスクを接続し、メッセージ表示を確認)(p.119)してください。

再セットアップする前などに録画番組のデータをバックアップしたい

■ 外付けハードディスクにデータを移動してください

外付けハードディスクをSmartVisionに登録(p.119)し、その外付けハードディスクにCドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されている録画番組のデータを移動(p.124)することができます。

タスクバーのSmartVisionアイコンが表示されない

誤操作やパソコンの再セットアップなどによってタスクバーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは、次の手順でタスクバーにアイコンを追加してください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」を右クリック**

2 **「タスクバーに表示する」をクリック**

「ウェブ検索」機能を使ったときInternet Explorerが表示されない。マウスでInternet Explorerをクリックしても、テレビ(SmartVision)の手前に表示されない

■ Windows Media Centerのウィンドウを常に手前に表示する設定にしていませんか?

Windows Media Centerの「タスク」-「設定」-「全般」-「起動とウィンドウの動作」にある、「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックボックスにチェックを入れていると、Windows Media Centerのウィンドウがほかのウィンドウよりも手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionのウェブ検索機能を使ってInternet Explorerを起動すると、そのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックを外せば、この現象は起こらなくなります。

リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない

■ リモコンのモードを変更していませんか?

リモコンが「データ放送固定モード」になっていると「きこえる変速再生」の操作ができません。リモコンの【サブメニュー】を押して、「リモコン(データ放送固定モード)」を選び、「自動切換(再生操作モード)」を選んで【決定】を押してください。

「外でもVIDEO」の番組を携帯電話で視聴できない

■ お手持ちの携帯電話が対応しているかどうか確認してください

お手持ちの携帯電話が「外でもVIDEO」の再生に対応した機種かどうか、121ware.comでご確認ください。なお、SD画質の「外でもVIDEO」は対応する携帯電話がより限られています。この機能をお使いになる前に、対応状況をご確認いただくことをおすすめします。

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、各モードのボタンやタブの機能について記載しています。

付録

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画ルール「ダビング10」について説明しています。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。
このパソコンはダビング10に対応しており、ハードディスクに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。
また、録画されたコピーワンス(コピー不可)の番組は、光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。
ムーブ(移動)した場合、ハードディスクから当該番組は自動的に消去されます。
なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス/ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組か区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されます。
  番組をハードディスクに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組か確認できます。

チェック

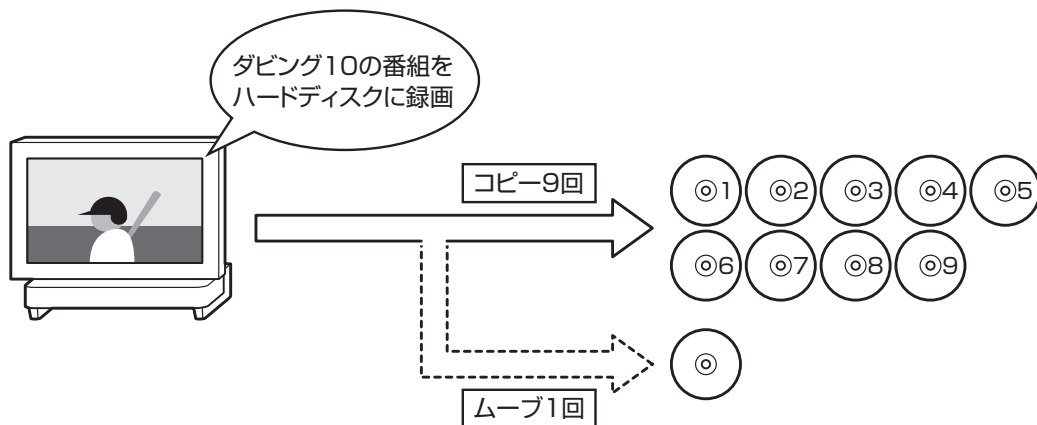
携帯電話(SDカード)に携帯電話用のデータを転送したときも、コピーできる残りの回数が減ります。

ダビング10とコピーワンスの違い

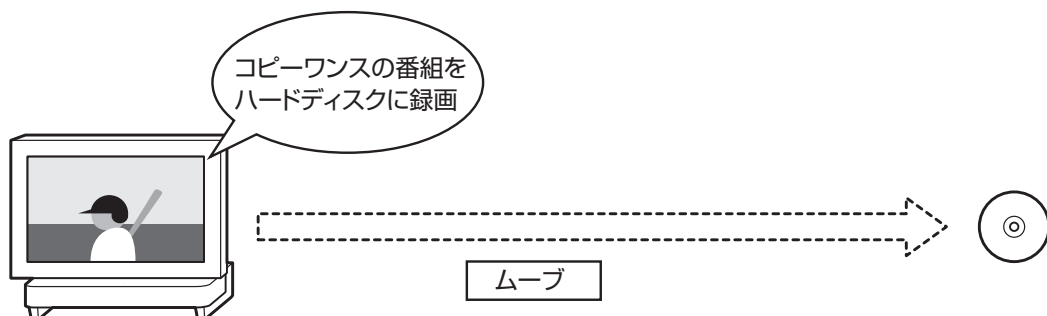
「ダビング10」と「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存/携帯電話(SDカード)への転送
ダビング10	コピー可(回数制限)	コピー 9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)
コピーワンス	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)

ダビング10でできること

●ダビング10
パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。
コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ(移動)になり、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

●コピーワンス
パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ(移動)され、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

付録

付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

●このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。

●B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。

●B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
・分解・加工しないでください。

●裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。

●B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

ポイント

限定受信システム(CAS:Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードの情報を確認する

B-CASカードの情報は次の方法で確認できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」の「B-CASカード情報の確認」を選んで【決定】を押す

B-CASカードの情報が表示されます。

付 録

ナイトモードについて

画面や音声をオフにした状態で録画ができるナイトモードについて説明します。深夜の録画などに便利です。

ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画することができます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもナイトモードに切り換えられます。

●VALUESTAR W

本体左側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、本体前面の画面消灯ランプが白色に点灯します。
もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

●VALUESTAR N

本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、本体右側面の画面消灯ランプが青色に点灯します。
もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

ポイント

明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

予約実行前後の動作を設定する

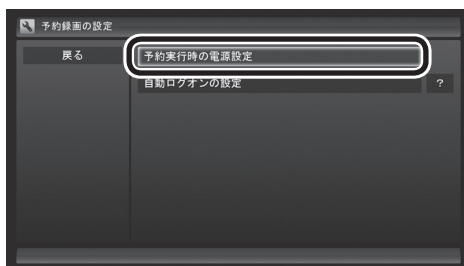
予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定 」の「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

「予約録画の設定」画面が表示されます。

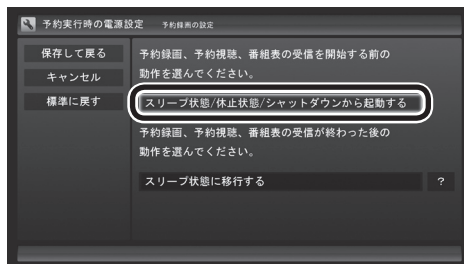
3 「予約実行時の電源設定」を選んで【決定】を押す

「予約実行時の電源設定」画面が表示されます。

参照

省電力状態について

→「省電力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

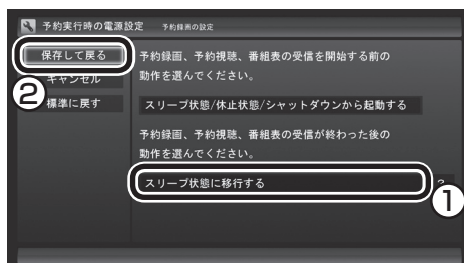
4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。

●「スリープ状態/休止状態/シャットダウンから起動する」
　省電力状態や電源を切った状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。
●「スリープ状態/休止状態から起動する」
　省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

●「何もしない」
　予約や番組表受信終了後、パソコンの電源をオンにしたままとなります。
●「スリープ状態に移行する」
　予約や番組表受信終了後、自動的にスリープ状態になります。
●「休止状態に移行する」
　予約や番組表受信終了後に、自動的に休止状態になります。
●「電源を切る(シャットダウン)」
　予約や番組表受信終了後に、自動的にシャットダウンします。

② 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

●ご購入時は「スリープ状態に移行する」に設定されています。
●「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動ログオン」の設定をしてください。
●「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
●「電源を切る(シャットダウン)」に設定すると、ほかのアプリケーションでの作成中のデータがあった場合、保存していなかったデータは失われてしまいますので、注意してください。
●電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」(p.188)で設定されたユーザーのみです。

ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

付録

アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

アンテナの調節をする

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「受信レベルの確認」を選んで【決定】を押す

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ

受信レベルが表示されます。

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル:中」または「レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、アンテナの設定は完了です。

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候･季節･受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。

衛星アンテナの電源供給の設定をする(VALUESTAR Wのみ)

ご購入時の設定では、衛星アンテナの電源供給をしない設定となっています。
アンテナに給電が必要な場合は、次の手順で設定を変更してください。

1 **「アンテナの調節をする」(p.184)の手順1 ～ 2をおこなう**

2 **「衛星アンテナの電源供給」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「＋15V」を選んで【決定】を押す**

3 **「保存して戻る」を選んで【決定】を押す**

ポイント

VALUESTAR Nには、アンテナ端子から衛星アンテナに給電する機能がありません。

付 録

個人情報を消去する

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

・データ放送で使用していた個人情報やポイント
・受信済みのメール／掲示板の内容
・しおり一覧の内容
・番組表データ(地上デジタル放送)
・地上デジタル放送のチャンネル設定

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

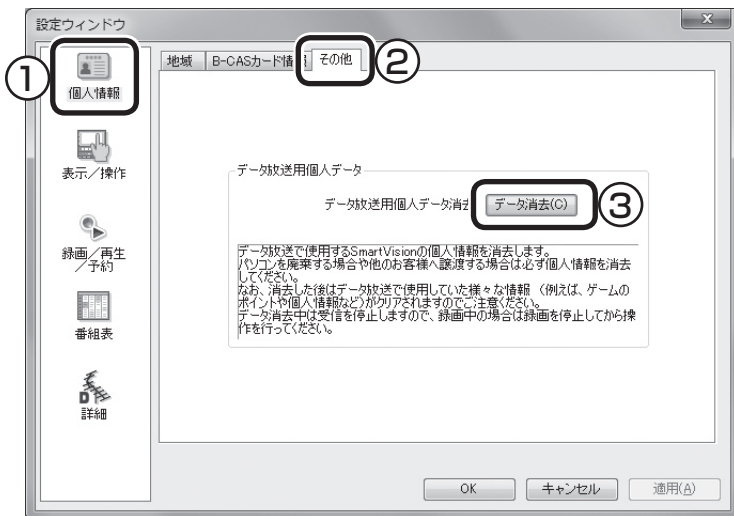
3 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

4 データ消去の設定をする

①「個人情報」アイコンをクリック

②「その他」タブをクリック

③「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

5 「はい」をクリック

SmartVisionが終了します。
その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定(p.5)をおこなう必要があります。

付録

自動ログオンの設定をする

自動的にログオンするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、ログオンするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**

テレビメニューが表示されます。

2 **「設定」から「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す**

3 **「自動ログオンの設定」を選んで【決定】を押す**

4 **「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す**

5 **ログオンするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動ログオンユーザー」を選んで【決定】を押し、ユーザーを選ぶ**

6 **新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで【決定】を押し、キーボードからパスワードを入力する**

7 **再度「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す**

テスト結果が「正常」と表示されれば、自動ログオンの設定が正しくできています。

8 **「保存して戻る」を選んで【決定】を押す**

付録

録画モードについて

番組を録画する場合、録画した番組を光ディスクに保存する場合の録画モードごとの画質や機能について詳しく説明します。

ハードディスクに録画する場合

ご購入時には、ダイレクトで録画される設定となっています。録画予約ごとに個別に録画モードの設定ができます。

録画モード		ダイレクト	ファイン	ファインロング	セミファインロング	ロング	スーパーロング
ビットレート		地上デジタルHD放送:約17Mbps 地上デジタルSD放送:約8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送:約24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送:約11Mbps	約8Mbps	約4Mbps	VALUESTAR W:約2Mbps VALUESTAR N:約2.4Mbps	約2Mbps	約1.2Mbps
記録できる最大解像度※1		ハイビジョン(1920×1080)	ハイビジョン(1920×1080)	ハイビジョン(1920×1080)	VALUESTAR W:ハイビジョン(1920×1080) VALUESTAR N:ハイビジョン(1280×1080)	標準(SD)(720×480)	標準(SD)(720×480)
ダイレクトモードを基準とした録画時間の比較	BS・110度CSデジタルHD放送の場合	―	約3倍	約6倍	VALUESTAR W:約12倍 VALUESTAR N:約10倍	約12倍	約20倍
	地上デジタルHD放送の場合	―	約2倍	約4倍	VALUESTAR W:約8倍 VALUESTAR N:約7倍	約8倍	約14倍
複数音声が含まれる(マルチ音声)番組		2つの音声が保存されます。 外でもVIDEOの同時録画時は1つの音声のみが保存されます。		1つの音声が保存されます。			
字幕放送が含まれる番組		字幕放送が記録されます。					
データ放送が含まれる番組		データ放送が記録されます。	データ放送は記録されません。				
DVDへ保存する場合の録画モード変換		必要	AVCREC形式で保存する場合は不要※2		VALUESTAR W:AVCREC形式で保存する場合は不要 VALUESTAR N:必要(ロングに変換されます)	AVCREC形式で保存する場合は不要	
ブルーレイディスクへ保存する場合の録画モード変換		不要※2			VALUESTAR W:不要 VALUESTAR N:必要(ロングに変換されます)	不要	

※1:最大解像度よりも低い解像度で放送された番組は、放送時の解像度で録画されます。
※2:ほかの録画モードに変換して書き込むこともできます。

ハードディスクからブルーレイディスクへ保存する場合

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	セミファインロング※4	ロング	スーパーロング	1ディスクダビング
記録形式	BDAV						
対応する光ディスク	BD-RE、BD-R						
ビットレート	地上デジタルHD放送:約17Mbps 地上デジタルSD放送:約8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送:約24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送:約11Mbps	約8Mbps	約4Mbps	約2Mbps	約2Mbps	約1.2Mbps	※3
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	標準(SD)	※3
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※1						
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※2	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。		あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。				
字幕放送が含まれる番組※2	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。						
データ放送が含まれる番組※2	データ放送は記録されません。再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。						
複数の映像が含まれる番組※2	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。						

※1:ハードディスクに保存されている画質と、ブルーレイディスクに保存するときの画質が同じ場合のみ。
※2:CyberLink PowerDVD BD、CyberLink PowerDVD 3Dで再生する場合。
※3:ブルーレイディスクの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。
※4:VALUESTAR Nでは、セミファインロングで録画した番組は、自動的にロングに変換されます。

ハードディスクからDVDへ保存する場合

録画モード	ファイン	ファインロング	セミファインロング※5	ロング	スーパーロング	1ディスクダビング	高画質	標準画質	長時間	1ディスクダビング
記録形式	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式
対応する光ディスク	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM
ビットレート	約8Mbps	約4Mbps	約2Mbps	約2Mbps	約1.2Mbps	※2	約7.5Mbps VBR	約4Mbps VBR	約2Mbps VBR	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	標準(SD)	※2	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※3						録画モード変換が必要です。			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※4	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。								
字幕放送が含まれる番組※4	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。						字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。			
データ放送が含まれる番組※4	データ放送は記録されません。再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。									

※1:AVCREC形式に対応していないほかの機器では再生することはできません。
※2:DVDの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。
※3:ハードディスクに保存されている画質と、DVDに保存するときの画質が同じ場合のみ。
※4:CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、CyberLink PowerDVD 3Dで再生する場合。
※5:VALUESTAR Nでは、セミファインロングで録画した番組は、AVCREC形式で保存するとき、自動的にロングに変換されます。

付録

各モードの画面説明

マウスで使うための画面の各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ
表示する映像(放送)を切り換えます。

地デジ:地上デジタル放送
BS:BSデジタル放送
CS:110度CSデジタル放送
録画番組:録画番組一覧

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプボタン
SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

番組表ボタン
番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン
録画番組一覧を表示します。

予約&結果一覧ボタン
予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー (クリックできません)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

ポイント

●番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。

●映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

● コントロールパネル

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。

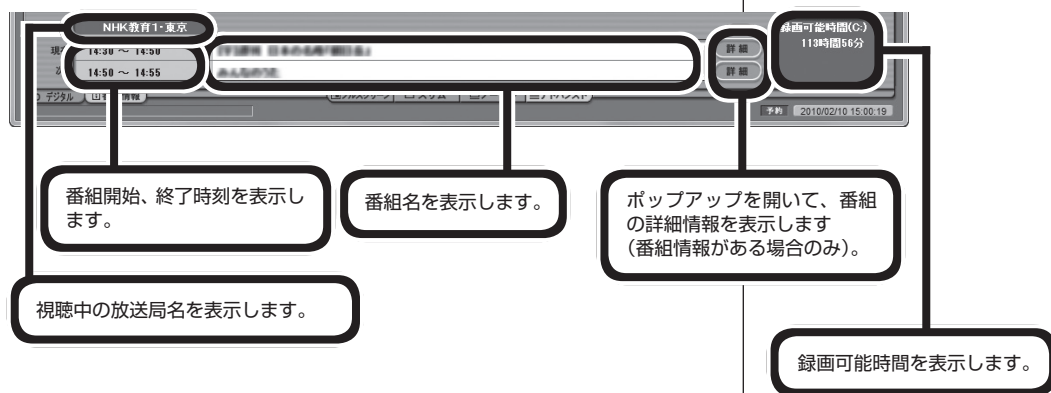
録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。

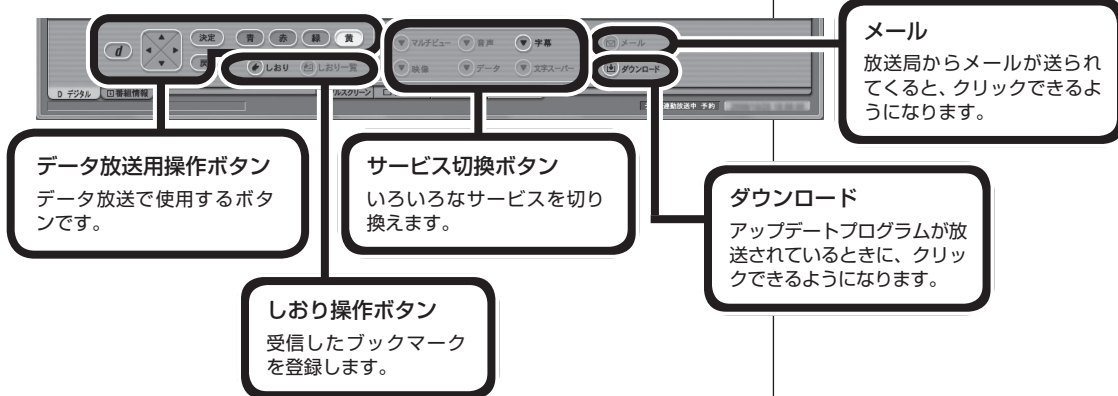
ライブモード時：何も表示されません。

■ アドバンストモード

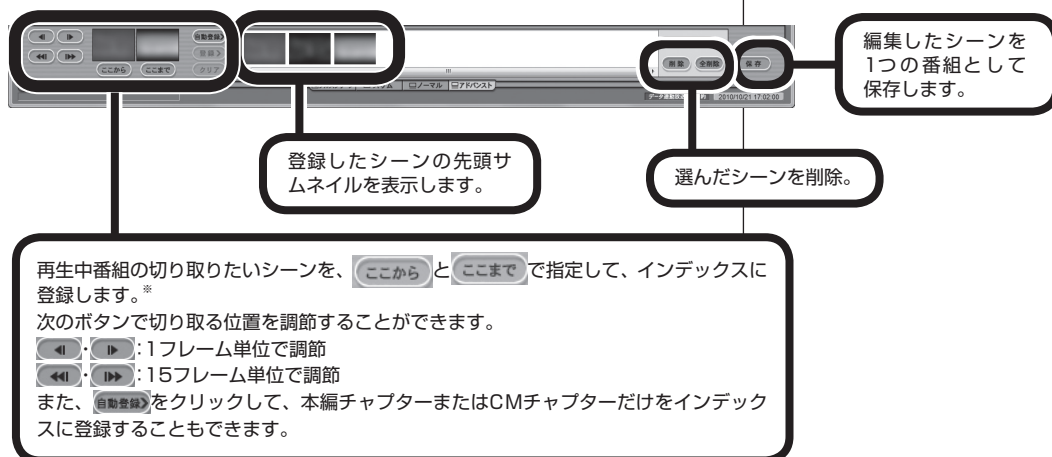
アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

●「番組情報」タブ

「番組情報」タブは画面の左下にあります。

●「デジタル」タブ

「デジタル」タブは画面の左下にあります。

●「簡易編集」タブ

「簡易編集」タブは画面の左下にあります。

再生中番組の切り取りたいシーンを、ここからとここまでで指定して、インデックスに登録します。※
次のボタンで切り取る位置を調節することができます。
◀|・|▶:1フレーム単位で調節
◀◀|・|▶▶:15フレーム単位で調節
また、自動登録をクリックして、本編チャプターまたはCMチャプターだけをインデックスに登録することもできます。

※ ここからを指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまでを指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

付 録

SSDを搭載したモデルを再セットアップしたとき、Cドライブの領域を変更した場合は

SSDを搭載したモデルでCドライブの領域を変更して再セットアップすると、SSD上に録画番組が保存されてしまうことがあります。ここでは、そのときの対処方法についてご紹介します。

Cドライブの領域を変更して再セットアップすると

SSDを搭載したモデルは、ご購入時、CドライブがSSD、Dドライブがハードディスクとなっており、録画した番組はDドライブに保存されるよう設定されています。

SSDのドライブ名	ハードディスクのドライブ名	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ （録画番組はここに保存！）	通常録画フォルダー：録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー：録画フォルダー 2

SSDを搭載したモデルを再セットアップするときにCドライブの領域を変更すると、SSD上にCドライブとDドライブが作成され、ハードディスクがEドライブとなります。
この状態では、録画番組が新たにDドライブとなったSSDに保存されます。

SSDのドライブ名		ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名※2
Cドライブ	Dドライブ （録画番組はここに保存！）	Eドライブ	通常録画フォルダー：録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー：録画フォルダー 2 録画フォルダー 1 録画フォルダー 2

録画番組はデータのサイズが大きいため、次の表のように、できるだけ容量に余裕のあるハードディスク（この例ではEドライブ）に保存するよう設定しなおすことをおすすめします。

SSDのドライブ名		ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ	Eドライブ （録画番組はここに保存！）	通常録画フォルダー：録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー：録画フォルダー 2

※1：ハードディスクのドライブ名は、パソコンの状態により異なります。
※2：SmartVisionの画面には、Dドライブの録画フォルダー 1と2、およびEドライブの録画フォルダー 1と2が表示されます。

おすすめの設定に変更するには

次の手順で設定を変更してください。

1 SmartVisionをマウスで使う画面で起動し、録画番組一覧を表示する

「録画フォルダーを作成する」(p.122)の手順1～手順3の操作をおこなってください。

2 録画フォルダー名を変更する

録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「録画フォルダー名変更」をクリックして、それぞれの名前を次のように変更してください。

・録画フォルダー 1→録画フォルダー 3
・録画フォルダー 2→録画フォルダー 4

3 録画番組の保存先を変更する

「設定」をクリックし、次の操作をおこなってください。

①「録画/タイムシフト」タブをクリックし、「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 1」を選ぶ
②「おまかせ録画」タブをクリックし、「おまかせ録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 2」を選ぶ
③「OK」をクリック

4 SSD上の録画フォルダーを削除する

「録画フォルダーを削除する」(p.125)の操作で、SSD上のDドライブにある次の録画フォルダーを削除してください。

・録画フォルダー 3
・録画フォルダー 4

すでにSSD上の録画フォルダーに録画番組が保存されているときは、録画フォルダーを削除する前に、番組を別の録画フォルダーに移動させてください。

付録

その他の機能・情報

SmartVisionのバージョンを確認する

SmartVisionのバージョンは、次の手順で確認できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」の「バージョンの確認」を選んで【決定】を押す

SmartVisionのバージョンが表示されます。

リモコンの設定をする

リモコンのボタンに割り当てられている機能を変更できます。

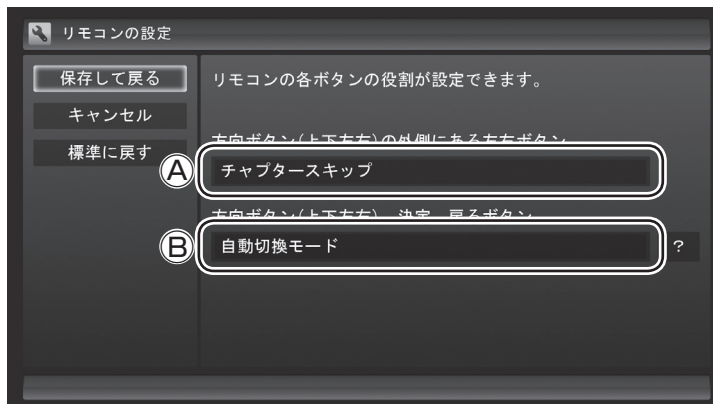
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定 」の「リモコンの設定」を選んで【決定】を押す

「リモコンの設定」画面が表示されます。

3 設定する項目を選ぶ

この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んで、もう一度【決定】を押します。

Ⓐ外側の左右ボタン:「チャプタースキップ」、「30秒スキップ」
Ⓑ上下左右/決定/戻るボタン:「自動切換モード」、「データ放送固定モード」

4 設定を変更したら、「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

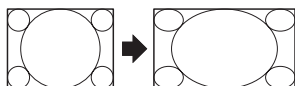
全画面表示のときの画面の表示方法を変える

画面サイズが4:3の比率になっている放送では、画面の表示方法を変更することができます。
画面の表示方法は、次の3つから選べます。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

ノーマル

ズーム

ワイド(フル)

【サブメニュー】を押し、「ワイド切換」を選んで、画面の表示方法を選んでください。

チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
  なお、パソコンの画面の比率が16:9以外(16:10など)のモデルでは、画面の上下に黒い部分が表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。

映像をホームネットワークで配信する(対応モデルのみ)

録画したデジタル放送番組を、ホームネットワーク内の機器に配信することができます。
配信するために、まずはインターネット上のサーバーに接続して、配信のためのライセンスを取得するなどの準備が必要です。
対応モデル、ライセンスの取得のしかたなど、詳しくは、「ファイル共有と相互利用(ホームネットワークなど)」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91090030 で検索)をご覧ください。

簡易編集機能を使って編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

テレビの初期設定をやりなおす

次の手順でテレビの初期設定をやりなおすことができます。テレビ放送の周波数が変更されたときなど、必要に応じてこの操作をおこなってください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定 」の「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押す

「初期設定のやりなおし」が表示されます。

以降の操作については、PART1の「チャンネルの設定などをおこなう」(p.6)の説明をご覧ください。

BS/110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について

このパソコンはモデム機能を搭載していないため、電話回線を利用した有料放送の受信契約をテレビの画面からおこなうことができません。
ここでは、受信契約の申し込みをおこなう場合のお問い合わせ先について記載します。

名称	URL	お問い合わせ先
WOWOW [BS9ch]	http://www.wowow.co.jp	0120-580-807 (PHS、IP電話の方は045-683-8080) 受付時間　9:00 ~ 20:00(年中無休)
スター・チャンネル HV [BS10ch]	http://star-ch.jp	0570-013-111 (PHS、IP電話のお客様は045-339-0399) 受付時間　10:00 ~ 18:00 なお、スター・チャンネル HVの加入申込みは下記のスカパー!e 2へお問い合わせください。
スカパー! e2	http://www.e2sptv.jp/	0570-08-1212 (PHS、IP電話のお客様は045-276-7777) 受付時間　10:00 ~ 20:00 (年中無休)

索引 INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

キーボードショートカット

マウス用画面モードでは、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【Fn】+【PgUp】/【Fn】+【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
録画番組一覧拡大表示／非表示 ※2	【:】または【*】
予約一覧表示拡大／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
お急ぎモード※4	【↑】
じっくりモード※4	【↓】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
チャプタースキップ※5	【Alt】+【←】/【Alt】+【→】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】または【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

操作	キーボードショートカット
プリセット①	【1】
プリセット②	【2】
プリセット③	【3】
プリセット④	【4】
プリセット⑤	【5】
プリセット⑥	【6】
プリセット⑦	【7】
プリセット⑧	【8】
プリセット⑨	【9】
プリセット⑩	【0】
プリセット⑪	【Ctrl】+【1】
プリセット⑫	【Ctrl】+【2】
ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	【0】
1	【1】
2	【2】
3	【3】
4	【4】
5	【5】
6	【6】
7	【7】
8	【8】
9	【9】

※1

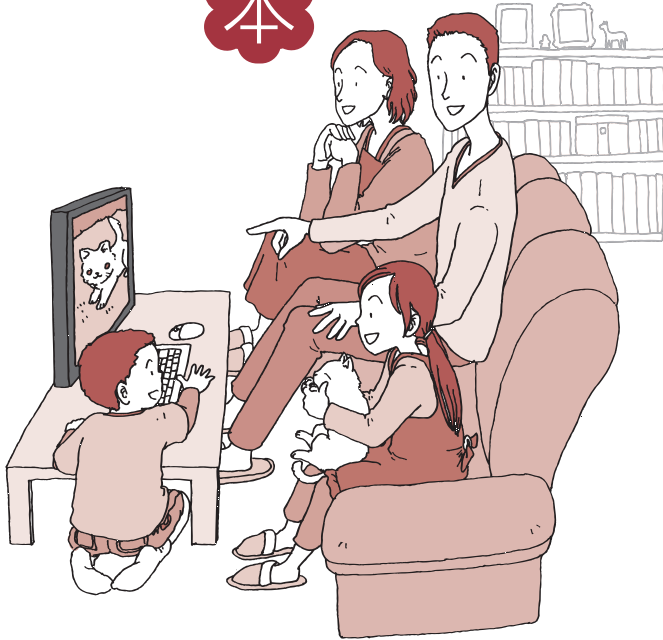
画面モード	【Fn】+【PgUp】	【Fn】+【PgDn】
スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンストモードへ
アドバンストモード時	ノーマルモードへ	アドバンストモード機能変更

※2　文字を入力していない状態で操作してください。

※3　録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

※4　音声付きで再生します。録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。

※5　録画済み番組再生時のみ使用できます。タイムシフト視聴時は使用できません。

VALUESTAR

初版 **2011年5月**
NEC
853-811064-091-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。